

K O M A Z A W A

2000 (平成12) 年度

講義計画

経済学部

 駒澤大學

講 義 計 画

目 次

経済学科フレックス A・第 1 部経済学科・商学科

1. 専 門 教 育 科 目	11
2. 他 学 部 履 修 科 目	131
3. 「日本語」・「日本事情」科目	215
4. 教職課程・資格講座科目	237

経済学科フレックス B・第 2 部経済学科

1. 専 門 教 育 科 目	381
2. 他 学 部 履 修 科 目	461
3. 教職課程・資格講座科目	491

経済学科フレックス A・第 1 部経済学科・商学科	専門教育科目
	他学部履修科目
経済学科フレックス B・第 2 部経済学科	日本語 日本事情科目
	教職・資格講座
経済学科フレックス B・第 2 部経済学科	専門教育科目
	他学部履修科目
経済学科フレックス B・第 2 部経済学科	教職・資格講座

経済学科フレックスA

第 1 部 経 済 学 科
商 学 科

1. 専門教育科目

経済学科フレックスA・第1部経済学科
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.381)

1. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスB・第2部経済学科の頁を参照してください。

経済学概説《経済》〈大石雄爾〉	11
経済学概説《経済》〈福原好喜〉	12
経済学概説《経済》〈荒木勝啓〉	13
経済学概説《商》〈瀬戸岡紘〉	14
経済学概説《商》〈友松憲彦〉	16
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈有井行夫〉	17
[平成11年度以前入学生：経済原論Ⅰ]	
経済理論ⅠA・資本の原理《商》〈阿部弘〉	19
[平成11年度以前入学生：経済原論Ⅰ]	
経済原論Ⅱ〈浅野克巳〉	20
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈浅田統一郎〉	21
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈松井柳平〉	22
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野克巳〉	23
経済学史〈福原好喜〉	24
経済史〈安元稔〉	25
経済政策〈石井啓雄〉	26
財政学〈里中恆志〉	27
金融論〈井村進哉〉	28
社会政策〈光岡博美〉	29
日本経済論〈小林正人〉	30
国際経済論〈徳永俊明〉	31
商学総論〈大吹勝男〉	32
経営学総論〈寺中良二〉	34
会計学総論《商》〈飯岡透〉	36
会計学総論《経A》〈寺坪修〉	38
商業政策〈番場博之〉	39
マーケティング〈曾我信孝〉	40
経営管理論〈百田義治〉	41
労務管理論〈堀龍二〉	42
簿記論〈島崎規子〉	43
簿記論〈川口修〉	44
財務会計論〈遠藤孝〉	45
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈大石雄爾〉	47
経済数学〈水野勝之〉	48
価格理論〈荒木勝啓〉	49
国民所得論〈吉野紀〉	50
計量経済学〈井上健〉	51
統計原論〈吉野紀〉	52
景気循環論〈西村允克〉	53
現代資本主義論〈北原勇〉	54
社会思想史〈阿部弘〉	55
日本経済史〈橋野知子〉	57
西洋経済史〈友松憲彦〉	58
農業政策〈米田浩史〉	60
工業政策〈福田敦〉	61

經	濟	地	理	須	山	聰	62
交		通	論	〈小	出	修	63
中	小	企	論	三	井	逸	64
環	境	業	策	山	口	由	66
財	政	政	論	半	谷	俊	67
地	方	政	論	篠	原	壽	68
国	際	融	論	齊	藤	彦	69
銀	行	場	論	米	田	貢	70
証	券	場	論	磯	谷	玲	71
保	險		論	今	泉	敬	71
人	口	濟	論	森	岡	仁	72
教	育	濟	論	谷	敷	正	73
勞	働	濟	論	休	講		
貿	易	論	古	沢	紘	造	75
ア	ジ	ア	論	鄭	章	淵	76
中	国	經	論	小	杉	修	78
ア	メ	リ	論	瀬	戸	岡	79
ヨ	ー	ロ	論	清	水	卓	81
ロ	シ	ア	論	山	縣	弘	82
情	報	・	論	中	濟	光	83
プ	ロ	グ	論	濱	本	和	84
情	報	処	論	岩	瀬	弘	85
商	品	理	学	石	崎	悦	86
商	業		史	幸	野	保	87
消	費	經	論	姉	齒	暁	88
経	営	戦	論	田	淵	泰	89
財	務	管	理	小	椋	康	90
経	営	学	史	岩	永	宏	92
会	計	監	論	飯	岡	透	93
管	理	会	論	中	原	章	95
原	価	計	論	加	藤	利	96
税	務	会	論	柳	裕	治	97
経	営	分	析	小	栗	崇	98
貿	易	実	務	休	講		
憲			法	内	田	真	99
民	法	一	部	大	宮	隆	100
民	法	二	部	織	田	晃	101
商	法	一	部	山	田	泰	102
商	法	二	部	荒	木	正	103
経		濟	法	岡	田	外	103
労	働		法	藤	本	司	104
行	政		法	金	子	昇	105
国	際		法	齊	藤	洋	106
原	書	講	I	井	村	進	107
原	書	講	I	岩	永	宏	108
原	書	講	I	小	杉	修	108
原	書	講	I	小	林	正	109
原	書	講	I	塩	見	英	110

原	書	講	讀	I	·	II	〈清	水	卓	110		
原	書	講	讀	I	·	II	〈中	濟	光	昭	111	
原	書	講	讀	I	·	II	〈中	田	秋	男	111	
原	書	講	讀	I	·	II	〈濱	本	知	壽	香	112
原	書	講	讀	I	·	II	〈福	原	好	喜	112	
原	書	講	讀	I	·	II	〈堀		龍	二	113	
原	書	講	讀	I	·	II	〈安	元		稔	113	
原	書	講	讀	I	·	II	〈山	縣	弘	志	114	
現	代	經	濟	事	情	I	〈西	村	直	樹	114	
現	代	經	濟	事	情	II	〈星	野		敏	115	
現	代	經	濟	事	情	III	〈美	野	久	志	116	
現	代	經	濟	事	情	IV	〈小	笠	原	直	117	
現	代	產	業	事	情	I	〈休			講		
現	代	產	業	事	情	II	〈休			講		
※	綜	合	專	門	科	目	I	〈瀬	戸	岡	紘	(451)
※	綜	合	專	門	科	目	II	〈石	井	啓	雄	(452)
※	綜	合	專	門	科	目	III	〈小	杉	修	二	(453)
※	綜	合	專	門	科	目	IV	〈光	岡	博	美	(454)
演	習			I			〈小	岡	栗	崇	資	118
演	習			I			〈小	栗	林	正	人	119
演	習			I			〈鄭			章	淵	120
演	習			I			〈橋	野	知	子	120	
演	習			I			〈堀		龍	二	121	
演	習			II			〈小	栗	林	崇	資	121
演	習			II			〈小	栗	林	正	人	122
演	習			II			〈鄭			章	淵	123
演	習			II			〈橋	野	知	子	123	
演	習			II			〈堀		龍	二	124	

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	おおいしゆうじ 大石雄爾	経 A 1 必	4

講義のねらい

みなさんの中には、経済学部にはいったものの経済とか経済学とはどういうものなのか実はよくわからない、という人もいるでしょう。あるいは、それはモノとカネの動きを扱うものだと理解している人もいるかもしれません。この理解は、まちがいはありませんがそれが分かったからといって経済現象を合理的に説明できるわけではなく、まだ底の浅い理解といわなければなりません。

そこで、私たちはまず経済とはどういうことをいうのか、経済学とは何を明らかにするものなのかを考えてみることにします。現代の社会においても、経済活動はあらゆるところに見られるわけで、政治問題の多くも経済とのかかわりで論じられているようなケースがたくさんあります。経済ということについて現実の社会から学びとるため、私たちはまず、政治や経済に関する新聞記事を素材にして考えていきます。そして、少し注意深く見ていくと、現代の社会が資本主義という運動原理に基本的には支配されていることが分かってきます。

ところが、この資本主義を原理とした社会は太古の昔から存在したわけではありません。大昔は人間の小さな集団をつくり、原始共同体とよばれる社会形態のもとで生活していたのです。資本主義社会も歴史の中で発生してきたことが分かります。今ある社会の仕組みを理解する上で、過去の社会原理を理解することや、その頃生まれた経済思想や経済学を学ぶことが重要なこともよく分かるでしょう。

しかし、経済学を学ぶ上で最も大事なことは、講義に参加するみなさん自身が経済学に興味を持つことです。新聞をよく読み、テレビのニュース番組を毎日見たりして、社会へのアンテナをしっかりと張るよう期待します。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、大まかに経済とは何かということについてお話します。そのあと数回は、新聞記事を素材にして、現在日本や外国でおきている問題をテーマとして取り上げ、経済問題としてどうとらえるべきかについて解説していきます。

次に歴史的に経済問題を考えるため、過去に人類の歴史上に現われたさまざまな生産様式について紹介します。特に、封建制がどのようにして崩れ、資本主義社会が生まれてきたのかという点について詳しく述べてみたいと思います。

そして、資本主義の発生・発展は経済学という学問を生み出すことになります。先人が経済について明らかにしたことは、私たちが現代の経済について考える上でも役に立つはずですが、そこで次に、スミス、マルクス、ワルラス、レーニン、ケインズなど、資本主義経済の理論的解明に大きな貢献をした人たちの思想と理論をとり上げ、経済学のごく大まかなデッサンをみなさんに示していくことにします。

履修上の留意点

1年間の講義全体を受講することで経済学の本質が理解できるように組み立てているので、年間を通して出席することが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績と授業時間中に書いていただく小レポートの成績の両方により評価する。追・再試は実施します。

教科書

特に指定しないが、講義の中で必要に応じて参考文献を紹介します。しいて言えば、現実の社会そのものが教科書ということになります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	ふく ばら よし のぶ 福 原 好 喜	経 A 1 必	4

講義のねらい

この講義は学生に経済についての基本的知識を得てもらうことを目指す。毎回統計や図表を用いて、その時々の日本経済、世界経済の諸問題について、概括的説明と問題提起とを行なう。学生諸君が、身の回りや、新聞、テレビで見聞きする経済事象について主体的関心と具体的知識を得る一助になればと思っている。昨年講義で取り上げたテーマを例示すると、

1. 日本農業と食糧の現状
2. 日本の女子労働
3. EU 通貨統合
4. 世界通貨ドルの問題点
5. 株価下落と不良債権の処理不能
6. 日本人の労働時間と休暇
7. 平成不況突入と日銀の金融政策
8. 新食糧法 — コメの流通機構
9. 農業の衰退と食糧自給
10. 林業壊滅 — 円高の結末
11. 農林業の衰退と自然破壊
12. 日本の景気 — 指標の読み方 —
13. EU の歴史
14. 世界経済の現状 — EU、NAFTA、APEC —
15. 日本の教育費
16. 地価下落と金融システムの不安定化
17. 国防と防衛費
18. 農業壊滅と日本の安全保障
19. 経済白書の誤り
20. デフレスパイラルの原因
21. 指標で見る景気失速の経過
22. 来年度就職率予測
23. 長銀破綻
24. 金融不安と巨大銀行合併
25. リストラと中高年の自殺
26. ドイツの女子労働

履修上の留意点

1. 授業中の私語、居眠り厳禁。(時に1時間目から寝ている学生がいるが、眠たい学生は家で寝ること)
2. PHS は電源を切ってから出席すること。(授業中の受信音は営業妨害である)
3. 出席点を40点つける。サボル自由も学生にはあると思うが、そういう人は後で泣きごとを言わない。

そ の 他

授業の性質上教科書はない。自分の書いた新聞記事、雑誌論文、ニュース、当事者の談話その他をその都度資料として使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	あら 木 よし ひろ 荒 木 勝 啓	経 A 1 必	4

講義のねらい

はじめて経済学に接する1年生に、マクロ経済学の基礎を示す。ちょうど1年間で、そもそも所得とは何かということからはじめて、国際収支、国際均衡、為替相場、乗数、財政、税金、貨幣、銀行券、債券、利率、といった基本概念をはじめ、貨幣数量説、古典派理論、ケインズ理論のような基本的学説までを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 所得とは
- (2) 付加価値と国民所得
- (3) 国民所得の循環図式
- (4) 貯蓄投資の均衡条件
- (5) 国内均衡と国際均衡
- (6) 国際収支
- (7) 為替相場と国際収支
- (8) 乗数理論
- (9) 乗数理論の拡張
- (10) 財政と税金
- (11) ビルトインスタビライザー
- (12) 貨幣の定義と信用通貨
- (13) 銀行券発行の仕組み
- (14) 信用創造その1
- (15) 信用創造その2
- (16) 貨幣数量説その1
- (17) 貨幣数量説その2
- (18) 古典派の経済学
- (19) 利率と債券と流動性選好説
- (20) LM 曲線
- (21) IS 曲線
- (22) IS=LM 曲線と不完全雇用
- (23) 古典派理論とケインズ理論の比較
- (24) 財政政策と金融政策
- (25) クラウディングアウトとポリシーミックス
- (26) 物価の決まり方

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	瀬戸岡 紘	商 1 必	4

講義のねらい

経済学概説は、経済学の楽しさと奥ふかさを紹介する科目です

あたらしく経済学部に入学された諸君が、これから経済学を学習し研究するためのイントロダクションとなる話をするのが、この講義です。ここで私がなにより大切にしたいと考えていることは、まだ入学してまもない諸君がおおいに抱えているはずの勉学への期待をうらぎらないで、むしろ、ふくらませるようにもっていくことです。そのために、この講義では、受講者となる諸君の期待や要望に応じて、きわめて柔軟にプログラムを組んでいくつもりです。以下にかかげた、この講義のテーマも、大まかな目標としてのプログラムにすぎません。

講義の内容・授業スケジュール

《導入の話題》

- ◇最近の経済をめぐる話題から（内容未定）
- 《世界各地の経済を題材として——経済史と経済政策論へのイントロダクション——》
- ◇ヨーロッパの経済・今昔
- ◇アメリカ経済の特質
- ◇旧ソ連・東欧の実験
- ◇日本の経済
- ◇アジア経済の発展と挫折
- ◇地球と経済

《思想家や経済学派を題材として——経済学史と理論経済学へのイントロダクション——》

- ◇古典学派の人びと
- ◇歴史学派とその後継者たち
- ◇マルクス学派
- ◇近代経済学の起源と諸潮流
- ◇ケインズと20世紀の経済

《むすびの話題》

- ◇あたらしい経済学派の諸見解と21世紀の世界

前期の課題は、経済史、経済事情、経済政策のイントロダクションです

世界各地の今日の経済事情を概観しつつ、そのような経済事情を生んできた歴史的背景を考え、あわせてそれぞれの地域での経済政策の実態をごく簡単ながら紹介します。「現代経済事情——各国めぐりの旅」という気分で、最新の情報をもとに、受講者のみなさんを経済の世界に案内します。しめくくりは、環境問題のような、21世紀を展望するさいさけてとおれない諸問題にまで話をすすめます。

後期の課題は、経済学史と経済理論のイントロダクションです

過去の著名な経済学者や経済学派のおかれた環境やその人（たち）自身が格闘した難題などの紹介とおして、今日われわれがまなぶ経済学の生いたちをたどってみます。あわせて、それぞれの学者や学派の理論のアウトラインや特色をも概観します。著名な経済学者たちがどのような人生をすごしながら、それぞれ歴史にのこる理論をつくっていったか、この講義での聴きどころとなるでしょう。最終回では今日の最新鋭の経済学の潮流にも言及します。

履修上の留意点

1回の講義にひとつのテーマをとりあげます

講義では、1回ごとにひとつずつテーマをとりあげます（上記の◇について、おのおのふたつぐらのテーマ）。毎回の講義では、なるべく身近な話題や経済現象、あるいは日々のニュースからはじめて、基礎的な理論やキーワードの解説もくわえながら話をすすめますが、どんなテーマをとりあげるばあいにも、なにより経済学のおもしろさを諸君にわかってもらえるように展開していくつもりです。そのために講義では、諸君との対話を大切にしながら、ともに考えていくようにするつもりです。

成績評価の方法

経済学のおもしろさがいっそう理解できた受講者が単位をとることもできます

この科目は必修科目なので、経済学部のすべての学生がいずれかのクラスで受講することになります。それだけにこの講義は、経済学部のさまざまな学生の期待にこたえるように努力します。

しかし、安直に単位だけをねらおうとする学生には、容赦ない対応をとることになるかもしれません。1年後に経済学がいつそ好きになったと感じられるような受講者がもっともよい成績をとることのできるような評価をするつもりです。とくにこの講義の性格上、一発の年度末試験で成績をつけることは適当と考えにくいので、受講者諸君と協議のうえ、平常点を重視すべく、諸君には、随時、授業をとおして獲得した成果や感想を文章にして提出してもらい、それをもとに成績評価をするようにしたいと考えています。同時に、受講者の諸君からも、私の講義にたいする評価をくだしてもらおうつもりであります。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教科書

最新のニュースや膨大な情報、そして歴史的事実こそ、この講義のテキストです

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。一回一回の講義をとおして、諸君の経済学にたいする関心や問題意識をひきだしていくことがこの講義の課題だと考えるからです。たくさん出版されている書物や雑誌、テレビ番組などのなかに勉学に役立つものが見つければ、その都度紹介していくつもりです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	とも 友 まつ 松 よし 憲 ひこ 彦	商 1 必	4

講義のねらい

現在の日本や世界にはさまざまな「経済問題」があり、私たちの生活と密接に結びついています。私たちは日ごろそれほど意識してはいませんが、経済問題に関心がないわけではありません。例えば、自分が大学を卒業するころ日本経済は回復し、十分な職があるのだろうか、あるいは、21世紀に地球の温暖化がこのまま進めば私たち生命や生活はどうなるのか、といった問題に無関心な人はいないでしょう。

経済学はこうした経済問題がなぜおこったのか、またそれらを解決して公正で豊かな社会に一步でも近づくためにはどのような方策(政策)をとればよいのかを研究する学問です。この場合、複雑な経済問題の原因をさぐり、解決策を考える場合の道具となるものが「経済理論」です。それは経済問題に取り組んだ先人たちが残してくれた知的遺産なのです。私たちはまず「経済理論」を学び、それを使って「経済問題」に取り組むことになります。というのは、理論なしの研究は道具を使わずモノをつくるようなもので、できあがった作品は浅薄な「常識論」になってしまうからです。

この講義では、経済学の初歩的な知識と理論を説明したうえで、それを手がかりにして現実の経済問題の分析を試みることにします。それによって理論と現実のかかわりを考え、社会科学の思考法になじみ、経済学への入門をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済の歩みと「経済理論」の発達
2. 市場経済の光と影
3. 貨幣と金融問題
4. 現代の企業
5. 現代経済と国家
6. 世界経済と日本
7. 21世紀の経済

履修上の留意点

かならずノートを取り、配布資料はファイルしておくこと。

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。

教科書

東井正美・森岡孝二編著『現代経済を学ぶ(改訂版)』(ミネルヴァ書房) 2,500円

参考書等

経済学教育学会編『経済学ガイドブック』(青木書店)
日本経済新聞社編『ゼミナール・日本経済入門』(日本経済新聞社)
宮崎勇『日本経済図説』、『世界経済図説』(岩波新書)

その他

質問等で研究室を訪問することを歓迎します。(第2研究館2416研究室)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	あり 井 行 夫	12以降入学生/経A1・2・3・4必	4
経済原論 I		11以前入学生/経A1・2・3・4必	

講義のねらい

スーパーマーケットに行ってごらん下さい。実に多くの種類の商品が整然と積み上げられています。しかも、より多く使われるものは大量に、そうでないものは少量にという具合に、一定の量的構成で積み上げられています。

諸商品の堆積、こういう観点から見れば、私たちの暮らすこの社会全体が、すなわち日本という国全体が、ひとつの巨大なスーパーにほかなりません。また、諸商品の来し方をたずねれば、どこかの工場での生産であり、行く末を見れば、他のどこかの工場での生産的消費であり、あるいはどこかの家庭での個人的消費です。これらの観点から見れば、日本という国の全体が、ひとつの巨大な工場でもあり、ひとつの巨大な家庭でもあります。

それにもかかわらず、実際には、日本という国そのものは、ひとつのスーパーでもひとつの工場でも、ひとつの家庭でもありません。諸商品の、私的な、ばらばらの生産者たち、売り手たち、消費者たちが、競争を通じて複雑に入り組みもつれあって、さまざまなアンバランスの絶え間ない修正運動のなかで、結果的に、あるバランスをもった社会経済システムをつくりあげているのです。不思議ではありませんか。

経済のエネルギーとは、実は、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。遠い将来人間に近い高性能ロボットが人間にかわってすべて生産活動をとりしきるようになると、経済という独特の社会的対象は消失するでしょう。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論 I A は、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論 I B は、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる I A の発展コースです。I A の学習後、I B の学習に進まれることを期待します。

また、経済理論 II の系列（ミクロ経済学、マクロ経済学）は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論 I 系列とはアプローチの方法がちがいます。現代経済システムを総体として理解するためには、両系列の教養が必要といえます。両系列のアプローチの相違については、授業で説明します。

講義の内容・授業スケジュール

第1章 経済学の対象と方法

経済理論 I A の「3つの精神」、経済理論 II 系列とのアプローチの相違、人間性と社会形成の根源的な原因としての労働、社会的諸関係の不断の再発生原因としての労働、必然的な社会関係としての労働関係=生産関係、社会関係を生産関係に媒介することの認識論的意義、生産関係の物象化（=非人格化）という問題性。

第2章 市場経済

経済の対象物の根源的費用としての労働、社会的分業一般の自己矛盾と商品生産の意義、商品生産における労働の特殊性、価値と使用価値、国家を前提しない市場システムにおける生きた貨幣の成り立ちの必然性、貨幣の諸機能。

第3章 資本と増殖

貨幣を産む貨幣としての資本の概念、資本が社会的総生産をとらえる可能性、剰余価値の一般的な可能性、労働力商品の意義、資本の価値増殖過程における諸範疇、賃金形態の意義。

第4章 価格と利潤

剰余価値と利潤、諸資本の部門内競争による価格形成、諸資本の部門間競争による価格形成。

第5章 資本の再生産と蓄積

再生産運動として資本のシステムをとらえる意義、私的所有原理と現実的取得原理の対立、資本構成の高度化と産業予備軍、人間の力が資本の力として発揮される意義、単純再生産と拡大再生産の表式、過剰生産としての資本の意義。

成績評価の方法

骨格の内容の理解にできるだけ時間を集中します。使用するテキストはもっともコンパクトなもの1つを選んでいますが、できるだけこのテキストに忠実に解説し、重要箇所はアンダーラインを指示します。成績評価は、解説済みのテキスト箇所のみから出題して実力試験によっておこないます。つまり、ノート、テキスト持ち込みは不可ということです。なお、この科目は、卒業年次生について、「再試験」を実施します。

教科書

平井ほか『経済原論』（有斐閣）1,400円

参 考 書 等

日々の新聞の他、経済学教育学会『経済学ガイドブック』（青木書店）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論 I A・資本の原理	あ べ 部 ひろし 弘	12以降入学生/商・2・3・4選	4
経 済 原 論 I		11以前入学生/商・2・3・4選	

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」の I A であり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か。
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会 ― まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：7月
第2回目：10月
第3回目：11～12月
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以降は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。
- 2 その他：
 - 「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書・参考書等

教科書・参考書等については講義の中で指定します。

その他

受講生と講師が連絡できるように次に住所等を掲載しておきます。
 阿部弘
 ☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204
 TEL.03-3976-7984
 研究室：第2研究館5F No.2538
 ☎03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論 II	あさの 浅野 かつみ 巳	11以前入学生/経A1・2・3・4必 11以前入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の目的は、われわれの日常生活の中でごく身近に生起する様々な経済問題の原因は何か？なぜそのような問題が起きるのか？それらを解決する処方箋はどのようなものであるべきか？といった問題を明らかにすることであり、われわれの生活と深い関わりがある。
このような観点から「経済原論Ⅱ」では、経済学の基礎理論を近代経済学の方法にしたがってできるかぎり平易に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・前 期
- I. マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 国民所得の決定
 3. 財政・金融政策
 4. 経済の変動と成長
- II. ミクロ経済学
 1. 消費者行動の理論
 2. 企業行動の理論
- ・後 期
- 3. 市場均衡と価格決定
- 4. 一般均衡分析
- III. 公共政策
 1. 公共政策のマクロ分析
 2. 公共政策のミクロ分析
- IV. 国際経済学
 1. 国際経済学のマクロ分析
 2. 国際経済学のミクロ分析

履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題に常に関心をもつことである。これらは様々なマス・メディアをおしてあふれるほど提供されている。とりわけ『日本経済新聞』には毎日必ず日をおしてもらいたい。必要な記事はスクラップ・ブックに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。

現代経済学を理解するためには数学の知識が必要であるといわれるが、標準的な基礎理論で用いられる数学は高度なものではない。高校の基礎解析あるいは代数程度で十分であろう。経済分析に必要な数学は授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで自ら反復練習することが肝要である。

なお、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報教育センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションを行ってみることも、経済学理解の一助となるであろう。授業の内容と関連のあるソフトあるいは利用の仕方については最初の授業で詳しく説明する。

成績評価の方法

成績は定期試験（再試験も実施する）とレポートによって行う。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参 考 書 等

上記テキストの巻末には、各章ごとに必要な参考書が一括して掲げられているので参照されるとよい。また、各種国家試験の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、以下の問題集も用意して下さい。

〔問題集〕 青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1995年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	あま だ とう いら ろう 浅 田 統 一 郎	12以降入学生/経A1・2・3・4選必	4
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、ミクロ経済学の基礎をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のクールノー、ジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。ミクロ経済学(およびマクロ経済学)の基礎をマスターすることは、公務員試験や公認会計士試験の合格を目指す学生にとって必要不可欠ですが、そればかりでなく、財政学、金融論、国際経済学のような応用分野を学ぶために有用な予備知識を得るためにもミクロ経済学の学習は役立ちます。

本講義では、ミクロ経済学の基本知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。
(駒澤大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題をより専門的に扱っています。)

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論
5. 公共政策のミクロ分析
6. 国際経済学のミクロ分析

なお、教科書は、浅野・荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、もっと詳しくミクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。再試験は、実施します。

教科書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎著『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)

参考書等

伊藤元重著『ミクロ経済学』(日本評論社)(初級向き)
武隈慎一著『ミクロ経済学』改訂版(新世社)(中級向き)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	まつ 松 井 柳 平	12以降入学生/経A1・2・3・4履必	4
		12以降入学生/商1・2・3・4履	

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済のモデル（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的なモデルを作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーションを通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験や、授業中の実験への参加などで評価する。（再試験実施）

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あさの かつみ 浅野 克巳	12以降入学生/経A1・2・3・4選必	4
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」は「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LM モデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長と景気循環の仕組み

履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータを参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習にかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学総合情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1998年。これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 史	ふく 原 よし のぶ 福 原 好 喜	経 A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるとするのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の生誕までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業は前半で近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS 禁止。
履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者の制限をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済史	やすもと みのる 安元 稔	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義の目的の一つは、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に「歴史社会科学」としての「経済史」の特色を知ってもらうことである。「経済学」と「歴史学」の双方の学問的特色を体現した「経済史」という学問領域は、一人人間のどのような営みを対象にするのか、どのような切り口でその対象に迫るのか。そして、「経済史」という学問分野が現在までどのような発展を示して来たのか。今「経済史」では何が問題となっているのか、こうした点を講義の前半で見て行くことにしたい。

講義の後半では、具体的にヨーロッパの中世以降の経済発展をとりあげる。人々は物質的要求の充足をどのような形で行って来たのか、そのためにどのような制度・組織を作り上げて来たのかを考えてみる。1000～1500年のヨーロッパは農業中心の社会であった。そこでは農業生産はどのような形で組織され、人々はどのような形で参加していたのか。中世社会が崩壊し、近代ヨーロッパの誕生を告げた1500～1750年のヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。そして最後に現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化の実態とはどのようなものであったのか。こうした点を具体的に説明して行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

第1編『経済史』とは何か

- I. 経済史の対象
 - 1. 「経済的営為」の特色
 - 2. 経済史の課題
- II. 経済史の性格
 - 1. 社会科学・経験科学としての経済史
 - 2. 経済学と経済史、歴史学と経済史
- III. 市場経済と非市場経済
 - 1. ヒックスの『経済史の理論』
 - 2. 市場経済の特質（長所と欠陥）

第2編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

- I. 中世の経済と社会
 - 1. 中世農村と農業の発展
 - 2. 中世都市と商工業の発達
 - 3. 中世末期の経済と社会
- II. 近代化への道
 - 1. 近世ヨーロッパ世界と重商主義国家
 - 2. 人口・都市化・物価
 - 3. 農業と農村社会
 - 4. 大航海時代の商工業
 - 5. 不況の17世紀
 - 6. 工業の再編とプロト工業化
- III. 最初の工業国家
 - 1. 「産業革命」をどうとらえるべきか
 - 2. 人口の動向と農業発展
 - 3. 18・19世紀イギリスの経済変動
 - 4. 都市化と工業化
- IV. 大陸の工業化
 - 1. フランスの工業化
 - 2. ドイツの工業化
 - 3. ベルギーの工業化

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパの中世以降の経済発展を概観し、経済史的なものの見方を身につけることを目的にしている。聞きなれない用語や事実が多く出て来るので、参考文献を指示されたら、おっくうがらずに調べ、理解して行くことが必要である。受講者は、教科書・授業スケジュール・講義資料（講義中に配布）を常時持参しなければならない。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みにレポート（200字詰原稿用紙10枚程度＝30点配点）を提出してもらい、後期試験（70点配点）・出席状況と総合して成績を評価する。再試験は実施しない。

教科書

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）

その他

講義方式。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	いし 石 井 ひろ 啓 雄	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

「政治政策」の講義のありかたとしては、土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係の問題を軸に経済政策とはどういうものなのかを専ら理論的に詳細に論ずる方法とか、現代資本主義国家の政策手法についてだけ細かく述べる方法とか、特定の領域、たとえば産業政策など教師の専門的研究領域にそくしてだけ講義する、などの方法もある。しかし私は、基礎的な専門選択必修科目のひとつとしてこの「経済政策」が位置づけられていることを考えて、この講義では、土台としての資本主義の発展段階、すなわち、重商主義、自由主義、独占資本主義、国家独占資本主義という発展段階ごとに、この資本主義の構造的発展を背景に変化していく国家の経済政策の内容の基本的な点について講義することとする。ただ学生の関心を考慮し、なるべく現代の問題に多く時間を充当するよに努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

試験その他を除いて、講義の回数は意外に少なく、1年間におおむね25回である。そこでこの講義回数をおおむね次のように充当する。

- (1) 土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係および政策とはどういうことかなどについて、2回。
 - (2) 重商主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね3回。前期重商主義、市民革命、後期重商主義、この段階での保護貿易政策その他主要な経済政策について。
 - (3) 自由主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね4回。イギリスにおける産業革命の意味、穀物条令の廃止に象徴される自由貿易の意義と産業資本の自立化による自由主義的経済政策の主な内容。イギリスに対しては後進的なフランス・ドイツ・アメリカなどの経済政策について。
 - (4) 独占資本主義段階の経済構造とその経済政策について、おおむね4回。自由競争が必然的にもたらす独占資本の成立とそれによる国家の政策の変化、資本の輸出と植民地支配の発展、第一次世界大戦の意味などについて。
 - (5) 国家独占資本主義の成立とこの段階での経済政策について、おおむね5回。1929年恐慌以後の経済政策の変化と第二次世界大戦の複雑な性格をふまえた上で、第二次世界大戦後のアメリカ主導のIMF=GATT (WTO) 体制の成立、アメリカの「援助」と覇権、各国の国家独占資本主義とその経済政策、経済成長政策と1970年代以降、さらに1985年以降のその変化、1990年代の不況、WTOの成立などの今日の問題などについて。
- 以上のほか、①いわゆる社会主義の成立とその崩壊をめぐる問題、②植民地の独立と新植民地主義的経済政策、③最近の規制緩和問題と新自由主義的経済政策、④明治維新と戦後改革を経た日本の経済構造と政策の特殊性、などについてもあわせて5～6回を充て、全体として25回の講義とする。

履修上の留意点

高校時代に学習した歴史（日本史および世界史）を含む社会科の知識、および経済学概説、(経済学科の学生にあっては必修の)経済原論Ⅰ・Ⅱの履修をきちんと行うことを当然の前提とする。学会との重複、やむえない病欠など以外、休暇の前後でも休講はしないので、学生諸君もそのつもりで受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、自覚的な勉強を期待して、期末試験の成績を基本とする。ただし学生の受講態度によっては、出欠をとることも途中で試験あるいはレポートを課することもありうる。試験については基本的に書物、コピーなどの持ち込みは認めず、白筆ノートについてのみ考慮することがありうることとする。卒業年次生を対象とする再試験は実施する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の過程で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	さと なか つね し 里 中 恆 志	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担配分の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済のかかわりについて総需要管理政策を講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用＝便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を削愛することがある。

履修上の留意点

関連科目として、経済学部の専門教育科目である「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。「財政学」は経済と政治の学際的分野の科目でもあるから、他学部履修科目として開設されている法律学科の「行政法各論」、政治学科の「地方自治法」等の履修も有効である。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。再試験を実施する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)3,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
金融論	井 村 進 哉	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済が今日直面している不況は、1990年以來の株価と不動産価格の下落・低迷を引き金に生じている。そしてこの株価・不動産価格の低迷は証券業や不動産業の不振にとどまらず金融システム全体の機能を低下させ、さらにこの金融システムの機能低下が不況をいっそう深刻にする悪循環を形成している。したがって今回の不況は、株式や不動産など擬制資本価格(資産価格)の異常な上昇と下落が単に「金融」の世界にとどまらず、「実体経済」に深刻かつ重大な影響を及ぼすことを示す典型的なケースを示している。

その意味でも「金融現象」は、金融市場や証券市場の内部にとどまらず、「再生産過程」(実体経済)とのかかわりを抜きにして語ることはできないのである。

本講義の前半では、まず第2章で金融現象を資金循環ととらえ、世界と日本のマネーフローの特徴を概観したうえで、第3章で金融・資金仲介をシステムとしてとらえる考え方を紹介する。続いて商業信用(企業間信用:第4章)、銀行信用(第5章)、擬制資本信用(第6章)といった資本主義経済における基本的な金融取引の形態(信用形態)を取りあげる。その際、受講生には、これらの基本的な金融取引の形態(信用形態)の生成論理、運動の特質、および経済的意義を確認しながら、資本主義の私的領域における金融システム(民間金融システム)を頭の中で組み立てる「旅」に付き合ってもらおうことになる。

こうして組み立てられた民間金融システムの理解を前提に、講義の後半では、中央銀行信用、公信用といった政府の信用活動の生成論理、政策展開の特質、および経済的意義を検討し、続いて政府のもう一つの金融介入形態である金融規制、金融制度改革の特質と問題点を検討する。

こうして講義では、民間部門、公的部門両面にわたる金融制度を構造的、立体的に理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 世界と日本の金融の現状—資金循環の視点から—
3. 金融システム研究の現状と課題
4. 商業信用と手形流通
5. 銀行信用と銀行券・預金流通
6. 擬制資本信用と証券市場
7. 金融・証券市場の経済的機能
8. 中央銀行と金融政策
9. 公信用と財政投融资政策
10. 金融自由化・証券化と金融制度改革
11. むすび—金融とは何か—

成績評価の方法

前期・後期2回の試験で基準点を取得すること、また必要に応じてレポートなどの課題を提出することを単位認定条件とする。

教科書

前期は、特に指定せず、適宜、講義用資料(プリント)を配布する他、読むべく文献を指示する。後期は、渋谷博史・北條裕雄・井村進哉編著『日米金融規制の再検討』(日本経済評論社)1995年を使う。

参考書等

- 熊野剛雄『銀行と証券』(講談社現代新書)
 岩田規久男『金融入門』(岩波新書)
 荒井正夫『金融論 講義教材(1)』(中央大学生協出版局)
 竹村脩一・玉野井昌夫編『金融経済論 [新版]』(有斐閣)
 鈴木淑夫・岡部光明編『実践ゼミナール 日本の金融』(東洋経済新報社)
 日本銀行金融研究所『新版 わが国の金融制度』
 渋谷・井村・中浜編著『日米の福祉国家システム』(日本経済評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配当学科	単 位
社 会 政 策	みつ 光 岡 博 美	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)~(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2~3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の産業構造
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
3. 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）
4. 日本の産業問題
食糧問題と農業部門の意義
製品の安全性と PL 法
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけでもありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして社会主義経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期 — 世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期 — 今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出 — (「援助」と多国籍企業) ・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定) および学年末レポートで評価します。(追・再試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

その他

私の研究室は第2研究館4階、電話は直通03-3418-9353です。気軽に立ち寄ってください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	11以降入学生/商1・2・3・4選必	4
		10以前入学生/商1・2・3・4必	
		経 A 1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということですから。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試験は実施する。

教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号

6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学総論	寺中良二	11以降入学生/商1・2・3・4選必	4
		10以前入学生/商1・2・3・4必	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

経営学には大別して企業論と管理論という二つの学問領域がある。企業論の展開として個人企業、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社（初期・近代・現代）、公企業、自主管理社会有企業について体系的に講義を展開する。特に資本主義企業の最も支配的企業形態としての株式会社制度については、証券市場制度成立による出資資本の回収機構、擬制資本範疇としての株価形成の論理と算式、株式会社の支配機構およびそれに基づく財務技術の狙いと事例、現代株式会社における経営者支配をめぐる論争、その他について説明する。また、自主管理制度については、労働者の人間的復権にもとづく企業民主化の徹底性を明らかにしたい。さらに、管理論においては、アメリカ資本主義の独占形成期に成立したテイラーの作業管理技術の主内容とその本質、大企業における下層から上層への管理技法の全般化と経営者の役割、全体主義批判の思想を根底にもつドラッカーの組織原理や労務管理などに言及する。以上二つの領域ともに、経営学という学問が、人間の幸福に少しでも役立ちうればと思う。尚、経営の国際化に対応して、専門用語（経済英語・経営英語）の履修者習得にも力を入れたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

〈企業論〉

- I. 企業形態論の方法
- II. 人的会社
 - (1) 個人企業の特質と限界
 - (2) 合名会社の形成と特質ならびに内部変化
 - (3) 合資会社の形成と特質
 - (4) 有限会社の成立要件・意図と地位
- III. 株式会社
 - (1) 初期株式会社の成立事情
 - (2) 人的会社と近代株式会社
 - (3) 資本の動化
 - (4) 擬制資本および株価の形成
 - (5) 自己資本の他人資本化
 - (6) 創業者利得のヒルファディングによる解明
 - (7) 株式会社の機能資本家
 - (8) 株式会社と協同組合
 - (9) 創業者利得の取得形態
 - (10) 現代株式会社の主内容
 - (1) 配当利子化の二段階
 - (2) 自己金融
 - (3) 経営者支配の諸問題
 - (4) 株式各論
- IV. 公企業
 - (1) 主要国における公企業の設立事情
 - (2) 現代資本主義のもとにある公企業の性格と役割
- V. 企業の民主化・国有化・社会化
- VI. 自主管理社会有企業
 - (1) 自主管理連合労働体制
 - (2) 体制転換（株式会社化）
- VII. 米国自動車企業各論

〈管理論〉

- I. 現場肉体労働者に対する管理としての管理論の成立——テイラーシステムにおける管理機能と執行労働の分離
- II. 全般的管理への拡大としての管理論——中間管理者に対する管理（分権管理）とトップ・マネジメントの経営戦略
- III. ドラッカー理論の主内容および現代的意義と限界
- IV. 人間主義的管理論の意義——管理のための管理論から人間の幸福に奉仕する管理論へ

履修上の留意点

イ 大教場における前列席が空席にもかかわらず最後尾に着席せし者並びに講義中に私語をする者に対しては授業時間中に講義内容について指名質問を行うことにしている。

- ロ 4～5月中及び9月最初の授業時間には、原則として授業内容の復習として5～15分間最初に再度要点を喋る。これで履修学生諸君の講義理解が高まるものと思う。
- ハ 授業に出て真剣に講義を聴くこと。そうでないと答案が書けません。論理を真に理解すれば暗記は一切不要である。意味が判らずに暗記しても全く無駄である。

成績評価の方法

年度途中における平常試験を1回実施して、多数の履修者間の学力格差を解消しつつ、期末試験の成績との総合評価（単なる算術平均はしない）を行う。平常試験は原則として口頭出題の筆記試験である。レポートによる単位認定は一切行わない。尚、期末総合評価においては、全員の成績が万一悪い場合には相対評価法を導入して救済する。再試験を実施する。

教科書

最初の授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学 総 論	飯 岡 透	11以降入学生/商1・2・3・4選必	4
		10以前入学生/商1・2・3・4必	

講義のねらい

会計学総論は、会計学の概要を説明し、財務会計論、管理会計論及び会計監査論を学習するための基礎を提供することを目的としている。そこで、この講義では、前半で、わが国の企業会計制度、企業会計の歴史及び簿記について講義し、後半において、財務会計の概要を講義して会計学について受講者の理解を得ることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは、次のとおりである。

〔前期〕

- 4月 わが国の企業会計制度
 (1)企業会計の概要
 (2)商法会計と証取法会計
- 5月 企業会計の歴史
 (1)欧米における企業会計の発展
 (2)わが国における企業会計の発展
 簿記の基礎知識
 (1)簿記の基礎(簿記一巡)
- 6月(2)現金・現金の記帳
 (3)高品売買の記帳
 (4)売掛金・買掛金の記帳
 (5)手形取引の記帳
 (6)その他の債権・債務の記帳
 (7)有価証券の記帳
 (8)固定資産の記帳
 (9)資本の記帳
- 7月(10)決算整理
 (11)貸借対照表と損益計算書の作成

〔後期〕

- 9月 資産の分類と評価
 (1)資産の意義
 (2)資産の分類
 (3)資産の評価
 (4)資産の評価に関する規定
- 10月 流動資産の会計
 (1)当座資産の評価と表示
 (2)棚卸資産の評価と表示
 固定資産の会計
 (1)有形固定資産の会計
 (2)無形固定資産の会計
- 11月 繰延資産の会計
 (1)繰延資産の意義
 (2)繰延資産の記載内容
 (3)臨時巨額の損失
 負債の会計
 (1)負債の意義と分類
 (2)流動負債の記載内容
 (3)固定負債の記載内容
 (4)引当金の記載内容
 資本の会計
 (1)資本の意義と分類
 (2)資本金と資本準備金
 (3)利益準備金とその他の剰余金
- 12月 損益の会計
 (1)収益の認識と測定
 (2)費用の認識と測定
 (3)損益項目の記載内容
 財務諸表作成の基礎的前提と作成原則
 (1)財務諸表の作成と会計公準

(2)財務諸表の作成と企業会計原則

1月 財務諸表の作成

(1)貸借対照表と損益計算書の作成

(2)営業報告書と利益処分計算書及び損失処理計算書の作成

(3)附属明細表及び附属明細書の作成と注記事項

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計学、とくに簿記は積上方式の学習が必要な科目であるため欠席しないこと。

成績評価の方法

成績は、夏期休暇直後に提出する簿記練習帳（30%）及び年度末試験（70%）の結果により評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『財務会計概説』（中央経済社）

飯岡透著『簿記概論及び簿記概論練習帳』（創成社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	寺 ^{てら} 坪 ^{つぼ} 修 ^{おさむ}	経A1・2・3・4選	4

専門教育科目

講義のねらい	経済学専攻の履修者に、会計学の全体を判りやすく講義する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>経済や経営と比較しながら、「活きた会計」を取りあげる。講義は教科書に沿って行う。内容等は、おおむね次のとおりとなる。</p> <p>〈前期〉 会計とはどのようなものか（会計基礎概念） 簿記の基本的な考え方（複式簿記原理） 財務諸表にはどのようなものがあるか（財務諸表論）</p> <p>〈後期〉 財務諸表で何が判るか（財務分析） 経営管理のための会計（管理会計） 監査とは（会計監査）</p>
履修上の留意点	教科書・電卓を持参すること。
成績評価の方法	小テストと定期試験による（教科書参照可）。再試験を実施する。
教科書	寺坪修著『会社会計論』（創成社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名分のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムの全てが非合理的なのであろうか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、数回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1) ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2) 流通機構と流通構造
- (3) 流通の意義と機能
- (4) 資本主義商業の基礎理論
- (5) 日本の流通政策・商業政策とその枠組み
- (6) 独占禁止法とその体系
- (7) 再販売価格維持制度と景品表示法
- (8) 取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9) 訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10) 流通政策の転換と街づくり
- (11) 中小小売業の役割
- (12) 大規模小売店舗法
- (13) 流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14) まちづくり三法
- (15) 商店街再生への取り組み
- (16) 海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義で取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験を実施する。

そ の 他

- ・ 講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・ 講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・ 参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・ 問い合わせ先、E-mail：h2banba@cuc.ac.jp、HP：http://www.cuc.ac.jp/~h2banba

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
 - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
 - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
 - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけでなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
 - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
 - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
 - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合会社との関係などである。
 - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
 - 総合会社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合会社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合会社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合会社の子会社戦略、②総合会社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。再試験を実施する。

教科書

曾我信孝『総合会社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	ひやく た よし ぼる 百 田 義 治	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

大企業間の合併や提携、持株会社の解禁、企業集団の再編、リストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、21世紀を目前に日本企業は大きく変貌しようとしています。その底流には、情報化・国際化（グローバル化）・規制緩和の進展、メガ・コンペティション（大競争）、「グローバル・スタンダード」など日本企業を取り巻く経営環境の激的な変化があります。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からアプローチします。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の授業スケジュールは、大略、以下の通りです。

I. 現代企業の所有・支配・管理

- ①株式会社と経営者
- ②企業集団と持株会社
- ③コーポレート・ガバナンスの国際比較
- ④企業の社会的責任とビジネス・エシックス

II. 現代企業の経営管理・経営組織

- ①経営管理とは（管理過程、管理職能、管理原則）
- ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ③経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ④経営管理の近代理論（個人と組織の統合理論）
- ⑤経営組織の基本形態（権限と責任、ラインとスタッフ…）
- ⑥経営組織の発展形態（事業部制、カンパニー制、分社化…）
- ⑦国際経営と企業文化（グローバル化、ローカル化、異文化共生…）

III. 日本企業の競争力と日本の経営

- ①日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府…）
- ②日本の生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ③日本の労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義…）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業のテーマと関連づけて話を進めます。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心に向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教科書

なし。（随時、コピーを配布します）

参考書等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進してきたが、その内実には年功制の要素がなお色濃く残されていた。ところが最近における日本経済の低迷のなかで、この年功制の完全払拭＝能力主義・成果主義への本格的移行が急速に進展しつつある。相次いでリストラが断行されるとともに、年俸制の導入、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の変更等々、賃金と雇用に関する基本的な制度に大きな変化が進行している。これらの動向と特徴やその背景にあるものを探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに職能給、職務給、職能資格制度、小集団管理、人事効果などを賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理との整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定である。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。再試験は実施する。

教 科 書

現在選定中。初回講義までに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	しま 島 崎 規 子	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

最も授業で目的とする点は、簿記とは、どのようなものであるかを理解してもらい、簿記のおもしろさを知り、好きになって簿記検定試験に挑戦してもらいたいことです。
簿記は、実践学です。学生各人が電卓とペンを使って先生といっしょに勉強に参加する授業です。
簿記の授業では、会社で日常使う言葉がたくさんでてくるので、就職する前の準備教育にもなります。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の講義は、簿記検定を受験する者や経理で活躍しようとする者にすぐ役立つよう以下の内容で体系的に進めたい。友達といっしょに参加して下さい。
講義の大筋は、次のとおりです。
〈前期〉— 複式簿記の基礎知識 —
 (1) 簿記の主要概念
 (2) 取引・仕訳・勘定記入
 (3) 決算手続・試算表・精算表（その1）
 (4) 決算整理事項と精算表（その2）
 (5) 貸借対照表と損益計算書の作成
 〈後期〉— 主要取引・帳簿記入・応用問題 —
 (6) 現金・預金・有価証券の取引
 (7) 商品売買・掛・債権・債務の取引
 (8) 固定資産・手形・資本の取引
 (9) 売上帳・仕入帳・商品有高帳の記入
 (10) 応用問題

履修上の留意点

授業では、毎回、教科書、ノート、電卓、筆記用具、定規が必要です。他人に迷惑をかけないように忘れないで持ってきて下さい。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、定期試験などを総合評価して決めます。なお、欠席理由が学校行事への参加や教育実習などの場合は出席扱いとします。きちんと届けを出して下さい。再試験を実施します。

教科書

下野武司・島崎規子・石田九州男著『複式簿記の理論と演習』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	かわくち おさむ 川口修	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

現在、簿記といえば技術的には、複式簿記を意味している。その簿記を商企業に適用したものが、商業簿記である。商業簿記は簿記を理解するうえで、最も基本になるものである。この講義では、簿記の基礎から仕訳・転記、試算表・精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書・貸借対照表の作成までの一巡について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、簿記の基礎概念、仕訳と仕訳帳記入、元帳転記、簡単な決算手続きまでの一巡について講義する。ここまでは、いわば、簿記の骨格であるから、正確な理解をして欲しい。後期には、勘定科目の内容と具体的な事例の処理、決算整理事項を含む決算手続きについて講義を行う予定である。

履修上の留意点

簿記は、基礎の理解とそれに基づく積み重ねであり、不断の努力が必要とされるものである。講義は、テキストを中心に進めていくので、予習・復習が内容理解の上で大いに役立つと考えている。休まないで受講して欲しい。

成績評価の方法

試験は、前期と後期の2回を考えている。比重は、前期4・後期6程度とし、出席を考慮した総合評価を行う。詳しくは、最初の講義の時に説明する。再試験を実施する。

教科書

『簿記の基礎構造』（創成社）

参考書等

必要に応じてプリント等を配布する。
『簿記の基礎構造』ワークブック（創成社）

その他

計算を必要とするので指示をした時には、計算用具を持参して欲しい。簿記は実用性の高いものであり、会計関連科目の基礎となるものであるから、しっかりと学習・理解して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	えん 遠 藤 孝	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計（FINANCIAL ACCOUNTING）について、その伝達、開示の手段である貸借対照表（BALANCE SHEET）、損益計算書（INCOME STATEMENT）を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えばではヤオハン、三田工業、山一証券の粉飾問題。会計監査の信頼性・監査法人の損害賠償責任問題。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- (1) 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週
先週に引き続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週
財務会計の制度性について。
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週
資産評価について。流動資産・棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週
繰越資産について。繰越資産の特殊性、繰越資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準・商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週
同上。
- (10) 7月第1週
資本会計について。

後 期

- (11) 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週
同上。
- (14) 10月第1週
同上。連結キャッシュ・フロー計算書。税効果会計
- (15) 10月第2週
セグメント会計について。
リース会計について。
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (16) 10月第3週
企業内容、会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表（書）。
- (17) 10月第4週
同上。
- (18) 11月第1週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (19) 11月第2週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。会計監査の信頼性、何を監査するのか、監査の範囲。「企業会計原則」について。
- (20) 11月第3週

- 会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (20) 11月第4週
同上。会計の国際化と日本企業会計制度改革。会計 Big Bang.
 - (21) 12月第1週
世界企業会計の最新動向。
 - (22) 12月第2週
同上。
 - (23) 12月第2週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。総括。
 - (24) 最終週
予備。
以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配付。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

現在私たちが生活している社会は、資本主義社会とよばれています。それは利潤を追求する資本が生産や分配を規定する力となっているからです。現代社会はますます複雑化していますが、資本主義の一般的な経済法則やその仕組みを学ぶことは、この社会で生活していく私たちにとって不可欠のことといえるでしょう。経済理論ⅠA・ⅠBでは、現実の経済現象を分析することによって立ち立てられた、科学的な方法を駆使したマルクスの経済学を講義します。

今の世界は封建制が崩壊することによって確立され、今でも変化発展しています。しかし、そのことは資本主義社会が調和的かつ平穏なかたちで発展してきたものであることを意味するものではありません。たしかに、アメリカ・日本など先進資本主義国では人々の所得が多くなりましたが、それだけに南の貧しい発展途上国の人たちの所得格差は拡大しています。先進国どうしの間にも貿易摩擦などの形で対立が明るみに出ています。先進国内部をさらにのぞいてみると、財政赤字や高い失業率という実態があり、特に日本では労働者が長時間労働に悩まされています。

資本主義は経済成長をとげてきたのに、どうしてこれらの問題を解決ができないのか、という疑問が生じるのも当然のことといえるでしょう。環境問題も、実はよく見ると資本主義の発展がひきおこしてきたものであることが分かります。私たちは、21世紀に向けてこうした直面する問題について考え、その解決に向けて取り組むことを余儀なくされています。このように、少し考えてみると、こうした問題をひきおこす資本主義の一般法則をよく理解し把握しておくことが何よりも重要であることが分かります。

さて、経済理論ⅠB・経済システムの原理の講義では、経済理論ⅠAにおける資本一般の原理の把握をふまえて、資本主義のシステムを成立させている特殊な諸関係や国家財政とのかわりといった問題が扱われることになります。また、現代の資本主義を理解するためには、独占資本や独占価格の法則、資本の運動の国際的展開といった面にも目を向けなければなりません。経済の高度成長や平成不況など現代の現象についても、時間の許す限りふれることにします。

 講義の内容・
授業スケジュール

この講義は次のようなテーマのもとに進められます。

1. 商品と貨幣
2. 資本の生産と再生産
3. 平均利潤率と生産価格
(以上は、経済理論ⅠAの要約という内容になります。)
4. 利子生み資本と銀行制度
5. 資本主義的農業と地代
6. 社会階級と国民所得
7. 経済政策と国家財政
8. 貿易と国際経済関係
9. 産業循環と恐慌
10. 独占資本主義の経済構造
11. 国家独占資本主義とインフレーション
12. 21世紀の経済と社会

履修上の留意点

経済理論ⅠBは、経済原論Ⅰないし経済理論ⅠAをとってから履修するのが望ましいが、またとっていない者でも理解できるように最初の数回は資本の一般原理についての解説に充てています。経済理論Ⅰはいずれの科目も全体を聞いて初めて理解できるというように、1つの体系的なまとまりをもっていきます。その点からして、毎回出席し、ノートをよくとることが必要とされるでしょう。

成績評価の方法

授業中に何回か小レポートを書いていただきます。後期に定期試験を実施し、成績の評価は、その定期試験と小レポートの点数を合計することによって行ないます。追・再試験を実施します。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,000円の予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 数 学	みずの野かつし之 水野勝之	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かはなかなかわからない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいけばはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数字の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ
 - ①関数
 - ・関数
 - ・同次性
 応用：効用関数と生産関数
 - ② Σ (シグマ)
 - ・応用：予算式の表示
 - ・物価指数
 - ③その他
2. 微分と偏微分
 - ①微分の意味と最大・最小
 - ・応用：弾力性・他
 - ②微分いろいろ
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 - ③偏微分
 - ・偏微分の意味
 応用：効用関数と限界効用
生産関数と限界生産力
 - ④その他
 - ・全微分
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法
3. 行列
 - ①ベクトルと行列
 - ②行列の加減と積
 - ③行列式
 - ④逆行列
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でもよい、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価
尚、再試験は実施しない。

教 科 書

水野勝之『入門テキスト経済数学 (仮題)』(中央経済社)
水野勝之『テキスト経済数学』(中央経済社)

参 考 書 等

水野勝之『テキスト計量経済学』(中央経済社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら 荒 き よし 木 勝 ひろ 啓	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される *as if* パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところでは経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よし 吉 野 おきむ 紀	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 5回
GDP, GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」 4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計 量 経 済 学	いの井 うえ けん健	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

経済学を現実のデータを用いて実証するための理論および具体的な手法の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義で基本的な事柄を把握した後で、それを実際にコンピュータを用いて確かめるという順序で進める。具体的には以下の内容となる。

- (1)計量経済学の目的
- (2)基本的な統計量
- (3)EXCELの使い方
- (4)推定
- (5)検定
- (6)単回帰モデルの推定と検定
- (7)重回帰モデルの推定と検定
- (8)ダミー変数
- (9)系列相関
- (10)不均一分散
- (11)同時方程式モデル

履修上の留意点

積極的な参加を期待する。最終的に自分で実証分析ができるようになることが究極の目的である。そのために必要な最低限の知識や道具の習得をすべて自習することはそれほど容易なことではない。コンピュータ及び統計学に関する前提知識は基本的に要求しない。講義の中で一から習得してほしい。

成績評価の方法

数回の宿題と期末のレポートをあわせた総合評価とする。
再試験を実施する。

教 科 書

白砂堤津耶著『[例題で学ぶ] 初歩からの計量経済学』（日本評論社）2,940円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計原論	よし 吉野 おさむ 紀	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にある という認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サミュエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになる。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであるとして、偶然が支配していると思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなくなかったときの、神の仮名であろう」(アナトール・フランス)。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記述統計 — 標本データの整理 —
 度数分布表
 統計値（平均値、中央値、最頻値）
 散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
 2項分布
 ポアソン分布
 正規分布
3. 標本抽出と標本分布
 ランダム・サンプリング
 中心極限定理
 t分布
4. 統計的推定
 推定とは何か
 平均値の区間推定
5. 仮説検定
 検定とは何か
 平均値の検定
6. 回帰分析Ⅰ
 単純回帰モデル
 最小2乗法
 回帰と相関
7. 回帰分析Ⅱ
 回帰における統計的推測
 多変量回帰（重回帰）
8. 経済成長の見方
 弾力性の話
 eの話

履修上の留意点

第2講では、2項分布や正規分布の分布の様子を見るために、パソコンでプリント・アウトさせた資料を配布して、具体的なイメージをもってもらえるよう努めたい。

また、1-201教場を使ってインターネット上のアプレットにアクセスして授業を行うことも、年に数回予定している。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

再試験は実施。

教科書

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
景気循環論	にしむらみつよし 西村 允 克	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

全体としての経済は、景気回復→好況→景気後退→不況→景気回復→という循環を繰り返しながら発展してきた。この発展が景気変動論の対象であるから、この景気変動を繰り返しながら発展する経済過程を、いかに理解・把握するかが、この講義の中心目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下のように進められる。

I 国民所得決定理論

対象が全体としての経済であるから、全体としての経済の成果を示す経済数値である国内総生産（GDP）を動かす要因とそれらの要因の変化がGDPにどのような影響を与えるか、という問題をここで取り上げ、景気変動を理解するための理論的基礎を与える。

II テキストの批判的説明

景気変動は経済数量の変化によって説明されるから、テキストに示された数値や図を用いながら、戦後日本の景気変動の具体的な姿を解明する。

在庫投資循環（キッチン・サイクル）

設備投資循環（ジュグラー・サイクル）

コンドラチェフ・サイクル

の3つのサイクルがまず取り上げられ、それぞれをテキストの図・数値によって説明し、3つのサイクルの関係について説明する。

次に金融や輸出がサイクルといかなる関係があるかを説明する。

講義はテキストの順序に必ずしも従がうものではない。

履修上の留意点

景気変動は現実の経済と密接な関係をもっているから、受講者は毎日の新聞記事に注意して出席すること。

成績評価の方法

期末試験。再試験は実施。

教科書

森一夫著『日本の景気サイクル』（東洋経済新報社）3,150円

参考書等

篠原三代平著『戦後50年の景気循環』（日本経済新聞社）

嶋中雄二著『メジャー・サイクル』（東洋経済新報社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代資本主義論	きたはら いさむ 北原 勇	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

専門教育科目

講義のねらい

現代は「大失業時代」であり、また「金融システム危機の時代」である。そしてこの事態に対し、確固たる打開策も将来の展望も見いだせない状況にある。なぜ資本主義経済はこのような事態に立ち至ったのか、この正確な分析なしに今後の展望は語れない。本講義は、第2次大戦後の半世紀の歴史を概観しながらこの問題に迫ろうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代資本主義分析の方法を巡って正統派・宇野学派・レギュレーション学派のそれぞれの特徴・有効性・限界を比較検討したうえで、①アメリカ主導の「冷戦下・国家独占資本主義体制」の成立・展開・解体の過程を、他方における「冷戦下・社会主義体制」の成立・崩壊の過程との関連で把握する。

なお、毎回、講義の冒頭に最新のトピックスについて解説する時間をおく。学生諸君が新聞をよく読み現代の様々な問題について考える習慣を身につけてもらいたいからである。

成績評価の方法

学年末試験。随時小テストを加味。

教科書

北原勇・伊藤誠・山田鋭夫『現代資本主義をどう見るか』（青木書店）2,500円

参考書等

北原勇『独占資本主義の理論』（有斐閣）
 北原勇『現代資本主義における所有と決定』（岩波書店）
 井村喜代子『現代日本経済論』（有斐閣）
 本間・北原・鶴田編著『資本論体系第10巻・現代資本主義』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	あべひろし 阿部弘	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立は新しく、19世紀に入って「近代市民社会」の成立の時期と軌道を一つにしている。この講義は「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にする。そして特に、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのばあい、この「フランス革命」の精神、また「プロレタリアート」に象徴される階級社会の問題はヨーロッパだけではなく、『資本論』が出版された時期に明治維新を契機にして「近代」社会に入っていく日本や、その日本よりも後で近代社会を迎える中国社会の学問形成に大きな影響を与えた。したがって、この講義では、ヨーロッパ・日本・中国で「経済学」がどのような道筋を経て形成されてくるのかを展開してみたい。そのうえで、現代社会の中でこのような性質を持つ「経済学」が私たちに対して一体何を問題提起しているのか、受講生諸君と共に考えていきたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

- 年間の講義は次の構成となる。
- 第1部：フランス革命期における経済学の形成過程
- 第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開
— マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ
- 1 マンデヴィル：新しいブルジョア道徳の特性
 - 2 マンデヴィル批判
 - 3 スミス「道徳感情論」
- 第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程
- 1 フランス革命期の思想と「フランス革命」
 - 2 スミスの「経済学」とその分裂
 - 3 古典派経済学の形成とその矛盾
- 第3章：独占資本主義と帝国主義的経済学
- 1 経済学の二つの側面と保護貿易主義
 - 2 独占資本主義経済学
 - 3 帝国主義的経済学とその批判
- 第2部：日本の明治期における経済学の形成過程の特質
- 第1章：明治期のヨーロッパ自由主義思想の流入とその解釈の特徴
- 1 1840-60年代のヨーロッパ自由社会思想の非体系的輸入
 - 2 フランス革命の精神とその日本の解釈の特徴
 - 3 アダム・スミスの「国富論」
- 第2章：古典派経済学の日本での位置
- 1 スミス「国富論」の意味
 - 2 ジェボンスの価値論の流入
 - 3 Tentearo MAKATO の「経済学」批判
- 第3章：日本の「国家学体系」的学問の成立
- 1 保護貿易主義
 - 2 「マルクス主義」の流入
 - 3 日本の国家学体系
- 第3部：中国の「民国主義」と経済学の形成過程
- 第1章：中国での「経済」および「経済学」の歴史の変遷過程
- 1 「経世済民」思想
 - 2 食貨政策論の展開
 - 3 生活と経済
- 第2章：ヨーロッパ個人主義思想の流入と新しい形の「経済学」
- 1 清朝時代後期のヨーロッパ文化との接触と価値観の変化
 - 2 “Economic”という概念
 - 3 海外への留学と新しい学問の吸収
- 第3章：孫文思想と「経済学」
- 1 孫文思想の特質
 - 2 1949年革命とその特質
 - 3 資本主義思想の輸入と流通主義的経済学の形成

成績評価の方法

- 1 年間4回のレポート作成で単位認定を行います。
(1)レポートは次の大体の日程で行います。

教科書・
参考書等

その他

No.1：6～7月 No.2：9～10月 No.3：11～12月 No.4：1月

(2)方法：レポート作成当日に教場で行います。

No.1のレポート・テーマは講師が受講生全体に共通のものを設定します。

No.2以降のレポートのテーマは各自のレポートの中からそれぞれ設定します。

(3)単位認定に必要なレポートの回数は4回です。何かの事情でレポート作成当日に欠席したばあいには後日その補いが有効ですが、そのばあいには「理由書」と倍のレポート（自宅での作成／テーマは講師が設定したもの+自由論題）が必要になります。しかしながら、No.1およびNo.3のレポート未提出者（欠席者）の場合は単位を放棄したものと見なします。

2 「定期試験」それに付随した「追試験」・「再試験」は行いません。

教科書や参考書等は講義の中で指定します。

受講生と講師がレポート外で連絡し得るようにするために、講師の住所等を付記しておきます。
阿部弘

☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

☎03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538

TEL.03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	はしの 橋野 ともこ 子	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「パックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済－工業化の新しい局面
- (9)1920年代－世界秩序の再編「パックス・アメリカナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代－対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望－産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ? どうして?」という疑問を大切にして下さい。

成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

教科書

三和良・『概説日本経済史 近現代』（東大出版会）1993年（2,400円＋税）

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋経済史	ともまつ よしひこ 友松 憲彦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、21世紀の日本に生きていく自分に18世紀や19世紀の西洋の経済を学ぶ意味があるのか、という疑問をもつ人もあろう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もいるのではないか。

いうまでもなく、われわれは数百年まえの西洋社会に生活してはおらず、21世紀の日本社会を生きていくのである。また、どんな学問にも正確な事実認識は重要であるが、たしかに歴史系の科目は他に比べれば覚えるべき事実は多いかもしれず、憂鬱な気持ちが理解できないわけではない。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていない。講義がめざすことは、現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、「過去の経済」(=経済史)の研究から考え探ることである。具体的にいえば、近代ヨーロッパやアメリカの経済の歴史を、資本主義といわれる経済システムの成長、確立、波及、変質の歴史的歩みを中心に分析し、上記の課題に接近することである。また、「過去の経済」を知ることは、現在われわれの生きている経済や社会を見直し、相対化する目を養ううえでも重要だと思われる。

さらに、「西洋経済史」は経済学を学ぶうえでの基礎となる科目でもあることも指摘しておきたい。例えばこの講義からは経済学の発達歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識を得ることが期待できよう。あるいは、資本主義発展の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能になるように思われる。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係を持ち、経済学の学習にとり土台となる科目なのである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 資本主義とはなにか
 - (1) 商品経済と市場経済
 - (2) 近代と前近代の経済
2. 前資本主義の経済(ヨーロッパ中世の経済)
 - (1) 村落「共同体」と農業
 - (2) 荘園制度
 - (3) 中世都市の商工業
 - (4) ギルド制度
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の生成
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立(イギリス産業革命)
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
5. 資本主義の波及
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 植民地の形成
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 植民地支配とその結果
7. 現代資本主義

履修上の留意点

講義は低学年でも十分理解できる内容であるが、教科書を使用しないので講義ノートをかみならず取ることが必要である。

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施しない。

教科書

加勢田博編『西洋経済史』(昭和堂)1996年 配布される資料も重要である。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

その他

質問等で研究室を訪問することを歓迎する。（第2研究館2416研究室）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	よね だ ひろ し 米 田 浩 史	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

昨年11月シアトルで開催された WTO 閣僚会議は劇的な失敗に終わったが、新たな貿易交渉の中では、先のウルグアイラウンドにおける農業合意が再び見直されることになっている。これに対応して、我が国では1961年制定以来農業政策の原点とされてきた農業基本法に代わって、昨年7月新たに「食糧・農業・農村基本法」が制定され、一昨年12月発表された「農政改革大綱」や「米輸入関税化受け入れ」と共に、日本の農業政策は大きな転換期を迎えつつある。戦後半世紀を経た今日、農地改革に始まる戦後農政の経験を総括して今日の転換の意味を考え、新しい日本農業発展の方向を探求することは、差し迫った国民的課題と言えよう。そのためには、単に戦後農政の展開の後を辿るにとどまらず、日本農業が現在置かれている歴史的、構造的な条件を広く世界史的な視野から理論的に把握しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

我が国は欧米先進諸国より遅れて、かつ欧米列強の関国への強い圧力の下で、強力な国家主導の産業発展の道を歩むことになった。そのため農業における近代的生産関係の成長は著しく立ち遅れ、明治維新以後支配的となった寄生地主制の重圧のもとでその発展は歪められた。農業における近代的生産関係の未成熟が、戦前の我が国の経済社会の発展に欧米諸国に比べて特異な性格を与えたことはよく知られている。

とりわけ、国内市場の未成熟を背景に強行された対外進出の一環を成す植民地産米移入が国内農業を著しい苦境に追い込み、太平洋戦争下の食糧危機の一因となった歴史的事実を忘れることは出来ない。

戦後、占領軍の主導の下に行われた農地改革は、寄生地主制を基本的に一掃して我が国農業に近代的発展の道を開いたが、経営の零細性は未解決に止まった。また、戦後世界農産物市場におけるアメリカと EC の対抗を軸とする市場競争の激化を背景に、我が国もまた二国間、多国間の圧力のもとに次第に農産物の輸入自由化を余儀なくされ、我が国の農業発展は厳しい市場条件に直面することになった。その中で、農家の所得確保の役割が専ら米価に求められたことなどから米の生産過剰が生じ、生産調整が進められた。

同時に、急激な工業製品の輸出拡大を伴う高度経済成長の下で、農村労働力の流出、兼業化の進展、生活コストの上昇などが生じ、小型農業機械や農薬による省力技術の普及と相まって農家の専業下限が大きく上昇した。農業基本法の掲げる「自立経営」育成を目指して様々な構造政策が展開されたが、現実には圧倒的な「総兼業化」が進行することとなった。

1993年のウルグアイラウンド合意は、EC の CAP (共通農業政策) 改革における直接補助とアメリカの不足払いには手を触れないこととする一方、日本に対しては、2000年までの猶予付きながら、我が国農業に残された最後の支柱である米の市場開放を求め、同時に国内の農業支持措置についても切下げを要求している。これに対して日本は昨年米の輸入関税化を行った。

米の市場開放と農業支持の切下げは、工業製品輸出の急増に伴う対外収支の不均衡と貿易摩擦の解決に資するものとして、あるいは国内に新たな投資機会を生み出すものとして、国内の一部にも根強い期待がある。

しかし、我が国の今後の経済社会の発展の中で農業の果たすべき役割を過少評価することは出来ない。世界の農産物市場の将来は、深刻な食料危機の可能性も含めて多くの不安定要素を孕んでいる。また、世界市場における今後の取支構造の中で、我が国が永遠に現在の地位を維持できると考えるのは楽観的に過ぎるとの見方もある。

更に、地球環境保全のための持続可能な経済発展の見地から、食糧の過度の輸入依存は問題ありとする論議も強まっている。

21世紀に向けて、我が国経済社会の安定した発展を保障する日本農業を構築するために、我が国の農業政策はどのように展開されるべきか、学生の皆さんとともに考えて行きたい。

前期は農業問題の解明の前提となる地代論、農産物価格論、農産物市場論など農業理論を中心に、後期は我が国の農業問題、農業政策の歴史的展開過程を中心に講義を進める。

履修上の留意点

「経済政策 (石井啓雄教授)」と併せ受講されることをお勧めする。

成績評価の方法

期末試験の成績および出席状況を考慮する。再試験を実施する。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
工業政策	ふくだ あつし 福田 敦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

今年度は、わが国経済のダイナミズムの源泉であり日本経済再生の鍵とされる中小企業に注目し、その経営実態の把握と政策スタンスのあり方を検証します。はじめに、わが国の社会経済環境が大きく変わる中でこのほど中小企業基本法が36年ぶり改正され、中小企業政策の理念がこれまでの「二重構造の格差是正による豊かさの実現と結果の平等」（弱者としての画一的中小企業像）から「多様で活力ある独立した中小企業を育成・発展」（経済の新陳代謝と雇用創出機会の担い手という積極礼賛の中小企業像）へ大きく転換した意義について検討します。その際、わが国の中小企業政策について振り返りその総括もする予定です。

次に、中小企業の経営や地域産業（または産業集積）の現状について考察し、今回の政策転換の妥当性について議論を行います。なお、講義の対象としては必ずしも製造業に限定せず、また海外の動向についても取り上げる予定です。講義のねらいは中小企業に対する正しい理解と今後の政策スタンスのあり方を学ぶことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 市場経済と中小企業のミッション
- 2 中小企業と大企業との分業取引関係の変化
- 3 中小企業問題とこれまでの中小企業政策の総括
- 4 中小企業政策研究会報告書（平成11年5月）の概要
- 5 新たな時代の中小企業者像と中小企業政策のあり方
- 6 中小企業の経営実態と今後の経営課題
- 7 地域経済の中で期待される中小企業の役割
- 8 産業集積形成の意義と崩壊のプロセス
- 9 創業・ベンチャー企業支援のための政策課題
- 10 中小企業の経営革新と地域経済の活性化に向けた政策課題
- 11 国と自治体の政策コンプレックスのあり方

履修上の留意点

教わるという受動的な考え方で履修するのではなく、自ら考え自ら学び自ら授業に参加するという気概をもつ学生の受講を希望します。単位の認定や成績については全て自己責任とします。

成績評価の方法

受講生の数にもよりますが、区切りがよく一定の時間が経過した段階で学生諸君の問題意識や考え方を探るために簡易な試験を行います。出席点はこの試験をもって代えます。このほか、夏休みには簡単なレポートを課す予定です。なお、再試験については行う予定です。

教科書

伊丹敬之・松島茂・橘川武郎『産業集積の本質』（有斐閣）
清成忠男・港徹雄・田中利見『中小企業論』（有斐閣）

参考書等

関満博『空洞化を超えて』（日本経済新聞社）
鈴木安昭『新・流通と商業』改訂版補訂（有斐閣）
橋本久義『町工場の底力』（PHP 研究所）
前田重朗・石崎忠司『中小企業の現状とこれからの経営』（中央大学出版会）

その他

ビデオやスライド等の視聴覚教材を随時使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理	す 須 <small>やま</small> 山 <small>さとし</small> 聡	経 A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

地域の経済的つながり、地域経済の分析、経済の地域間格差を理解するためのツールとしての地理学的観点や基本概念を提供する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに地理学の目的と基本概念を図上実験を交えて講義する。後期には経済現象の地域的な捉え方の例としていくつかの地域の産業活動を例に講義を進める。

また、今年度は都合により前期に1年分の講義を行うので週2回の講義となることに注意されたい。

履修上の留意点

前期の講義をないがしろにすると、後期の内容が理解できなくなるおそれがある。積極的な参加を望む。出席を厳格にとる。

成績評価の方法

学年末試験（60%）、出席（40%）で評価するが、場合によってはレポートも課す。

教 科 書

適宜資料を配布する。

参 考 書 等

地図帳（高等学校で使用していたものでよろしい）を持参されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 論	こ い で し ゅ う そ う 小 出 修 三	経 A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 B1・2・3・4選	

講義のねらい

交通に対する政策には、さまざまな政府による経済的な規制が非常に多い。鉄道、航空などの運賃は規制緩和の方向にあるものの、現在もなお、政府による規制制度の下にある。また、その市場に参入することも容易なことではなく、航空路線への新規参入も大きな話題となるほどである。ほとんどの商品やサービスを生産する一般の企業はその価格の決定や市場への参入退出が自由に行われていることを考えた場合、交通産業が置かれた経営環境は大きく異なる。本講義では、交通に対するこうした政府による公的規制がどのような理由によって行われているのか、そしてそれが社会に対してどのように影響を及ぼしているのかを考察することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、上述のように、交通に対する規制制度を理解するために、前期においては各種交通機関を横断的に検討するとともに、日本における事業分野別に各交通機関の市場構造について概観する。そして、その規制制度について諸外国での制度と比較しながら、実体面および理論面からどのような議論がなされているのかについて考察する。

1. 交通産業の規制制度、そしてその変化（交通公企業の民営化の論議を含む）
2. 運賃料金制度
3. 交通調整制度、補助政策（総合交通体系論を含む）

後期においては、各交通機関別に以下のとおりの順で各論を展開しながら、それを通じて都市間交通、都市・地域内交通、および国際交通の実態について考察し、そこにおける問題点について論じる。

4. 鉄道
5. 道路輸送
6. 航空
7. 海運

成績評価の方法

定期試験の成績によって評価する。
再試験は実施しない。

参 考 書 等

テキスト・参考文献については毎講義に配布するレジュメに、その講義の理解するために必要な文献について示すのでそれを参照してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	三井逸友	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定概念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な（critical）構成要素である」（クリントン米大統領）と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』（森清著、ダイヤモンド社刊）のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。それにもかかわらず、日本の政府は、従来の中小企業政策を不要とし、時代錯誤な姿勢を世界にさらけ出した。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーダイズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小企業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的な視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとでの、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国については、近年の「中小企業政策」否定、創業促進策、ベンチャー企業支援策などへの「転換」も検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日の現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。「再試験」は実施する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）2,800円（税抜）
同編『日本の生産システムの評価と展望』（ミネルヴァ書房）3,600円

参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円
中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円
中小商工業研究所編『現代日本の中小商工業－国際比較と政策編』（新日本出版社）、刊行予定

その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面の WEB サイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui_Seminar/mit/

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山 口 由 二	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美徳とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しきゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・ K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1950年に原著は刊行されている。
- ・ 宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書（岩波書店）
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・ 宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。
- ・ 環境庁編『環境白書平成11年度版 総説・各論』（大蔵省印刷局）
白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルが変わり11年度版は「21世紀の持続的発展に向けた環境メッセージ」で20世紀の環境問題に対する反省から次世紀に如何なる教訓が得られ、今後の持続的可能な社会の方向性を論じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 策	はん や とし ひこ 半 谷 俊 彦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

財政政策は財政学と密接な関係にある。財政学が公共部門の経済を分析し、その望ましいあり方を追求する学問であるのに対し、財政政策は、その名が示すとおり、財政学の成果をどのように政策に反映させるかを論じるものである。この講義では、景気対策、地域振興政策、環境保護政策など、現実に行われている財政政策を批判するための基礎能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

財政の役割は、①資源の効率的配分、②富の再分配、③経済の安定化、の3つに大別することができる。①には例えば独占への対策、公共財の供給、環境汚染への対策などが該当する。また②には租税による所得の平準化や社会保険などが、そして③には公共投資の拡大による景気対策などが挙げられる。前期ではまず①を達成するための政策を検討し、次いで最も重要な政策手段のひとつである租税について、その基礎理論を論じる。後期ではこれを受けて、②および③を達成するための政策について検討する。

成績評価の方法

前期試験および後期試験により評価する。なお4年次生については再試験を実施する。

教科書

H.ツィンマーマン・K-D.ヘンケ著、八巻節夫・平井源治他訳『財政学』（文眞堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	しの 篠原 あきら 章	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

〔基礎編〕（主として前期）

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

〔応用編〕（主として後期）

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化社会と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末に筆記試験またはレポート提出を義務づける。また、少なくとも前後期各1回は課題を示し、簡単なレポートも作成してもらう。再試験は実施する。

教科書

4月開講時に指示する。

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール (akirashi@ic.daito.ac.jp) でも受けつけるので、ぜひ活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配当学科	単 位
国 際 金 融 論	さいとうひさひこ 齊藤 壽彦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商B1・2・3・4選	

講義のねらい

外国為替、国際通貨、国際銀行業の理論と歴史と現状を中心として国際金融を講義する。金融面に重点を置きつつ、できるだけわかりやすく講義し、時事問題にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

前期は外国為替および国際金融市場について説明する。

- 4月：外国為替の仕組み
- 5月：外国為替相場論
- 6月：外国為替銀行論
- 7月：国際金融市場論

後 期

後期は国際通貨、IMF体制、旧IMF体制崩壊後の国際金融上の諸問題、日本の国際金融について講義する。

- 9月：国際通貨の理論
- 10月：IMF体制の成立、IMFの制度と機能と現実、旧IMF体制の崩壊
- 11月：変動為替相場制、SDR、ユーロダラー、インターナショナル・バンキング
- 12月：戦前日本の国際金融、戦後日本の国際金融（とくに日本の金融の国際化としての円の国際化、銀行の国際化、東京の国際金融センター化、日本企業の国際的資金調達、東アジアにおける日本の金融の国際化の進展）
- 1月：講義の要約と国際金融の将来展望

履修上の留意点

できるだけ出席するよう履修者に望みたい。年に数回出欠を点検する。また前期授業の最後に小論文（試験ではない）を提出してもらう。

成績評価の方法

学年末の筆記試験を中心とする。前期末の授業時間中に行う小論文の作成と出席点を若干考慮して成績をつける。
再試験を実施する。

教 科 書

授業時間中に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	よね だ みつぐ 米 田 貢	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

前半の【現状分析論】では、現代日本の金融構造を概観したうえで、90年代日本における金融危機の展開過程を具体的に紹介する。後半の【理論篇】では、それらの金融危機を理解するための基礎理論として信用理論を体系的に説明する。

講義の内容・授業スケジュール

【現状分析編】

1. 現代日本の金融構造
2. 1990年代の日本金融危機の概観
3. 銀行取付とは何か？-木津信用組合の経営破綻の事例研究
4. 住専処理をめぐって
5. 現代日本における土地問題-80年代の土地投機をふりかえる
6. 97年金融危機はいかに急展開したか-三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻
7. 98年金融危機と日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の特別公的管理=一時的「国有化」
8. 1980年代アメリカ金融危機とセーフティネット
9. 現代日本における金融危機管理の失敗

【理論篇】

1. 銀行とは何か？
2. 貸借関係と利子生み資本
3. 預金通貨と信用創造
4. 現実資本の蓄積と貨幣資本の蓄積
5. 中央銀行の機能
6. インフレーションとは何か？
7. 現代資本主義の投機化現象について
8. 現代資本主義のグローバル化と為替投機

成績評価の方法

- 1) 【現状分析篇】終了時点で、現代金融危機についてのレポート提出。評価40点満点。
- 2) 学年末に、【理論篇】の内容について論述試験を行う。評価60点満点。両者合計が60点以上の場合に単位を付与する。再試験を実施する。

教科書・参考書等

授業はレジメに沿って行う。参考文献については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
証券市場論	磯谷 玲	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、広い意味での金融、あるいは資金循環のなかでの証券市場の位置付けを考えることを目的とする。また、そのために証券市場に関する基礎的知識をとり扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次の5つのブロックに分けて行う。なお、具体的対象国としてはアメリカを設定するが、日本の証券市場の制度についても必要に応じて言及する。

- ①基本的な証券市場の構造・仕組み
- ②資金循環の基本的な考え方、および統計のとらえ方
- ③80年代における証券市場の役割・機能
- ④90年代における証券市場の役割・機能
- ⑤金融制度改革の歴史を動向（1980年以降を中心とする）

履修上の留意点

新聞紙上等で伝えられる程度の経済事象についての知識を前提とする。

成績評価の方法

基本的に定期試験によって評価する。

教科書・参考書等

第1回目の講義時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険論	今泉 敬 忠	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、個人であると企業であるとを問わず、多様化しかつ巨大化した危険（リスク）をどのように処理するかは、経済生活上大きな問題となっている。そうした危険の処理に当たって大きな役割を果たすのが保険制度である。本講義では、まず保険の基本的原理を理解し、その上で個別の保険を取り上げてその実際がどのようにになっているかが理解できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険の研究方法には種々の方法があるが、本講義では、前期には、保険の基本的原理（すなわち、保険の生成、保険の概念、保険の機能、保険料、責任準備金、資産の運用とその規制、保険者の組織、保険の分類等）を取り上げ、後期には、個別の保険（例えば、歴史的に一番古く、その後生成したその他の保険に大なり小なり影響を与えた海上保険）を取り上げ、経済生活上危険の発生が予測される場合、その危険が現実が発生し、それによって生じる経済的不利益（すなわち損害）が保険によってどのように補償されるかを、どの保険にも応用できる形で講義する。

履修上の留意点

保険は、必要があって生成し、長い年月を経て発展してきた経済制度であるから、それなりの独自の機構や組織をもち、更に用いられる用語にも特殊性がある。したがって、講義に出席してノートをとるだけでなく、下記参考書のいずれかを熟読することが必要であり、そうすることを希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業時間中の態度および学年末試験を総合して評価する。
再試験あり。

教科書

特に指定しないが、下記参考書を利用することが望ましい。
なお、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

鈴木辰紀編著『保険論』（第9版）（成文堂）
石名坂昭著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）
前川寛『現代保険論入門』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり 森 おか 岡 じん 仁	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる低出生力と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていくことは周知の事実である。

一方発展途上諸国に生じている急激な人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

何はともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものとはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年
国際人口学会編（日本人口学会訳）『人口学用語辞典』（厚生統計協会）1994年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	や 谷 敷 た だ 正 み つ 光	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化と教育
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育 「21世紀アメリカ教育行動計画」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育1 工場払下と産業の勃興
 - (15) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30~40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献を講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

- 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
土志田征一『レーガノミックス』（中公新書）
原田和男『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふる古 まわ沢 こう紘 そう造	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 - 1. 農産物と貿易
 - 2. 水産物と貿易
 - 3. 林産物と貿易
 - 4. 鉱物資源と貿易
 - 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 - 1. 開発援助と貿易
 - 2. 環境と貿易
 - 3. 公正と貿易
 - 4. グローバリゼーションと貿易
 - 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。再試験を実施する。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちよん 章 よん 淵	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤヌスの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義計画は、以下の通りである。

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済
 - ① 資本主義萌芽問題
 - ② 植民地経済の実情
 - ③ 「植民地近代論」批判
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
 - ① 農地改革
 - ② 外国（アメリカ）援助
 - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※ 韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - ① 新古典派アプローチ
 - ② 世界システム論的アプローチ
 - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
 - (2) 東アジア経済発展論
 - ① 世銀のアプローチ
 - ② 国家主義的アプローチ
 - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
 - ④ その他…企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程

- (3)その他の中小規模経済圏
- 7. アジア経済の現状
 - (1)アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2)その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3)日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
 本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この3点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。
 前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。
 これについて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)鄧小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。
 このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないうであらう。そこで歴史的方法をとるわけである。
 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。
 教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
 また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
 （再試験あり）

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸 寛 <small>とおか ひろし</small>	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカかのでできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようと考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

- ◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇アメリカの建国の理念と現代の経済
- ◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇アメリカの農業
- ◇アメリカの工業
- ◇アメリカの企業家とベンチャービジネス
- ◇アメリカの雇用と労働者
- ◇アメリカの商業とサービス
- ◇アメリカの交通・通信・情報
- ◇アメリカの金融
- ◇アメリカの教育と経済
- ◇アメリカの科学技術
- ◇アメリカの先端産業
- ◇アメリカ経済と環境問題
- ◇アメリカ社会とヴォランティア
- ◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇国際通貨ドルの地位と IMF
- ◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋

《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

授業の方法

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらないうで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をとおして何回も提出してもらおうことを考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教科書・
参考書等

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ経済論	清 水 卓 <small>しみず たかし</small>	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

ヨーロッパ経済論は、資本主義世界経済を創り出し、その主導者として、ここ数百年、世界の近代化を進めてきたヨーロッパ経済の現状分析を通して、今後の日本と世界経済の展望について考察することを課題とします。

冷戦崩壊後10年、世界は、市場原理による経済運営と自由貿易体制の時代に入っています。効率至上のアングロサクソンの新自由主義経済システムが経済格差、環境破壊などの諸問題の解決にとり有効である否かを、ヨーロッパ諸国の現状をふまえて検討します。

欧州連合（EU）の11カ国は、昨年1月単一通貨ユーロを発行させました。通貨統合はアメリカドルから自立した強く安定した欧州通貨を創出し、欧州経済統合の完成を目指しています。一般市民がユーロ紙幣や硬貨を使用するようになるのは2002年ですが、このユーロが安定通貨になるか否かは、世界経済のあり方に大きく影響します。

1997年には、イギリス、フランス、1998年にはドイツで社会民主主義政党が政権につき、EU 15カ国のうち13カ国が左派中道政権となりました。こうした政権が、グローバル化に対応して、第二次大戦後作り上げた福祉国家の成果をどのように継承ないし刷新して行くのかが注目されます。とりわけ、民営化やリストラによる高失業率をどのように解決していくのか手腕が問われています。通貨統合と併行して進められる東欧、中欧諸国へのEU拡大、それに伴うEU機構の再編など、統合過程の動きも目が離せません。

講義の内容・授業スケジュール

【前期予定】

- 第二次世界大戦と戦後ヨーロッパ
- 西欧経済の高成長
- 欧州統合への歩み－EECへの道
- 経済統合の展開－関税同盟
- 経済統合－共通農業政策
- 経済成長の限界－スタグフレーション
- 経済危機下のEC－通貨危機
- 経済危機への対応(1)－サッチャーリズム
- 経済危機への対応(2)－ミッテランの実験
- 1992年市場統合－非関税障壁の克服
- 経済通貨同盟－単一通貨ユーロ

前期試験

【後期予定】（EUの最新動向をフォローするためテーマを変更することがあります）

- ヨーロッパの多様性－地理・民族・文化
 - EUの農業－多様性
 - EUの産業の変貌－
 - EUの機構と財政－超国家か国家連合か
 - EUと地域政策－地域格差の克服
 - EUの拡大－東欧、中欧諸国の加盟に伴う諸問題
 - EUの対外関係－日本との比較
 - 欧州の平和問題－冷戦と民族問題
- 後期試験

履修上の留意点

ヨーロッパ経済論は、一つの体系的理論を敷衍する科目ではありません。ヨーロッパの多様性について認識を深め、経済社会の現実にも目を向け、経済や社会的諸問題の解決には様々な視点が可能であるのだということを確認してもらいたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験点数を基本とし、出席回数にも若干配慮します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書

教科書はありません。ただし、日経文庫『EUの知識』は有益でしょう。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることにはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの — レーニン時代 —
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本 — 比較経済史 —

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なかすみみつあき 中 濟 光 昭	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、
 1 情報リテラシーを身につける
 2 パソコンを駆使して情報ネットワーク上の経済システムを探求することを目的としている。
 パソコンの実習および課題を通じて、電子メール、WWW等のインターネットの利用、さらには、ワープロソフト (Word)、表計算ソフト (Excel) を使って、レポート作成を行えることが1のゴールであり、情報ネットワーク経済の基盤となるインターネットでの電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解することが2のゴールである。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
- 1) Windows の基本操作
 - 2) インターネットとは？
 - 3) インターネットから情報を得るには？
 - 4) WWW を楽しむ
 - 5) 電子メールを使ってみよう
 - 6) 電子メールを使いこなす
 - 7) ワード (ワープロ) を使ってみよう
 - 8) ワードで図や表を描いてみよう
 - 9) エクセル (表計算ソフト) の基本操作
 - 10) エクセルで計算してみよう
 - 11) エクセルでグラフをつくろう
 - 12) レイアウトを考えたレポートをつくろう
 - 13) 総合課題の説明
- 後期：
- 1) 電子商取引
 - 2) デジタルマネー
 - 3) オンライントレード
 - 4) オンラインバンキング
 - 5) インターネット広告
 - 6) インターネット放送局
 - 7) テーマを決めてグループワーク、レポート作成

履修上の留意点

コンピュータの初心者想定した講義を行う。単位取得には出席と予習・復習が必須である。なお、実習を含むため、追・再試験は行わない。また卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めない。

成績評価の方法

出席、レポートによる。

教科書

初回の講義で指示。

参考書等

初回の講義で指示。

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第2研究館4F 2437研究室 (tel : 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はま 濱 もと 本 かず 和 ひこ 彦	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生:経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は第2種情報処理技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理論	いわ 岩 瀬 ひろ 弘 和	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生(経B1・2・3・4選)	

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス (CG) は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CG を作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CG の概要から始まり、CG 作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存の CG ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG 理論の理解を深めていく。さらに、現在 CG が応用されている分野を知り、今後どのように CG が活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術 (投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲線、B スプライン曲線など)
 - ・自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲面、B スプライン曲面など)
 - ・3次元デモリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、Shade、VRML などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。
再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料。

参考書等

黒瀬能幸『3次元図形処理工学』(共立出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
商品学	いし 石 さき 崎 よし 悦 ふみ 史	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

現在の商品の状況は変化が激しいが、消費者のニーズと企業との関係のなかで出現するものである。それをもとにして、商品の将来と社会生活の変化を考えたい。

現実のなかから商品学の体系を作り出すという手法を試みようとしているが、これが成功するかどうかは学生諸君の参加の程度にかかっている。自分の頭で考えるという習慣を大学生としてもたないと勉強はほとんど意味をもたないからである。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順にしたがうが、現実をいかに抽象化していくかということを念願においているので、商品ブランド、CMなどの役割から社会科学の体系まで考えるプランを実行してみたい。教科書をみて判断して下さい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこなう。再試験は行ないません。

教科書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参考書等

- (a) 石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
- (b) 片岡寛編著『市場力学を変える商品多様化戦略』（中央経済社）
- (c) 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
- (d) 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

授業の方法

例年受講者が多いので、大教室での講義形態をとらざるをえないが、勉強をおもしろくするための方向性を示したいと考えている。勉強が生きる力になることを期待したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	こうの やす のり典 幸野保典	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立したした場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 商業史の課題と方法（1回）。
2. 近代以前の商業（2回）。
3. 明治期の商業、①近代商業の経済的環境（1回）、②近代商業経営の成立（1回）。
4. 大正・昭和期の小売商問題、①小売商の社会経済環境（1回）、②商業人口の過剰現象とその定着度、（1回）、③中小商業者の零細性（1回）、④各種小売形態の発展、a. 百貨店の発展（2回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場の設置（1回）、d. 商店街の形成（1回）。
- ⑤中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実態（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。
- ⑥中小小売商の社会運動、a. 営業税反対運動（1回）、b. 政党運動の展開（1回）、c. 反百貨店運動（1回）、d. 反産運動・その他の社会運動（1回）。
5. 戦時下の商業、①商業の再編成（1回）、②転廃業問題（1回）、6. 戦後の小売商問題、①中小小売商の保護政策（1回）、②流通革命とスーパー・マーケット（1回）、③コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

さらに、これら講義の間に「商店街探検シリーズ」と題して以下の各地商店街の発展史および現状についても考察し、商店街と地域文化について考察する。①砂町銀座商店街②中野北口サンモール・ブロードウェイ商店街③巣鴨地藏通商店街④札幌狸小路商店街⑤高円寺純情商店街⑥阿佐谷パールセンター街⑦横浜中華街⑧谷中銀座商店街⑨浅草仲見世商店街。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジュメを用意する予定である。

参考書等

- 竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
 糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
 藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
 石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
 白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
 鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
 田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 経 済 論	あね は あき 姉 齒 暁	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

専 門 教 育 科 目

講義のねらい

この講義では、新聞紙上を賑わすタイムリーな問題を扱いながら、それぞれの問題が私達の生活にどのような影響を与えているのかを明らかにしていく。我々の生活は日本経済の枠組みの中で営まれているが、その日本経済も、世界の経済の動きと無関係には論じられない。従って、ここでは、家計消費やクレジットといった家庭経済の問題から世界貿易、農業問題など世界経済までを幅広く扱い、生活という視点から検討する作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家計と社会-家計消費の変化
2. 不況と生活-不況の構造的原因を探る
3. 世界貿易と日本の農業問題-世界の流れと日本農業
4. 社会保障の現状と国際比較-北欧とイギリスを例に
5. クレジット問題と家計内債務
6. 消費のサービス化の原因
7. 生活を巡る諸問題と豊かさを考える。

履修上の留意点

教科書は定めないが、講義時に統計等、プリントを配る。随時、質疑応答を交えながら講義を進めていくので、積極的な発言を求める。

成績評価の方法

レポートならびに定期試験による。再試験は行わない。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

暉岡淑子「豊かさとはなにか」、岡沢憲英「スウェーデンの挑戦」、見田宗介「現代社会の理論」、早川和男「居住福祉」、都留重人「日本の資本主義創造的敗北とその後」以上すべて岩波書店、暉岡淑子「経済優先社会このままではいけない」(労働旬報社)、アラン・ウオーカー「ヨーロッパの高齢化と福祉改革」(ミネルヴァ書房)、中西啓之「福祉と医療の経済学」(大月書店)、三輪昌男「内外価格差を考える」(JAブックレット)、井上ひさし「井上ひさしの農業講座」(家の光協会)、矢口芳生「食料と環境の政策構想」(農林統計協会)、岡沢憲英他編「スウェーデンの経済」(早稲田大学出版部)、その他は随時講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営戦略論	た 田 ぶ 淵 や す 泰 お 男	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしくダイナミックに変化している今日、経営戦略の優劣いかんが、企業の盛衰に大きく影響するようになってきました。そうした環境に、いかにしてうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。

この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、基礎的かつ重要な論点にかんする知識を提供し、その考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、経営戦略論のつぎのような各分野ごとに、そこでの理論を事例もまじえて解説していきます。

- ・経営戦略論の歴史・概念・体系
- ・その企業の事業とは何かを定義して事業領域（ドメイン）を選択する全社的な企業戦略
- ・新しい製品・市場をめざして複数の事業へ経営資源を展開する多角化戦略
- ・多角化企業の経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分するかを考えるポートフォリオ戦略
- ・競合企業に対し競争上の優位な地位を獲得するための競争戦略

履修上の留意点

実際の企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃さまざまなメディアを通じてとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

原則として、筆記試験により評価します。ただし、授業の状況次第で出席およびレポート（課した場合）を含めた総合評価とすることがあります。

なお、再試験を実施します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

OHPを利用します。また、必要の都度、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務管理	小 椋 康 宏	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

専門教育科目

講義のねらい

本年度の講義については、第1に、経営のグローバル化における企業経営の財務問題に焦点を合わせながら、財務管理の基本的枠組みと財務管理の基礎原理を修得させることをねらいとする。また第2に、日本的経営財務の視点から、日本の企業体のなかにある財務管理の実態をとりあげ、日本的経営の再構築としての新しい経営財務原理を展開する。とくに日本企業の財務管理実践についても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 財務管理研究の方法
財務管理研究の方法を明らかにする。ここでは、とくに経営学のなかでの財務管理の位置づけを明らかにする。財務管理研究と実践経営学研究との関連についても明らかにする。
- ② 財務管理研究の流れ
アメリカ財務管理研究の流れを明らかにし、④企業金融論的財務論、⑥管理論的財務論、⑦意思決定論的財務論、⑧実践学的財務論のそれぞれの方法と課題を明らかにする。
- ③ 財務管理組織
財務管理の典型的組織として、アメリカ企業の財務管理組織を明らかにする。また日本企業の財務管理組織をとりあげ、日本企業の経理部と財務部の実態を明らかにする。
- ④ 財務分析
財務分析の比率分析および体系分析を通じて、企業の評価分析の一技法を検討する。また財務分析の体系化として財務分析の理論研究を展開する。
- ⑤ 運転資本管理
運転資本管理の理論と技法を明らかにする。あわせて資金運用表の仕組みを明らかにする。
- ⑥ 確実性下における投資決定
投資決定の基本概念を明らかにする。投資決定のプロセスを明らかにし、投資決定基準とくに⑩回収期間法、⑪正味現在価値法、⑫内部利益率法、⑬収益性指数法の内容を明らかにする。
- ⑦ 不確実性下における投資決定
不確実性とリスクおよびリスクとリターンの概念を明らかにする。とくに不確実性下で採用される投資決定方法について明らかにする。
- ⑧ 資本コスト
財務管理研究のキーワードである「資本コスト」の理論を明らかにする。ウエストン、ブリガム、ゴードン等による伝統的意思決定論的財務論の理論に加え、モジリアーニ、ミラーによるいわゆる「MM理論」の展開を通じて、資本コスト論の重要性を明らかにする。
- ⑨ 資本構成
資本構成の理論を明らかにする。営業レバレッジの理論、財務レバレッジの理論についてもふれる。最適資本構成理論をベースに企業評価論を展開する。
- ⑩ 資本調達
資本調達の制度論について明らかにする。とくにエクイティ・ファイナンスの理論を資本コスト論との関係で明らかにする。
以上の項目に加え、⑭配当政策、⑮株価モデル、⑯CAPM理論、⑰M&A理論、⑱日本の経営財務論、⑲国際的経営財務論のトピックスを講義のなかでとりあげたい。
年間スケジュールに関しては、①～⑤項目については前期において、⑥～⑱については後期において講義予定である。

履修上の留意点

講義のなかでの演習問題については、よく復習すること。

成績評価の方法

出席率80%以上
レポート 1～2回（講義における演習問題）
試験 学年末試験（再試験を実施しない）

教科書

小椋康宏『経営財務（増補版）』（同友館）1984年 2,884円

参考書等

小椋康宏『日本の経営財務論』（中央経済社）1984年
諸井勝之助『経営財務講義』第2版（東京大学出版会）1989年
若杉敬明『企業財務』（東京大学出版会）1988年
岡部政昭『現代の経営財務』（同文館）1990年
赤石雅弘、小嶋博、榎原茂樹、田中祥子編『財務管理』（有斐閣）1993年

小山明宏『経営財務論——不確実性、エージェシー・コストおよび日本の経営——』（三訂版）
（創成社）1996年

そ の 他

講義形式で行なうが、講義中での質問を受ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 史	いわ なが こう じ 岩 永 宏 治	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

専 門 教 育 科 目

講義のねらい

企業・経営における実践の理論的体系化として生成・発展してきた経営学の歴史的展開を中心に講義していく予定です。その際、アメリカを代表する学説を焦点にし、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明していきます。そのなかで、アメリカにおける経営学の基本的性格とその歴史的・客観的な意義と役割を明らかにしていくつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① アメリカ経営学の基本的性格
- ② アメリカ資本主義と管理問題
- ③ 独占形成と管理問題
- ④ アメリカ経営学の思想的背景
- ⑤ テイラリズム
- ⑥ 科学的管理と精神革命
- ⑦ フォーデズム
- ⑧ 合理化運動と労働問題
- ⑨ ホーソン実験と人間関係論
- ⑩ 人間関係論の基本思考
- ⑪ フォレット学説の特徴
- ⑫ 行動科学的管理学説の展開

履修上の留意点

開講時に指示します。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。
再試験を実施する。

教 科 書

高木・丸山編著『経営管理の理論と歴史』（中央経済社）

参 考 書 等

必要に応じて随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	いい 飯 岡 とおる 透	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表が、その企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講義での授業内容とスケジュールは、次のとおりである。

〔前期〕

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開

監査人の要件と責任

- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と解任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

9月 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調書の目的と種類

- (1) 監査調書の目的と作成要件
 - (2) 監査調書の種類と保存
- 経営者確認書の意義と記載内容
- (1) 経営者確認書の意義と目的
 - (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、財務会計論及び簿記論の講義を履修し、財務諸表について十分理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。

後期は管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年。

教 科 書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	かとうとしやす 加藤利安	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになっている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとするれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。
後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」、と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。
再試験を実施しない。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

授業時に適宜挙げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	やなぎ 柳 柳 裕 治	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、税務会計論の初学者を対象に、税法の基礎理論および法人企業の課税所得計算理論を体系的に理解することを目的とする。あわせて、租税の時事問題に触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。

 講義の内容・
授業スケジュール

租税（税金）は、経済生活のほとんどの局面に深い関わりをもっている。そのため、通常、経済取引を行う場合、租税の問題を考慮することなしには経済的意思決定を行うことはできない。またわが国の租税制度においては、原則として、個人であれ法人であれ第一次的に納税者自らが課税所得および税額を計算し、自ら申告し納付しなければならない、という申告納税制度を採用していることから、当然に税法を理解していることが要求されるのである。

課税所得および税額は税法の規定に従って認識・測定されることになるが、この研究領域を税務会計論という。したがって、税務会計は、法的側面と会計的側面との統合された理論をもつところにその特徴がある。

そこで、本講義では、経済学部を学生を対象とした税務会計の概論として、税法の基礎理論から始め課税所得計算理論へと系統的に説明していく。その内容は、税法総論と法人税法が中心となるが、所得税法および消費税法についても触れる。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価する。
再試験は実施する。

教科書

岸田・矢内・柳・吉村著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）

参考書等

金子・清水・宮谷・島山著『税法入門』（有斐閣）、武田昌輔著『税務会計通論』（森山書店）
井上・柳・矢内著『法人税の計算と理論』（税務研究会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析	おぐり たか し 小 栗 崇 資	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析は、企業の公表財務データにもとづき、趨勢分析や比率分析を通じて企業の経営能力や実態を明らかにしようとする実践的な学問である。経営分析は歴史的には企業の支払能力を測る信用分析から始まったが、今日では個別企業をめぐる収益性や安全性、生産性などの比率分析や資金分析、損益分岐点などの応用分析が行われるようになった。また個別企業にとどまらず、連結財務諸表を使用するの企業グループの分析や企業間比較における産業分析も行われてきている。いずれも会計学の基礎知識とともに、現代の企業や産業へに関する総合的な知識と判断力が求められる。講義では、経営分析の基本を身につけるとともに、可能なかぎりケーススタディを行うことで分析方法に習熟し、分析のセンスを養うことができるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容と授業スケジュールは次の通りである。

1. 経営分析の基礎
2. 財務諸表の見方
3. 有価証券報告書の見方
4. 経営分析の方法
5. 収益性の分析
6. 安全性の分析
7. 資金の分析
8. 内部留保の分析
9. 生産性の分析
10. 損益分岐点の分析
11. 企業グループの分析
12. 粉飾決算の分析
13. ケーススタディ

履修上の留意点

有価証券報告書や企業のデータプリントを適時、配布するので欠席しないようにすること。また配布プリントはケーススタディの材料として講義時間中、使用するので保管すること。

成績評価の方法

レポートと定期試験により評価する。再試験は実施しない。

教科書

山口孝他『企業分析』（白桃書房）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うちだ まりこ 内田真利子	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、小レポート作成を課す。このレポートのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。なお、「試験」は行わない。したがって「再試験」も行わない。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法一部	おおみや たかし 大 宮 隆	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んてくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。再試験を実施する。

教科書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）1,854円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法二部	お織 だ てる 子 織 田 晃 子	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価する。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著『債権総論講義』（ぎょうせい）3,500円

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 法 一 部	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、株式会社法を中心にする。現代の経済活動において不可欠の組織となっている株式会社—その構造、運営に関する法規制を体系的に取り上げて見て行きたい。また、近時は、株式会社法上の問題が新聞等で報じられることが多いが、こうしたトピックについても、できるならば触れてみたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義を見た後、株式会社の特徴を位置付ける。次いで、②株式制度に入る。具体的には、④株式の意義、①株主平等の原則、③株式譲渡自由の原則とその例外、①株券、株主名簿、名義書換を中心に講義する。その後、③会社の運営を取り上げる。③機関総論、⑥株主総会、⑤取締役・取締役会、④監査体制がその大まかな内容となる。そして最後に、④株式会社の設立を取り上げたい。②③のあたりで、夏休みに入るものと予定している。

履修上の留意点

講義中での私語は厳禁する。これを守れない諸君には、教場からの退場と、場合により、さらに強い措置を取る。講義には、必ず六法全書（平成10年度版以降のもの）を持参のこと。

成績評価の方法

期末試験での評価による。場合により出席をとり、成績評価の参考とする。再試験は実施する。

教科書

荒木正孝『企業法』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法二部	あらきまさたか 荒木正孝	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、有価証券の基本的法理と法規制について述べるが、とくに代表的な有価証券であり、権利の証券化が最も徹底している為替手形、約束手形および小切手について、どのような機能を営み、どのような法規制が行なわれているかを理解できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

手形・小切手においては権利と証券とは密接に結合し、それは裏書または単なる証券の交付という簡単な手続で譲渡することができる上に、譲受人が強く保護され、支払の確実性や容易性が保障されているので、非常に流通に適している。このような性質をもつ手形・小切手は、支払の道具、信用の道具、送金の道具および取立の道具として経済活動において重要な作用を営んでいる。こうした手形・小切手の経済的機能を視野に入れながら、手形法・小切手法の正当な解釈や理解を追求してゆきたい。

履修上の留意点

有価証券法を学ぶ場合に問題になるのは、民法の中の財産法(民法総則、債権法、物権法など)で用いられる専門用語の理解が必要だということである。したがって、理想的には、財産法を学んだ後に有価証券法を選択することが望ましい。しかし、それは仲々困難なことであるから、ここでは、講義の内容を理解するのに必要な範囲で財産法の規定や基本概念を解説するので、財産法の知識が無くても受講に差し支えはない。

成績評価の方法

基本的に年度末のペーパーテストの点数で評価する。再試験は実施しない。

教科書

服部栄三著「手形・小切手法綱要」(商事法務研究会)

参考書等

鴻・竹内・江頭・岩原・山下編『手形・小切手判例百選』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おかだとしひろ 岡田外司博	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験(後期1回のみ)によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編「新現代経済法入門」(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。
- (2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。
 - ① 労働法の基礎的考え方
 - ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
 - ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
 - ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
 - ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
 - ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
 - ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
 - ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍
 - ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職
 - ⑩ 賃金、諸手当、退職金
 - ⑪ 労働時間、時間外労働
 - ⑫ 休憩、休日、休暇
 - ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。再試験は実施します。

教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	かねこ しょうへい 金子 昇 平	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい	<p>現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、介護保険法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。</p> <p>そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥ・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題解決のための法的手法を考えてみたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1) 行政と法の関係 ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係</p> <p>2) 行政主体と私人 ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員 ⑤行政情報と法</p> <p>3) 行政手段法 ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査 ⑧行政強制 ⑨行政罰</p> <p>4) 行政手続の法</p> <p>5) 行政救済法 ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟</p>
履修上の留意点	行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。
成績評価の方法	期末試験の成績により評価する。再試験を実施する。
教科書	成田頼明他『現代行政法』（有斐閣）
その他	塩野宏他編『行政判例百選』（第三版 有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	さいとうひろし 齋藤洋	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

専門教育科目

講義のねらい

国際法学の基礎知識の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

いずれの大学でも行われているようなオーソドックスな順序で講義する。国際法学の基礎理論、静的固定的秩序および動的秩序の説明が主な内容であり、受講生の理解度を観ながら、できるだけ広範囲に内容が及ぶようにしたい。

履修上の留意点

例えば数学でも加減乗除を知らないと微積分などできないように、国際社会秩序に関する法的基礎知識なしに現代国際社会を理解することはできない。いかなる学問でも基礎部分の習得は大変に退屈で苦勞するものであり、国際法学も例外ではない。しかし一度この基礎知識を修得したならば、日々生起する国際社会の様々な現象を法的視点をもって容易に理解することができ、何が問題の中心かを見いだすことができるであろう。受講生は苦勞の後の楽しさを思い描いて講義を受けてもらいたい。授業中に疑問のある点について、そのときの授業にかかわりなく、気軽に質問してもらえれば、それに答えるなかで他の様々な国際法のルールが説明できるので、おおいに質問を歓迎する。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する予定である。再試験を実施する。

教科書

後で指示する。

参考書等

特に指定しないが、市販されている条約集及び国際判例集があれば好ましい。

その他

講義では板書はほとんどないので、受講生は自分自身で自分なりのノートを作成してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	井村進哉	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

原書講読は、海外の文献を実際に講読することによって、経済学の専門領域についての認識を深めるとともに、併せて語学力を強化することを目的としています。

そこで本講義では、毎年2月に発表されるアメリカの大統領経済報告(Economic Report of the President)の最新版(February 2000)の主要な章を輪読し、アメリカ経済が直面している問題、アメリカ政府の政策スタンスに関する理解を深めます。

履修上の留意点

洋書の輪読は、ゼミナールと同様に、履修者が事前にテキストの授業範囲を読み、少なくとも日本語訳を準備していないと、授業そのものが成立しません。

なおざりに単位を取るための履修ではなく、英語文献を一冊を読み上げるという気概を持った学生の履修を希望します。

成績評価の方法

単位認定のためには最低3分の2の出席が必要です。出席による平常点と提出された日本語訳のレポートとを総合的に評価して成績とします。

教科書

Economic Report of the President, Transmitted to the Congress, February 2000, U.S. Government Printing Office.

参考書等

『2000米国経済白書』(エコノミスト臨時増刊号、2000年4月末発行予定)

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読 I	いわ なが こう じ 岩 永 宏 治	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読 II		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

日本経済の成功論としてアメリカの研究者・実務家が展開している「日本経済論」から2、3の論文を取り上げます。なかでも、日本の経営についてわが国大企業の歴史的な経営実態に焦点を当てた研究を中心にみていきますが、そのなかでアメリカの研究者・実務家が日本経済の「成功」をどう理解し、どのように評価しているのかを批判的に考察することによって、日本の経営についての特質を明らかにしていきます。今日、日本の経営について問い直すことは、現在の日本経済の状況に照らしても大いに意義のあることだといえます。

上記の課題を原書講読を通して考察していくわけですから当然一定の制約があります。皆さんの語学力を前提に「量より質」を重視し、主要な論説に限定して講読していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

日本経済の「成功」について考える場合、企業活動を主軸とした政治・経済体制、すなわち「企業中心社会」の形成・確立の歴史的展開過程の理解が重要になります。そこで「The Large Company: Identification and performance」を取り上げ、大企業の行動様式について見ていくことが不可欠になります。講読方法は輪読で全員に参加してもらいます。各担当者の分量は本人との合意に基づいて分担しますが、毎回ごとの予定量は常に全員が予習しておく必要があります。

履修上の留意点

開講時に指示します。

成績評価の方法

平常点で評価します。
①分担報告 ②予習状況 ③出席状況

教科書

テキストは、開講時にコピーを配布します。

参考書等

必要に応じて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読 I	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読 II		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

現在の中国の諸政策のバックボーンをなしている鄧小平の考えを知るために、その著作を中国語で読む。参加者は中国語履修者であること。中国語を母国語とする者は日本語への厳密な翻訳能力習得を目標とする意欲のある者に限る。

成績評価の方法

再試験なし。

教科書

プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	こばやし 林まさ 正と人	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

バブル崩壊の後遺症から脱却しきれていない日本経済に対して、アメリカ経済はまだなお成長を続けている。その中核はインターネットを軸とした情報通信産業の成長であり、その中でベンチャー企業の活躍である。このようなアメリカ経済の現状を描いた英語の文献をいくつか取り上げて、その現状をリアルに読み取りながら、日本の経済システムとの差異について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上記の「講義のねらい」に合致する文献は多々あるが、今年度は下記の3つの文献から教科書を選びたい。どれにするかは受講生の問題関心をふまえて決める。

文献1は、注文生産、直接販売、インターネット販売などの活用によりパソコン業界の雄となったデル・コンピューター社のビジネス・モデルについて、会長のマイケル・デル自身が語ったもので、一つのベンチャー・ビジネスの成長史が詳しい。カセット・テープあり。

文献2と3は、アメリカで成長しつつあるデジタル・エコノミー（インターネットを利用した経済活動。電子商取引、electronic commerce or e-commerce, Internet commerce など）についてアメリカの商務省がまとめたレポートで、アメリカ経済の活況の実態が全般的に描かれている。本文をウェブサイトから入手できる。

履修上の留意点

受講生に順番に訳してもらうので、予習が前提である。

成績評価の方法

出席を中心とし、講義中の発表、年2回程度のレポートなどを加味する。定期試験はしない。

教科書

下記の3つの文献のどれかをテキストにする。いずれもコピーを配布。

1. Michael Dell, *Direct From Dell: strategies that revolutionized an industry*, 1999.
2. U. S. Department of Commerce, *The Emerging Digital Economy*, April 1998, (<http://www.ecommerce.gov/emerging.htm>)
3. U. S. Department of Commerce, *The Emerging Digital Economy II*, June 1999, (<http://www.ecommerce.gov/ede/report.html>)

参考書等

円滑な授業のためには、ある水準以上の辞書を標準的な辞書に決めておく必要がある。ほかに単語数の多い辞書とか、各種の経済用語辞典やビジネス用語辞典、インターネット用語辞典などを講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	しお み えい じ 塩 見 英 治	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

比較的、標準的な表現の英文を使い、英語の習熟度を高めるとともに英文を通して「経済」「経済学」の知識と理解を深めることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

現代のネットワーク産業について主要な課題を取扱った英文の文献をとりあげ、解釈と討議を重ねていきます。ていねいな説明をしますので、事前の知識は必要ありません。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

レポート（1回）と平常点の総合評価で行います。

教科書

開講時に指示しますが、基本的にプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	し み たか 清 水 卓	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

この原書講読では、経済専門書ないし経済専門紙、EU公式文書などを読みこなし、正確な日本語に翻訳する練習をします。英検2級程度の基礎力があればそれほど苦勞せずに読める程度の英文です。大学院進学を予定する学生には大いに役立つことでしょう。また、担当者は、フランス語についても指導出来るのでフランス語の専門書の学習を希望する学生がいれば要望に応えることもできます。因みに、以下のような文章を苦勞せず読めるようにするのが目標です。

The European Council warmly welcomes the progress made towards defining the Stability Pact for South-Eastern Europe, and looks forward to early agreement at the planned Ministerial meeting to be held in Cologne on 10 June. The Stability Pact will help to enhance peace, stability and prosperity in, and cooperation between, countries in the region. The participation of the Federale Republic of Yougoslavia in this process will be examined in due course, once it has met the conditions of the international community on Kosovo. The settlement of the Kosovo crisis represents a prerequisite. Furthermore, the European Council recalls the necessity for progress in democratic freedoms and respect for the rights of minorities.

(Presidency Conclusions, Cologne European Council, 3 and 4 June 1999)

履修上の留意点

受講生は毎回必ずレポートしなければなりません。1週間に3時間程度の予習が必要です。

成績評価の方法

平常の出席、レポートの質で成績を評価します。

教科書

参加者と相談してテキストを決めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	なかすみみつあき 中 濟 光 昭	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい	昨年度の原書講読Ⅰ・Ⅱを踏まえて、コンピュータの応用に関する英文を読み、理解し、ひとにわかるように発表することでコンピュータの知識を習得していく。また、レジュメ作成技術やプレゼンテーション技術の習得も目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	以下の流れで輪講を進める。 1) オリエンテーション 2) レジュメの書き方 3) POWERPOINTの簡単な使い方 4) 模擬発表 5) 以降 受講者による発表
履修上の留意点	履修条件は以下の通りである。 ・WindowsとWordの基本操作が出来ること（総合情報センターの基礎講習会修了程度） ・コンピュータ、プログラミングに関する基礎知識があること ・欠席しないこと（卒業年次生であっても例外はない） なお、輪講形式で進めるため、 <u>追・再試験は行わない。</u>
成績評価の方法	出席とレジュメ、発表により評価。
教科書	初回の講義で指示。
参考書等	初回の講義で指示。
その他	・KOMAnetに登録している前提で講義を進める。未登録の学生は、早急に登録すること。 ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館 4F 2437 研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	なかだあきお 中 田 秋 男	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい	書物には読んで直ぐわかる（情報として読む）ものと、何度読んでも理解できない（古典として読む）ものがある。特に古典と呼ばれているものは、何度でも読み返されて行く運命にあるものかも知れない。授業では日本語で読むと決して見えてこないものが、原書ではハッキリと見えてくる事の不思議な謎に迫りたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	経済学の歴史の中で大きな山脈としてそびえ立っている、三人の経済学者の著書から抜粋して読んでいきます。すなわち、経済学誕生の書と言われているアダム・スミスの『諸国民の富』（1776）、資本主義社会の経済的な運動法則を明かにしたカール・マルクスの『資本論』（1867）、大恐慌のあと政府の役割を重要視するジョン・メナード・ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』（1936）。尚、学生諸君の方で要望があれば一緒に検討したいと思っています。
成績評価の方法	出席点及び平常点の総合で評価します。（再試験は実施しません）
教科書	テキストはコピーして配布します。
参考書等	講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I	はま ち ず か 濱 本 知 寿 香	経A・商1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、英語の原書を読むことで、語学能力を高めるとともに生活経済に関心をもつことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

われわれの日常生活に関わる税制、社会保障制度を扱った原書を読んでいます。また、日本の制度についてもふれていきます。

履修上の留意点

テキストを輪読する形式をとります。

成績評価の方法

発表点、受講態度、理解度などから総合的に評価します。再試験は実施しません。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I	ふく はら よし のぶ 福 原 好 喜	経A・商1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』（ドイツ語）を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになる。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。（夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。）

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくれればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話ばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などよもやま話も含めて、ユツタリとしたものになりたいと思っている。

そ の 他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

1920年代にアメリカの産業労働者がどのような境遇にあったのか、そして何を模索していたのかという問題を取り上げる。一般に、1920年代のアメリカは「繁栄の20年代」として世界最高の生活水準を達成したといわれる。アメリカの資本主義が最も輝いた時代であった。「経営者の天国」とされたこの時代に、産業の底辺を支えた労働者は、果たして本当に「豊かな」生活を謳歌していたのだろうか。一方で「繁栄」のなかで、労働運動は奇妙にも低迷し続け、いわゆる「技術的失業」が進むなかで、工業労働力はむしろ漸減していた。1920年代労働者の歴史的事実に接近することが本講義の狙いである。

講義の内容・授業スケジュール

初回にオリエンテーションのようなものを計画している。1920年代の時代状況についての一般的な説明を行なって、受講者に予備的知識を持ってもらうことも予定している。また、随時より立ち入った説明もしていきたい。講読の方法は、受講者の数にもよるが、できれば輪読方式で進めるつもりである。

履修上の留意点

予習をきちんとやってきてほしい。

成績評価の方法

平常点で評価する。試験を行なった場合は再試験を実施する。

教科書

テキストはコピーして配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	やす 安 もと 元 みのる 稔	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

1700年から1850年のイギリスにおける社会経済史を英語の教材を使って勉強します。農業・都市・第3次産業の発展・生活水準・経済政策等の局面の変化を中心に見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール

受講者が割り当てられた個所を和訳し、学術用語・その他に関する質問に答えるという形で講義を進めます。

履修上の留意点

割り当てられた個所の予習と出席が最低限の条件です。

成績評価の方法

出席・予習のできで評価します。再試験は実施しません。

教科書

今年度は、M. J. Daun Ton, *Progress and Poverty*, Oxford, 1955を使います。テキストはコピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。
再試験あり。

教科書

Города Подмосковья в трех книгах. Книга первая. М., 1979.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅰ（前期） 〔不況と雇用・失業問題〕	にしむらなおき 西 村 直 樹	経A・商1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

98年秋以降の経済戦略会議が99年2月末に最終報告を提出し、この報告にもとづく産業競争力会議の検討と第145国会がうみだした産業再生法は、99年末から2000年の雇用・失業状態を危機的なものに向くであろうことに注目する。3年の時限立法であるから、2000～2002年の雇用失業問題を解明する上で緊急かつ重大である。このもたらすいわゆるリストラ「合理化」の進行の具体的事例を分析する視点を究め、現実に進行する自体の把握に役立てたい。その際日本経済の主役をになう中小企業へのその影響についても分析し、今後の発展方向を考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

限定された時間のなかであるが、少なくとも以下についての解明をおこないたい。①労働力調査（総務庁）の読み方とILOの失業の定義、日本の失業の実態把握。②金融ビッグバンと産業再編成の展開、その背後に進展する生産工程の革新（コンピューター化）の実情と雇用・失業問題。③財界の対応・政府の施策と国民生活。

履修上の留意点

課題にたいする新聞報道への接近の仕方、マスコミへの態度の涵養。

成績評価の方法

小論文を求めたい。再試験は考えていません。

教科書

とくに指定せず、必要な小論やデータをコピーして配布する。

参考書等

その都度指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅱ（前期） 〔ベンチャー・ビジネス〕	ほし 星 の 野 さとし 敏	経A・商1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経B1・2・3・4履	

講義のねらい

「ベンチャービジネス」という言葉が多用されているが、本来この言葉は理想概念の表現である。それにも拘わらず、この概念に対し行政や金融界は演繹的な支援策を講じてきたため、実態と乖離し何度ベンチャーブームが到来しても、時代の循環の中で何も突らぬまま消滅してしまった。そこで実践により組み立てた帰納的な理論により、これらを正しく理解し、将来何らかの形でベンチャービジネスに係わる人に、成功の楽しさを味わってもらうことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

受講する学生の関心やレベルに合わせて、なお且つ受講者が楽しみながら考える参加型の講義を行う。その大要は次のとおりである。

- 学ぶ意義を考える（生命の起源と誕生以来の生存競争の中で）
- 間違いだらけの「ベンチャー」を正す（用語と定義の正確な解釈）
- 企業家〈アントレプレナー〉（その本質と心理構造にせまる）
- 創業と成長の科学（成功への緻密な方程式と飛躍への転機とは）
- ビジネスインキュベーション（成熟先進国家の新しいシステム利用）

履修上の留意点

- 受講に際し次の要件を備えていること。
- 自分の意志で個性的な人生を歩もうと考えている人
 - 新しいことや挑戦することが好きな人
 - 全期間受講を目指す

成績評価の方法

レポート、テスト、講義への参加意識などを総合して評価する。
再試験を実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅲ（後期） 〔国際ビジネスと中国市場〕	美の野ひさし 久志	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講では、グローバル化という国際経済の波の中で、地域市場と国際ビジネスがどう変化しているか、就中、「21世紀に残された最後の世界市場」と言われる「中国」を、国際経済の観点から、その現状と問題点、経済上の特性、国際市場としての変化と方向性等について具体的に検証することを目標とする。具体的には、中国の改革開放と経済システムの変化、90年代の発展と国際経済への影響、対外経済関係、対中投資／貿易と国際経済関係、産業部門の発展動向、21世紀の国際ビジネスにおける中国市場と方向性、WTO加盟と国際経済への影響、などについて検証していく。

講義の内容・授業スケジュール

定められた時間内に上記目標を実行するため、次の項目等を講義する。

- (1) 国際ビジネスの潮流と、アジア／中国
- (2) 「鄧小平」の改革開放と対中投資ラッシュ
- (3) 世界／日本と中国との経済／投資／貿易等の関係
- (4) 地域経済の発展と対外経済関係
- (5) 各産業部門の発展過程／動向とサービス産業の勃興
- (6) 国際関係から見た中国経済の問題点
- (7) 残された巨大市場「中国」と、中国ビジネスの方向
- (8) 中国のWTO加盟と国際経済への影響、中国の市場開放の方向

履修上の留意点

21世紀において、「中国」が、世界と日本にとって、どんなに重要な市場であるかを感じ、関心を持って頂けるよう取り組んでいきたい。決して中国は特殊な国ではなく、「身近な」国である。21世紀の国際ビジネスでは、中国が一つのキーとなる市場に成長しよう。中国という市場を通じて、学生諸君が、21世紀に羽ばたくための国際感覚を身につけられるよう、資料等を利用して実施していきたい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として期末試験の成績による。期末試験は、以上の講義内容のいずれかに関する記述式問題を中心に出题する予定です。

教科書

中国の経済発展と21世紀への方向に関する参考書を利用するほか、講義テキストを配布する。(教科書としては特段指定しない予定です)

参考書等

藤本昭編者『中国21世紀への軟着陸』（日本貿易振興会刊）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅳ（後期） 〔企業の倫理と粉飾〕	おがさわら 小 笠 原	経A・商1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、表題についての実践的な理解を目的としたものである。この数年間、わが国を代表した一流企業が次々と倒産している。激変する時代の中であらん限りの経営努力の末にそうした事態に追い込まれることも事実と思われるが、その一方で倒産後の法的手続の過程で通常の会計処理を逸脱した粉飾が行われていることが露呈されることもまた事実である。企業の存続のために粉飾を行う経営者に求められる企業の倫理（モラル）とは何か。そして企業の倫理を担保するしくみをどのように構築すべきか。本講義では、公認会計士として実際に現場で経験したことに基づいて、実際事例を取り上げながら企業の持つべき倫理とこれを支える企業の機関制度（コーポレートガバナンス）そして企業としてあるべき説明責任（アカウンタビリティ）を具体的にわかりやすく説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の具体的なスケジュールは次のとおりである。
 自己紹介（公認会計士の定義）、本講義の趣旨
 企業の種類・区分、企業をとりまく利害関係者との関係
 粉飾とは何か。わが国での粉飾事例の歴史。最近の粉飾事例
 企業の機関（取締役・取締役会・監査役・内部監査・外部監査人）の定義
 企業の各機関の相関関係
 企業内容開示制度（ディスクロージャー制度）の概要とその潮流
 企業としてあるべき説明責任（アカウンタビリティ）
 企業会計に必要な簿記、財務諸表の読み方
 企業をみるための財務分析の基本
 粉飾行動の具体的な方法と粉飾を見抜く財務分析方法
 外部監査人としての公認会計士の役割
 企業の今後の経営行動と求められる倫理

履修上の留意点

- ・一連のストーリーで企業行動を倫理と粉飾というキーワードで講義する極めて実践的なものであることを認識していただきたい。
- ・企業に就職を希望している者は特に受講していただきたい。

成績評価の方法

論文試験により行う。

教 科 書

現在検討中で後日連絡する。

参 考 書 等

上記教科書と同様。

そ の 他

講義形式で行う。（プロジェクターがあれば活用したい）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	お ぐり たが し 小 栗 崇 資	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、ディスクロージャーの面でこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計を学習する者にとっては、従来のような勉強だけでは現実の変化についていくことができないので、大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済の中での会計の役割や機能を研究するチャンスであるといえる。この演習 I では、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計原則の新旧基準を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定を取得できるよう指導したい。

夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ 小 林 正 人 <small>こはやし まさと</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習のテーマは「コンピューター・ビジネスの歴史と現状」です。
 コンピューター・ビジネスとは「コンピューターに関連したあらゆる経済活動」という広い概念です。具体的にはコンピューター産業、その中心であるパソコン業界、半導体産業、ソフトウェア産業、さらにはインターネット・ビジネスなどを含んでいます。
 3年生の演習では「産業発展から見た日本経済」をテーマにさまざまな産業をとりあげますが、この2年生の演習では、特定の産業界、しかもいま一番変化の激しい部門を取り上げて経済分析のおもしろさを分かってもらう予定です。それと同時に、文献資料の読み方や集め方、レジュメの作り方や報告の仕方、討論の仕方、グループでの作業のまとめ方などの基礎的な「情報処理能力」に挑戦してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ゼミでの発表や討論、文献集め、情報集めなどに慣れる期間です。そしてゼミ生と相談しながらゼミで取り上げる文献（複数）を決めていきます。
 後期では、前期に決めた文献に基づいて発表と討論を行います。同時に、具体的なテーマごとにグループを作り、グループでの研究成果を発表してもらいます。
 以上はあくまでもおおまかな予定です。

履修上の留意点

「合理的なルール」をゼミで相談して決めます。

成績評価の方法

「合理的な評価方法」をゼミで相談して決めます。

教 科 書

下記の参考書を参考にしてゼミで決めます。

参 考 書 等

- 下記の文献を参考にしてゼミで決めます。
1. 相田洋、NHK取材班『新・電子立国 第1巻 ソフトウェア帝国の誕生』（日本放送出版協会）1996年
 2. マイケル・デル、国領二郎（監訳）『デルの革命 「ダイレクト」戦略で産業を変える』（日本経済新聞社）1999年（「デル」は近年アメリカ市場で1位に躍進したパソコン・メーカーの名前）
 3. 米国商務省、室田康弘（訳）『デジタル・エコノミー』（東洋経済新報社）1999年
 4. 玉置直司『インテルとともに ゴードン・ムーア私の半導体人生』（日本経済新聞社）1995年
 5. 石田晴久『インターネット自由自在』（岩波新書）1998年
 6. 池田信夫『インターネット資本主義革命』（NTT出版）1999年
 7. 中島洋『イントラネット 企業と地域の情報革命』（ちくま新書）1997年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	鄭 章 淵 <small>ちよん ちゃん よん</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済入門」（日本を除く）とする。目的は、ゼミ生諸君の戦後東アジア経済の発展過程に対する基礎的な知識を身につけてもらうことである。

周知のように、この間、東アジア地域（北東アジアと東南アジア）は著しい経済発展を遂げ、「世界の成長センター」として注目を集めてきた。東アジアで唯一の経済大国である日本を先頭に、1960年以降工業化が本格化するアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国その他と連なる継起的・重層的な経済発展は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきた。また、90年代に入って東アジア各国の経済発展はかつてなく緊密度を増し、この地に「東アジア経済圏」とでも呼ぶうる地域経済圏が出現している。他方で、1997年夏のタイ・バツ危機（通貨・金融危機）の発生は、東アジアの経済発展の前途に深い影を落としているばかりか、私たちの東アジア経済への理解をいっそう困難にしている。

このようなアンビバレントな東アジア発展像に接近することは、私たちの知的好奇心を刺激してやまない研究課題である。と同時に、日本にとってこの東アジア経済がますます重要性を増している点を勘案すると、東アジア経済について学ぶことは、日本経済を学ぶうえでも必要不可欠な課題でもあるとも言えよう。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらう。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらう。また、できるだけ多くのビデオ鑑賞も行なう予定である。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを参考に総合的に判断して評価する。

教科書

大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	橋 野 知 子 <small>はし の とも こ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

「100年、200年前の人はどのように考え、どのような経済活動を行ってきたのだろうか？ また、過去における選択が現代の私たちの経済社会にどのような影響を与えているのだろうか？」このような皆さんが日頃抱く疑問を解く鍵となるヒントが、歴史の中に隠されています。このゼミでは、それを発見する方法、考え方そして面白さを学んで欲しいと思います。

演習Iはその入門編です。よって、日本経済史全般および諸分野（産業、社会、労働、人口、教育、財政、金融、土地制度、貿易、生活その他）に関する理解を深めていくことが、ここでの課題です。テキストについては、第一回のゼミの際に皆さんと相談して決定することとします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ほり掘 龍 じ	経A・商2選	4

講義のねらい

経営学の基礎的分野の一つであるマネジメントに関する基本的な知識の習得と現代の問題意識の涵養をねらいとする。できるだけ身近な問題、時事的な問題とかかわらせてマネジメント論に接近したい。

講義の内容・授業スケジュール

私の専門分野は労務管理論であるので、対象としては被用者ないし労働者にかかわる管理論が中心となることをご了解願いたい。たとえばテイラー・システムやフォード・システム、あるいはトヨタ・システムについても工場管理や生産管理の視点というよりも労務管理的視点からの考察になる。その他、人間関係論、マズローの欲求段階説、マグレガーのX理論・Y理論、さらに賃金と雇用に関する管理諸原則や諸制度など、管理論で頻繁に登場してくる基本的項目について理解を少しでも深めたい。

履修上の留意点

演習形態なので、私から問題提起や質問などがあった場合には率直な意見を述べてくれる姿勢を望んでいる。また、友人同士のみならずクラスの誰とでも疑問点を気軽に話し合えるような雰囲気作りに協力的な態度を望んでいる。

成績評価の方法

適宜、課題を与えてレポートを提出してもらうことを考えている。成績評価はあくまでも客観的でなければならないが、日頃の学習姿勢なども評価対象とするつもりである。

教科書

現在検訂中。教科書を指定した場合でも、適宜こちらで用意した補足プリントを配布する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	おぐり たか し 資	経A・商3選	4

講義のねらい

2年演習と同じテーマを研究する。簿記・会計を2年次まである程度勉強した学生の参加を望むが、この演習IIでは、会計ビッグバンの中心となる、連結会計や時価会計、年金会計などについて取り上げて、その仕組みや方法などについて学習する予定である。演習Iと同じく、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定を取得できるよう指導したい。

夏季合宿やコンパ、企業見学などの取り組みについても演習Iと同じである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	こ ぼやし まさと 小 林 正 人	経A・商3選	4

講義のねらい

演習のテーマは「産業発展から見た日本経済」です。
 日本経済の動向には、産業の発展や、その中での企業活動のあり方が深く関係しています。戦後の日本経済の発展を支えたのはどのような産業か、その産業がなぜ発展したのか、そのさい主導的な役割をした企業はどれか、さらにその産業（あるいは企業）は今どのような課題をかかえているか、などを調査研究します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の参考書の中の『日本産業読本』で日本産業史について全般的に調査します。またテーマによっては最新情報を随時分析します。
 後期では、個別の産業・業界ごとにグループに分かれて調査研究を行い、適時グループ毎に発表します。年度末にはグループごとにレポートをまとめます。
 以上はあくまでもおおまかな予定です。

履修上の留意点

ゼミ生からの質問や意見、そして討論が中心です。
 ほかのことは「合理的なルール」をゼミで相談して決めます。

成績評価の方法

「合理的な評価方法」をゼミで相談して決めます。

教科書

下記の参考書を参考にしてゼミで決めます。

参考書等

- 下記の文献を参考にしてゼミで決めます。
1. 日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』第7版（東洋経済新報社）1997年
 2. 有沢広巳監修『日本産業史2』（日経文庫）1994年
 3. 高村寿一、小山博之『日本産業史3、4』（日経文庫）1994年
 4. 産業学会編『戦後日本産業史』（東洋経済新報社）1985年
 5. 米川伸一、下川浩一、山崎広明編『戦後日本経営史』第1、2、3巻、（東洋経済新報社）1990年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	鄭 章 淵 <small>ちよん ちゃん よん</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

研究テーマは「東アジア経済の発展と危機のダイナミズム」（日本を除く）とする。目的は、ゼミ生諸君に戦後東アジア経済の発展過程に対する知識を身につけてもらうとともに、今回の経済危機に関する理解を深めてもらうことである。

周知のように、この間、東アジア地域（北東アジアと東南アジア）は著しい経済発展を遂げ、「世界の成長センター」として注目を集めてきた。東アジアで唯一の経済大国である日本を先頭に、1960年代以降工業化が本格化するアジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国その他と連なる継起的・重層的な経済発展は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきた。また、90年代に入って東アジア各国の経済発展はかつてなく緊密度を増し、この地に「東アジア経済圏」とでも呼びうる地域経済圏が出現している。他方で、1997年夏のタイ・バーツ危機（通貨・金融危機）の発生は、東アジアの経済発展の前途に深い影を落としているばかりか、私たちの東アジア経済への理解をいっそう困難にしている。

このようなアンビバレントな東アジア発展像に接近することは、私たちの知的好奇心を刺激してやまない研究課題である。と同時に、日本にとってこの東アジア経済がますます重要性を増している点を勘案すると、東アジア経済について学ぶことは、日本経済を学ぶうえでも必要不可欠な課題であると言える。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらう。前半は①、後半は②の文献をそれぞれ講読する。また、できるだけ多くのビデオ鑑賞も行なう予定である。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを参考に総合的に判断して評価する。

教科書

- ①大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）
- ②近藤健彦ほか『アジア通貨危機の経済学』（東洋経済新報社）1,600円（税抜き）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	橋 野 知 子 <small>はし の とも こ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Iで得た基本的知識をふまえて、一つの史実に対するさまざまな見方・アプローチを学びます。日本経済が発展する一方で、さまざまな格差や不平等といった問題が発生してきました。同時代人はこれをどう考えたか、またこのような光と影を皆さん自身がどう考えるかを議論し、日本経済が抱える現代的課題についても理解を深めたいと思います。

また、興味のあるテーマ別にいくつかのグループ（または個人）に分かれて研究し、報告・議論してもらいます。その過程で、問題の設定の仕方、アプローチの方法、そのための文献・資料の調べ方、また報告の方法を勉強します。さらに、日本経済史をより一層理解するためにも、アジア、西欧諸国との比較検討も行っていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	経A・商3選	4

講義のねらい

労務管理論の簡単な理論的考察を踏まえたうえで、その歴史的な発展過程を分析することによって労務管理論への理論的・歴史的な理解を深めることをねらいとする。企業が実施・展開する労務管理は生きた経営実践であるから、それぞれの時代の経済的・社会的・技術的諸条件の変化に応じてその具体的形態・制度などを再編させながら発展してきたものである。労務管理の全体像を把握するためには、その史的展開の分析が不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

題材としては、アメリカ労務管理の発展過程を主体とする。経営者の主観的な意図に基づくいわゆる「温情主義的な」労務施策や高級熟練労働者に生産・労務管理を代行させるような慣行を脱して、企業がその存立と発展のために客観的な必要に基づいて合理的・近代的な労務管理を成立させていく過程から始めて、科学的管理論、人事管理論、人間関係論、行動科学的管理論、そして今日の戦略的人的資源管理論へと発展していく歴史的連続性と必然性とを、それぞれの段階での経済的・社会的・技術的諸条件とかかわらせて整理する。その際、労務管理の分析にとくに重要な生産技術のあり方や労働市場の特徴、そして労働組合の構造や機能に注目する。

履修上の留意点

納得できないことにこだわる姿勢を望んでいる。

成績評価の方法

日頃の勉学への取り組み姿勢を評価する。

教科書

現在検討中。参考プリントを配布する予定である。

2. 他学部履修科目

2. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	131
中国禅宗史	〈田中良昭〉	131
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	132
禅籍講読Ⅰ	〈田中良昭〉	132
禅籍講読Ⅲ	〈佐藤秀孝〉	133
仏教概論	〈平井俊榮〉	134
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	135
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	135
中国古典語初級	〈石井公成〉	136
中国哲学史	〈前川亨〉	136
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	137
中古文学研究Ⅰ	〈高橋文二〉	137
中世文学研究Ⅰ	〈村上光徳〉	138
近世文学研究Ⅰ	〈富士昭雄〉	138
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	139
比較文学	〈満谷マーガレット〉	140
児童文学	〈山口節子〉	141
西洋思想史	〈麻生建〉	141
演劇概論	〈井上理恵〉	142
編集実務	〈長谷川孝〉	142
イギリス文学特講Ⅰ	〈逢見明久〉	143
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	144
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	144
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	145
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	145
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	146
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	147
アメリカ文学特講Ⅲ	〈前期：足田和人〉	147
	〈後期：川崎笑佳〉	
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈前期：荒井良雄〉	148
	〈後期：落合和昭〉	
時事英語	〈サンダース, L.P.〉	149
地理思想史	〈竹内啓一〉	150
地形学	〈清水長正〉	151
人口地理学	〈大友篤〉	151
文化地理学	〈小田匡保〉	152
応用地理学	〈高木正博〉	152
現代地理学特論	〈長谷川均〉	153
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	153
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈矢野和之〉	154
日本仏教史Ⅱ	〈遠藤廣昭〉	155
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	156
哲学史	〈山口祐弘〉	157

歴史哲学	〈麻生建〉	157
産業・職業社会学	〈安藤喜久雄〉	158
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	158
社会福祉発達史	〈林千代〉	159
国民所得論	〈吉野紀〉	160
日本経済史	〈橋野知子〉	161
中小企業論	〈三井逸友〉	162
社会政策	〈光岡博美〉	164
教育経済論	〈谷敷正光〉	165
日本経済論	〈小林正人〉	167
アジア経済論	〈鄭章淵〉	168
中国経済論	〈小杉修二〉	170
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘志〉	171
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	173
商業政策	〈番場博之〉	174
マーケティング	〈曾我信孝〉	175
経営管理理論	〈百田義治〉	176
労務管理理論	〈堀龍二〉	177
財務会計監査論	〈遠藤孝〉	178
会計監査論	〈飯岡透〉	180
管理会計論	〈中原章吉〉	181
原価計算論	〈加藤利安〉	182
貿易論	〈古沢紘造〉	183
銀行法論	〈米田貢〉	184
比較憲法論	〈斉藤寿〉	185
比較憲法	〈休講〉	
親族法	〈竹中智香〉	186
相族法	〈竹中智香〉	186
西洋法制史	〈北野かほる〉	187
英米法	〈北野かほる〉	188
国際政治学	〈岡田外司博〉	189
ヨーロッパ政治史	〈小堀訓男〉	190
地方自治法	〈浦田早苗〉	190
議会関係法	〈富井幸雄〉	191
立法過程論	〈前田英昭〉	192
比較政治学	〈休講〉	
現代政治家論	〈岩崎正洋〉	193
比較憲法論	〈大塚桂〉	194
比較憲法論	〈休講〉	
経営労務論	〈鹿嶋秀晃〉	195
国際経営論	〈茂垣広志〉	196
商業史	〈山田勝〉	197
保険経営論	〈石名坂邦昭〉	198
財務會計論	〈渡邊恵一郎〉	199
経営分会論	〈片桐伸夫〉	200
税務分会論	〈高木克己〉	201
経営分会論	〈高井徹雄〉	202
経営分会論	〈西村和夫〉	203

経営統	計	〈山内慎二〉	204
上代文学	講読	〈佐原作美〉	205
中古文学	講読	〈鈴木裕子〉	205
中世文学	講読	〈菌部幹生〉	206
近世文学	講読	〈越後敬子〉	206
近代文学	講読	〈石割透〉	207
現代文学	講読	〈松田直行〉	208
時事英語	〈休講〉		
英語演習 I [英語音声の基礎]	〈休講〉		
応用計測学	〈櫃尾英次〉		209

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を發揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤 秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹禅、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈閣の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

特定の教科書は使用しないで、講義の中で適宜に資料などをコピーで配布する。

参考書等

田中良昭編『禅宗研究入門』（大東出版社）6,000円
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,600円
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
その他、日本の禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年引続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦煌本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本を校訂した大正蔵48巻と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』〈世界の名著〉18『禅語録』（中央公論社）及び〈世界古典文学全集〉36A『禅家語録』Ⅰ（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	さ とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文獻）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まっており、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨濟宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後に当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（?～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円
酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。
 序 章 仏教とは何か
 第1章 仏陀の生涯
 第2章 仏の本質
 第3章 法——仏教の真理観——
 第4章 一切法——法の分類——
 第5章 輪廻と業の煩惱
 第6章 悟りへの道
 第7章 心——実践の主体——
 第8章 修行者の理想像
 第9章 戒律と教団の組織
 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」をとらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きい。その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを断えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末木文美土『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）
石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	いし 井 こう せい 石 井 公 成	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『莊子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆ�ため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などの歴史的展開を把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係の理解が主な課題となる。その際、東アジア世界の中での中国思想という広い視野を失わないよう心掛けたい。この授業を通して、中国人の思考様式がどのような特徴をもっており、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なっているかを、いささかでも明らかにしたいと思う。一見抽象的にみえる思想の世界も、実は我々の現実と密接につながっていることを、共に学んでいこうと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者の関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、それとも唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面に関心のある諸君の受講を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意欲をもっていること）が望ましいが、授業したいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでほしい。問題意識と積極的な意欲をもった皆さんの受講を望む。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期・後期に提出してもらう。それ以外の評価方法も検討したい。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おの野 <small>の</small> 寛 <small>ひろし</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	たかほし <small>の</small> ぶん <small>ぶん</small> じ <small>じ</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大・短英	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教科書

高橋文二『源氏物語の時空と想像力』（翰林書房）

参考書等

講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら 村 上 光 徳 むら 村 上 光 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

『徒然草』を講読し、兼好の物の考え方－自然観・人生観等にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを使い関係ある章をたんねんに読み先学の説など参考にして考えてゆく。

成績評価の方法

①筆記試験 ②出席状況

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究Ⅰ	ふ 富 じ 士 昭 雄 ふ 富 じ 士 昭 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧文学研究。本年度は『おくのおそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧紀行文の特質を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

『おくのほそ道』の主要な章段を中心に、『曾良旅日記』その他の資料を参照しながら、講読する。

成績評価の方法

学年末の試験により評価する。

教 科 書

萩原恭男校注『芭蕉 おくのほそ道』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	やま さき ぼ き こ 山崎真紀子	禪・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

人は言葉を介して考えていることを伝達するが、心の中に生じたいろいろな感情や思いを的確に言語化するのは難しい。とりえず自らが蓄積している語彙を用いて、抽象的な心の中を言葉として表に出し具象化するしかないだろう。語彙が貧弱であったりすると、思いと言葉とが一致しにくく、相手にもうまく伝わらず、自分自身も消化不良のようで居心地が悪い。また、考える力や現象を分析する力も育たない。言葉は生きていく上で大切なツールであるにも関わらず、それを磨くことを怠りがちである。豊かな語彙力、適切な単語の選択、具象化できるだけの文脈づくり、文章の構成力などを学ぶひとつの方法として日本の近代小説を読む、というのはいかがであらうか。

複雑な感情を一元化して何にでも「カワイイ」と表現してしまったり、安易に「超〜」「っていか」をつけて自分の世界を表現し得たように思いこんでしまう平板な言語力には、平板な世界観しか築けないだろう。それでは生きていてもつまらない。日本の近代小説には豊かな言葉が溢れている。言葉を磨くには恰好の教材になる。作品中に描かれている都市に注目して集められた日本近代小説のアンソロジーを読み、めまぐるしく変化している現代社会の都市の中に生きる私たちの感性と言葉を磨くことがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

泉鏡花、樋口一葉、田山花袋、谷崎潤一郎、芥川龍之介、江戸川乱歩、三島由紀夫、大江健三郎らの小説。アンソロジー所収以外の現代小説を読むこともある。

履修上の留意点

授業に臨む前にテキストを読み、感想や意見を述べられるように準備しておくこと。また、〈都市〉を解説するために、街を歩く際に観察力をもち柔軟な感受性のアンテナを立ててキャッチしておくこと。自らが感じとったことを1頭発表や文章化してもらおう。なお、年間を通じて3分の1以上欠席した場合は単位は認定しないので注意すること。

成績評価の方法

出席や授業時の意見・発表などの平常点と前期と後期の論述テストにより評価。

教科書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説〈都市〉を読む』（双文社出版）2,000円

その他

教科書以外のテキストを準備して貰うこともあり。ビデオも時に使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	みつたに 満谷 マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的に扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讚美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義課目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文学	やまぐちせつこ 山口節子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教科書

授業の際に、事前に紹介する。

参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

その他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	あそうけん 麻生健	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教科書

麻生健著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇概論	井上理恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウロジー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台上に展開される演劇を観て、西洋と日本の演劇の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は「国文学特講X」を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見ていって批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件とした。

成績評価の方法

レポート（二回の観劇批評およびその他二回）による。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
編集実務	長谷川孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに——何かを——伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点（目のつけどころ）」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに——何かを——伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙（誌）づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙（誌）を課題作品として提出してもらうほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教科書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	おの 逢 み 見 あき 明 ひさ 久	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアの原作からその友情観を探る。併せて、シェイクスピア映画にみとめらる友情の主題も扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 講義内容の説明
- 第2回 プラトン以来の友情の伝統
- 第3回 『ソネット集』における友情の主題
- 第4回 『ヴェローナの二紳士』のヴァレンティン
- 第5回 ・BBC版『ヴェローナの二紳士』
- 第6回 『ロミオとジュリエット』のマーキュリオとロミオ
- 第7回 ・MGM版『ロミオとジュリエット』
- 第8回 ・カステラーニ版『ロミオとジュリエット』
- 第9回 ・ゼフィレリ版『ロミオとジュリエット』
- 第10回 ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』
- 第11回 『ヴェニス商人』のアントーニオとバッサーニオ
- 第12回 ・ミラー版『ヴェニス商人』
- 第13回 ブラナー版『ヘンリー5世』のフォールスタッフとハル王子
- 第14回 前期レポート試験
- 第15回 『ハムレット』のホレーシオとハムレット
- 第16回 ・オリヴィエ版『ハムレット』
- 第17回 ・リチャードソン版『ハムレット』
- 第18回 ・BBC版『ハムレット』
- 第19回 ・ゼフィレリ版『ハムレット』
- 第20回 ・ブラナー版『ハムレット』
- 第21回 ・黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』の西と板倉
- 第22回 ナン版『十二夜』のヴァイオラとオーシーノー
- 第23回 『二人の血縁の貴公子』のアーサイトとパラモン
- 第24回 『二人の血縁の貴公子』
- 第25回 後期レポート試験

成績評価の方法

レポートから判断する。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された Lyrical Ballads という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしいちろう 岡崎寿一郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか 中 岡 ひろし 洋	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みに関しての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用はなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくかの手順を批評的ディスクールとして説明してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- イ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
ロ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま ゆう いち ろう 東 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカの1640年の *The Bay Psalm Book* から現在にかけて、子供たちに読み継がれてきた詩を読みます。イギリスから渡ってきた人々は聖書とマザーグースを新世界にもたらしました。植民地時代の子供たちは、教会や学校で、大人たちと同じく、信仰心にあつい詩を読み、それを教材としました。子供たちはロングフェロー、ホイットィアー、ブライアントなどの詩を暗誦しました。独立革命の *The New England Primer* のアルファベットのWは“Whale”から“Whashington”に変わりました。19世紀になると、女性詩人たちが様々な雑誌に、自作の詩を掲載し、家族を支えました。夫に先立たれた女性、なまけ者の夫をもつ女性、病気の両親を養う女性、おさない弟や妹のめんどうをみなければならなかった女性たちでした。19世紀のアメリカの児童文学は、現在のディズニーランドもはるかに及ばない大輪の花を咲かせていました。シゴニーは、先住民の悲惨な生活を訴え続けました。ナサニエル・グラハム・シェファードは南北戦争の兵士の死を人類の死滅と訴えました。この一方で、アメリカの子供たちの詩には、実に楽しい言葉あそびの詩、ナンセンス詩も多くあります。その代表は、ジェイムズ・ホイットコム・ライリーです。永年、アメリカにはライトヴァースは存在しないなどと吹聴されてきましたが、それはウソです。そして、文学は、ウォレンス・スティーブンスが言う、至高のウソです。虚構は現実を超越します。そして、現実人間の想像世界よりも常に先んじてしまいます。この想像の森の中のしげみの中で、子供たちの詩はその未知の訪問者を待っています。アメリカの子供たちは、その当初から、大人の世界を共有してきたのです。そこには大人と子供の境界線などありません。ジョン・レノンの〈イマジン〉の世界があるだけです。

教科書

The Oxford Book of Children's Verse in America

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 前期：足 田 和 人 後期：川 崎 えみ か 佳	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教科書

プリント配布。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	前期：荒井良雄 後期：落合和昭	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇とアメリカ演劇を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容も視界に入れて講義する。とくに20世紀の英米演劇の劇作家と作品を重点的に取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、シェイクスピアを中心に、イギリス演劇を荒井が講義する。Comedy of Manners、オスカー・ワイルド、20世紀のイギリス演劇を代表する劇作家と作品を、時代順に取りあげる。後期は、20世紀のアメリカ演劇を落合が講義する。Eugene O'Neill, Thornton Wilder, Tennessee Williams, Edward Albee, Sam Shepard などの劇作家論と作品研究を中心に授業を進める。

履修上の留意点

前期のイギリス演劇は荒井、後期のアメリカ演劇は落合が担当することを承知の上で受講すること。

成績評価の方法

前期は7月に試験、後期は定期試験の形ではなく、レポート課題（原稿用紙5枚程度）を3回以上提出してもらう。出席に関しては、出席率は三分の二が必要である。

教科書

前期 特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。
後期 プリント、また、必要があれば、教室で指示。

参考書等

荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円
太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

その他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	たけうち けいいち 竹内啓一	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経A・商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、一昨年度は、日本地理思想史の講義をしたので、本年度は世界地理思想史の講義をする。ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のものの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして稼をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があつて、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk、official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあつたかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・ 授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがつて、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを何回か行う。

成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中の提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかしておく。

手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)
 西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座 1) (朝倉書店)
 永津一朗 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)
 野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)
 飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』 6 平凡社に収録)
 野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)
 竹内啓一 『とほろうぐ』 (古今書院)
 織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)
 織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)
 長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)
 スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)
 増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)
 ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代まで』 (河出書房新社)
 日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。
Modern Japanese Geography: An Intellectual History. (Kokon-Shoin)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	清水長正	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明かにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用地理学	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から考える。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい	新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつき込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。
講義の内容・授業スケジュール	前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。 なお、後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。
履修上の留意点	講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。
成績評価の方法	2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。
教科書	使用しない。毎回プリントを配布する。
参考書等	シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。
その他	VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい	近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。
講義の内容・授業スケジュール	最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。
履修上の留意点	既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。
成績評価の方法	定期試験により評価し、出席状況を加味する。
教科書	特にないが、必要な資料はコピーして配布する。
参考書等	講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず ゆき 矢 野 和 之	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史 Ⅱ	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心に見ていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教 科 書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参 考 書 等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	谷 口 貢 <small>たに ぐち みつぎ</small>	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山 <small>やま</small> 口 <small>ぐち</small> 祐 <small>まさ</small> 弘 <small>ひろ</small>	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	麻 <small>あ</small> 生 <small>そう</small> 建 <small>けん</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	あん どう き く お 雄 安藤喜久雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大	4

講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める。

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本的経営と組織風土
5. 日本的雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で評価する。

教 科 書

安藤喜久雄他『企業社会の構図』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわ もと まさる 川本 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて考える。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその結果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	林 千代 <small>はやし ちよ</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大 10以降入学生/心理	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

その他

9年度以前入学の社会学科心理学コースの学生は、この科目を履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	権・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に乗って、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(第6版)(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	橋野知子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・短国・短放	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済－工業化の新しい局面
- (9)1920年代－世界秩序の再編「ボックス・アメリカナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代－対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望－産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にしてください。

成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

教科書

三和良一『概説日本経済史 近現代』（東大出版会）1993年 2,400円＋税

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	三井逸友	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法・A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言葉」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な（critical）構成要素である」（クリントン米国大統領）と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』（森清著、ダイヤモンド社刊）のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。それにもかかわらず、日本の政府は、従来の中小企業政策を不要とし、時代錯誤な姿勢を世界にさらけ出した。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特にEU欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国については、近年の「中小企業政策」否定、創業促進策、ベンチャー企画支援策などへの「転換」も検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日の現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

「再試験」は実施する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）2,800円（税抜）

同編『日本的生産システムの評価と展望』（ミネルヴァ書房）3,600円

参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円
中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円
中小商工業研究所編『現代日本の中小商工業－国際比較と政策編』（新日本出版社）、刊行予定

その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面の WEB サイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

http://www.komazawa-uac.jp/Gakubu/Mitsui_Seminar/mit/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	禪・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	や 谷 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化と教育
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育 「21世紀アメリカ教育行動計画」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令、専門学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30~40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献を講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
土志田征一『レーガノミックス』（中公新書）
原田和男『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
大原 進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口 博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法 A 政治・短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の産業構造
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
- 日本の経済発展の総括と展望
平成状況の意義
情報通信革命（インターネット）
- 日本の産業問題
食糧問題と農業部門の意義
製品の安全性と PL 法
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤヌスの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義計画は、以下の通りである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済
 - ① 資本主義萌芽問題
 - ② 植民地経済の実情
 - ③ 「植民地近代化論」批判
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
 - ① 農地改革
 - ② 外国（アメリカ）援助
 - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
 - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - ① 新古典派アプローチ
 - ② 世界システム論的アプローチ
 - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
 - (2) 東アジア経済発展論
 - ① 世銀のアプローチ
 - ② 国家主義的アプローチ
 - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
 - ④ その他……企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程

- (3)その他の中小規模経済圏
- 7. アジア経済の現状
 - (1)アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2)その他の諸問題……環境問題 etc.
 - (3)日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）
参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法・A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これについて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の日先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあるし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあるし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受人れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

再試験あり。

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せ と おか 瀬 戸 岡	ひろし 紘	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

- ◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇アメリカの建国の理念と現代の経済
- ◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇アメリカの農業
- ◇アメリカの工業
- ◇アメリカの企業家とベンチャービジネス
- ◇アメリカの雇用と労働者
- ◇アメリカの商業とサービス
- ◇アメリカの交通・通信・情報
- ◇アメリカの金融
- ◇アメリカの教育と経済
- ◇アメリカの科学技術
- ◇アメリカの先端産業
- ◇アメリカ経済と環境問題
- ◇アメリカ社会とヴォランティア
- ◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇国際通貨ドルの地位と IMF
- ◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにところがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をとおさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことから感想を簡単に記した文章を年間をとおして何回も提出してもらうことを考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

 講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの — レーニン時代 —
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本 — 比較経済史 —

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（白筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ぼ ひろ ゆき 番 場 博 之	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名分のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムは非合理的なのであるか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、数回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1) ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2) 流通機構と流通構造
- (3) 流通の意義と機能
- (4) 資本主義商業の基礎理論
- (5) 日本の流通政策・商業政策とその枠組
- (6) 独占禁止法とその体系
- (7) 再販売価格維持制度と景品表示法
- (8) 取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9) 訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10) 流通政策の転換と街づくり
- (11) 中小小売業の役割
- (12) 大規模小売店舗法
- (13) 流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14) まちづくり三法
- (15) 商店街再生への取り組み
- (16) 海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義で取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験は実施しない。

そ の 他

- ・講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: <http://www.cuc.ac.jp/h2banba>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	曾 我 信 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
 - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
 - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
 - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
 - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
 - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
 - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
 - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
 - 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。
再試験を実施する。

教 科 書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禪・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 短 国	4

講義のねらい

大企業間の合併や提携、持株会社の解禁、企業集団の再編、リストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、21世紀を目前に日本企業は大きく変貌しようとしています。その底流には、情報化・国際化（グローバル化）・規制緩和の進展、メガ・コンペティション（大競争）、「グローバル・スタンダード」など日本企業を取り巻く経営環境の激的な変化があります。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からアプローチします。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 現代企業の所有・支配・管理
 - ①株式会社と経営者
 - ②企業集団と持株会社
 - ③コーポレート・ガバナンスの国際比較
 - ④企業の社会的責任とビジネス・エシックス
- II. 現代企業の経営管理・経営組織
 - ①経営管理とは（管理過程、管理職能、管理原則）
 - ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
 - ③経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
 - ④経営管理の近代理論（個人と組織の統合理論）
 - ⑤経営組織の基本形態（権限と責任、ラインとスタッフ…）
 - ⑥経営組織の発展形態（事業部制、カンパニー制、分社化…）
 - ⑦国際経営と企業文化（グローバル化、ローカル化、異文化共生…）
- III. 日本企業の競争力と日本的経営
 - ①日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府…）
 - ②日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
 - ③日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義…）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業のテーマと関連づけて話を進めます。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教 科 書

なし。（随時、コピーを配布します）

そ の 他

授業や課題レポート（夏休み）に関連して紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進してきたが、その内実には年功制の要素がなお色濃く残されていた。ところが最近における日本経済の低迷のなかで、この年功制の完全払拭＝能力主義・成果主義への本格的移行が急速に進展しつつある。相次いでリストラが断行されるとともに、年俸制の導入、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の変更等々、賃金と雇用に関する基本的な制度に大きな変化が進行している。これらの動向と特徴やその背景にあるものを探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに職能給、職務給、職能資格制度、小集団管理、人事効果などを賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理との整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定である。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。再試験は実施する。

教科書

現在選定中。初回講義までに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表(BALANCE SHEET)、損益計算書(INCOME STATEMENT)を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、ヤオハン、三田工業、山一証券の粉飾問題。会計監査の信頼性－監査法人の損害賠償責任問題。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週
財務会計の制度性について。
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週
繰越資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週
同上。
- (10) 7月第1週
資本会計について。

後期

- (11) 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週
同上。
- (14) 10月第1週
同上。連結キャッシュ・フロー計算書、税効果会計
- (15) 10月第2週
セグメント会計について。
リース会計について。
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (16) 10月第3週
企業内容、会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表(書)。
- (17) 10月第4週
同上。
- (18) 11月第1週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (19) 11月第2週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。会計監査の信頼性、何を監査するのか、監査の範囲「企業会計原則」について。

- (20) 11月第3週
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (21) 11月第4週
同上。会計の国際化と日本企業会計制度改革、会計 Big Bang。
- (22) 12月第1週
世界企業会計の最新動向。
- (23) 12月第2週
同上。
- (24) 12月第3週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。総括。
- (25) 最終週
予備。

以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	飯岡透	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
 - (1) 会計監査の目的
 - (2) 会計監査の種類
 - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
 - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
 - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任
 - (1) 監査人の要件
 - (2) 監査人の選任と解任
 - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
 - (1) 監査要点の意義と種類
 - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
 - (1) 監査証拠の意義と分類
 - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
 - (1) 内部統制の構成要素
 - (2) 内部統制の評価
 - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
 - (1) 監査契約と予備調査
 - (2) 監査計画の目的とその設定
 - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
 - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
 - (1) 監査調書の目的と作成要件
 - (2) 監査調書の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
 - (1) 経営者確認書の意義と目的
 - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
 - (1) 監査報告書の意義と機能
 - (2) 監査報告書の種類
 - (3) 短文式監査報告書の記載内容
 - (4) 特記事項の記載内容
 - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	なか ほん しょう きち 中原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおく講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年。

教科書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	かとうとし やす 加藤利安	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計の側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになっている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとすれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。
再試験を実施しない。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

授業時に適宜挙げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふる古 さわ沢 こう紘 そう造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンス編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーション
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験は実施する。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	よね だ 米 田 貢	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法A・政治・短国・短英	4

講義のねらい

前半の【現状分析編】では、現代日本の金融構造を概観したうえで、90年代日本における金融危機の展開過程を具体的に紹介する。後半の【理論篇】では、それらの金融危機を理解するための基礎理論として信用理論を体系的に説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

【現状分析編】

1. 現代日本の金融構造
2. 1990年代の日本金融危機の概観
3. 銀行取付とは何か？－木津信用組合の経営破綻の事例研究
4. 住専処理をめぐって
5. 現代日本における土地問題－80年代の土地投機をふりかえる
6. 97年金融危機はいかに急展開したか－三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻
7. 98年金融危機と日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の特別公的管理＝一時的「国有化」
8. 1980年代アメリカ金融危機とセーフティネット
9. 現代日本における金融危機管理の失敗

【理論篇】

1. 銀行とは何か？
2. 貸借関係と利子生み資本
3. 預金通貨と信用創造
4. 現実資本の蓄積と貨幣資本の蓄積
5. 中央銀行の機能
6. インフレーションとは何か？
7. 現代資本主義の投機化現象について
8. 現代資本主義のグローバル化と為替投機

成績評価の方法

- 1) 【現状分析編】終了時点で、現代金融危機についてのレポートを提出。評価40点満点。
 - 2) 学年末に、【理論篇】の内容について論述試験を行う。評価60点満点。
- 両者合計が60点以上の場合に単位を付与する。
再試験を実施する。

教 科 書

授業はレジメに沿って行う。

参 考 書 等

参考文献については適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日の問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法概念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おがだとしひろ 岡田外司博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・経営・短放	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- 英国革命とIRA
- ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程
- 英国における政治腐敗防止過程
- フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義
- 「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- 統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井 幸雄 <small>とみ い ゆき おお</small>	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議 会 関 係 法	まえ た ひで あき 前 田 英 昭	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。
選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。
衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）
その他各種の選挙法に関する解説書

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	いわさきまさひろ 岩崎正洋	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけだということでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立てられたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

教科書

岩崎正洋他編『民主主義の国際比較』(一藝社)1999年
岩崎正洋『政党システムの理論』(東海大学出版会)1999年

参考書等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

- *M. ドガン&D. ペラッシー/櫻井陽二訳『比較政治社会学』(芦書房)1983年
- *西川知一編『比較政治の分析枠組』(ミネルヴァ書房)1986年
- *H. J. ウィアールダ編/大本啓介他訳『比較政治学の新動向』(東信堂)1988年
- *砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』(東海大学出版会)1990年
- *青木一能・野田忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』(新評論)1998年
- *Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., Sage, 1994.
- *Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, Polity Press, 1994.

その他

基本的に講義中心とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況があります。大国・日本丸はどこにすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学にあつて重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履習してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論(史)的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたととき、政治学=国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目(憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学)の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。それというのも、国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・
授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
 - ①序論
 - ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
 - ①古代国家学説
 - ②中世国家学説
 - ③近代国家学説
 - ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
 - ①法治国家論
 - ②政治制度
 - ③官僚制
 - ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
 - ①福祉国家論
 - ②ネオ・コーポラティズム
 - ③シティズンシップ
 - ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

- A 方式 (レポートによる単位認定)
～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 - B 方式 (試験による単位認定)
～ペーパー・テスト(中間・期末)による評価です。
 - C 方式 (AとBの折衷)
～レポートと授業時間における小テストにより評価します。
- ※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377(直)です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	か 鹿 しま 嶋 ひで 秀 あき 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点はなし。①私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。②携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらう。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみ。①空欄補充問題（約60点分）②論述問題1問（約40点分）の予定。試験は持ち込み不可とする。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。
http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	祥・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本のマネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。その日系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点について理解を深められる授業内容と構成を予定している。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説、経営資源移動仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、アンゾフ・モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
 1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済・比較優位・国家特殊優位性）
 2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、パートレット＝ゴシャル・モデル等）
 3. 国際戦略提携
- V. 国際戦略と組織構造
 1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
 2. ミクロ構造および内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
 1. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
 2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性和問題点、進出地域別特徴）
 3. 異文化マネジメントと海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
- VII. 国際マーケティング戦略（海外市場参入、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略等）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果による。

教科書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』（学文社）2,800円

その他

OHP あるいはプロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義内容の主なテーマは次のとおりである。
- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継 続 性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価 格 革 命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなごか くにあき 石名坂 邦 昭	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ けい いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教科書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』（中央経済社）

参考書等

畠井剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』（白桃書房）
日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

授業の方法、講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 夫 片 桐 伸 夫	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか (安定性分析)、
- 2 「儲け」はどうだろうか (収益性分析)、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか (生産性分析)、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか (成長性分析)、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか (社会性分析)、

といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析(続)」

☆提出日(授業はじめに配布するシラバスに明記)以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テ ス ト 範 囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』(中央経済社) 3,568円

参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかき かつみ 高木 克己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	権・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータールームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教 科 書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

そ の 他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむら かずお 西 村 和 夫	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報やフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・
授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中問試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他学部履修科目

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30％）と定期試験（70％）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

各種の参考書をそのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	やまの 山 うち しん じ 慎 二	福・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについて取り扱う経営統計は、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意志決定をサポートすることを目的とする学問である。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たせるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明する。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意志決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

履修上の留意点

年間数回程度の演習問題を適時に配布し、それを本講義内容の基礎的部分をもとに独自に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)1995 2,100円(税別)
講義を補充するプリントを適時に配布する。

参 考 書 等

守口栄一・竹田仁共著『経営数学・経営統計とその応用』(日本理工出版社)1992 2,200円(税別)

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先に又は同時に履修することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学講読	佐原 作美 さ ばら まく み	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や和歌を選んで講読していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学講読	鈴木 裕子 すず き ひろ こ	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答えを見つけてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

今年は、篝火の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者光源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

履修上の留意点

講読という科目の性格上、授業はテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学講読	その 園 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

中世の作品の中から、『無名草子』をとりあげる。今年度は特に後半の女性論の部分を中心に読み進めたい。その関連から、記録類や説話集類も読むことになる。評論として書かれた内容について理解するだけでなく、小野小町以下の古典文学史上著名な女性たちがどのような経緯を経て、どのように受けとめられ、評価されてきたのかを確認し、それらについての自分なりの意見を持てるようになりたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の前半は、序から源氏物語論の前までを講義する。前期の後半から後期にかけては、小野小町・清少納言・小式部内侍・和泉式部・宮宣旨・伊勢御息所・兵衛内侍・紫式部・皇后定子・上東門院・大斎院選子・小野皇太后宮といった女性たちに対する女性論や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、十二月末の時間内に50点満点の筆記試験（持ち込み参照何でも可）を行う。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、一月の授業時間内に指示するので必ず出席すること。

教科書

新潮日本古典文学集成『無名草子』（新潮社）2,000円

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学講読	えち 越 後 敬 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

西鶴の代表作の一つである『好色五人女』を読む。本書は実際にあった五つの恋愛事件をもとに描かれた作品である。当時は封建体制のもと厳しい身分制度がしかれており、自由な恋愛が認められていなかった。そのため悲劇的な結末を迎えざるを得ない男女が数多くあった。それを西鶴はどのように描いたか、当時の時代背景や先行文芸との関わりを視野に入れながら読み進めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

第一回 授業の進め方の説明
第二・三回 西鶴と『好色五人女』に関する概説
第四回以降 『好色五人女』講読

履修上の留意点

毎回、授業範囲分の下調べをしてきてほしい。また教科書は活字本を用いるが、適宜影印資料を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教科書

江本裕『好色五人女 全訳注』（講談社学術文庫）1,200円
その他、授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 講 読	いし かわり 割 とある 透	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の一助としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

扱う作品は、芥川龍之介『羅生門』『鼻』『芋粥』『奉教人の死』、谷崎潤一郎『小さな王国』『白昼鬼語』、志賀直哉『清兵衛と瓢箪』『十一月三日午後の事』『雨蛙』、内田百閒『旅順入城式』など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学のもっていた課題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は、必ず前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視点によるものを期待したい。

教 科 書

『芥川龍之介全集1・II』（ちくま書房）志賀直哉『小僧の神様、城の崎にて』『清兵衛と瓢箪・網走まで』（以上新潮文庫）谷崎潤一郎『美食倶楽部－谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学講読	まつだ なおゆき 松田直行	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

「よりによって」、とあなたは言うかもしれない。それでも、現在の文学界において最もポピュラーな作家の一人である村上春樹を読む。年間を通じての講義タイトルは、「現象としての村上春樹」（あるいは、「よりによって村上春樹」）。彼の作品を読み進めながら、作品に描かれたフィクションの「世界」と、我々が生きる現実との距離、その位相の違い、そして接点を探る。ここには村上春樹という作者研究の視点はない。私は村上春樹の友達ではないし、会ったこともないので、彼がどんな人間であろうと私には関係がない。また同時に、たとえば『ノルウェイの森』が400万部以上売れたことによって、一種の社会現象になったという文脈での「現象」を考察したいわけでもない。もちろんそうした情報は、事実として何らかの前提にはなり得るわけだが。本講において注目したいのは、彼の作品と読者がきり結び関係そのものである。すなわち具体的に、作品と私の関係、作品とあなたの関係が、すべての出発点である。さらに教場において共に講読した結果として、「作品を通しての私とあなたの関係」が想定されるとしたら、そこから村上作品と現代社会の関係性についての何かが浮かびあがるはずである。通常の文学鑑賞においては、作品と読者との一対一の関係によって表現のほとんどすべてが完結してしまえるが、村上春樹現象と言われるほどのポピュラリティーを持ってしまった作品については、それが現代社会の中でどのように認識されるのかを意識せずには読めない部分があると思えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

順次、村上春樹の作品を講読する。できるだけ多くの作品に触れたいと思うが、具体的にどの作品をどのようなスケジュールで読み進めて行くかは、講義を進める中で随時決めさせていただく。

履修上の留意点

当然ながら授業時間中に読むことのできる部分はごく限られているので、各自が授業以外の時間で少しでも多くの作品を読むことが要求される。また、国文科であるのに恐縮だが、村上春樹が翻訳したアメリカ現代小説もいくつか、参考として講読の対象としたい。原文を英語で読む必要はないが、講義において翻訳文と原文との比較を行うことがある。

成績評価の方法

出席回数と、レポートの提出によって評価を行う。レポートの内容・時期・回数等も、授業を進める中で適宜決めさせていただきたい。

教科書

テキストとして、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』（荒地出版社）1,553円＋税、およびユリイカ臨時増刊号『総特集 村上春樹の世界』（青土社）1,260円を指定するので、各自購入し、毎回授業の際に持参してほしい。これらをいわゆる教科書として読み進めるわけではないが、村上作品の全体像を見渡すことのできるガイドとして使用する。前者は主要な長編小説の紹介として、後者は短編や翻訳作品を含めた全体像を概観するのに有効である。実際に講読する村上作品については、これらのガイドにも紹介されているのでそれを参考に、各自で用意していただく。読んでいない者は、まず『羊をめぐる冒険』（講談社）および講談社文庫と『ノルウェイの森』（上・下 講談社）だけは読んでおいてほしい。

参考書等

村上春樹に関する出版物は数多いが、最寄の書店で入手できる参考書として、鈴村和成『村上春樹クオニクル 1983-1995』（洋泉社）1,500円と、木股知史編『日本文学研究論文集46 村上春樹』（若草書房）3,500円＋税をあけておく。

その他

講読形式の授業であり、それは学生が各自講読するという意味である。講義では、全員が声を出して読んでも仕方がないので代わりに私が読むが、あくまで自分が読まなければ意味のないものだという前提を忘れないでいただきたい。そのあとは、作家研究・作品研究の講義でない分、各自の興味と感性に引きつけて、むしろそれぞれの受け入れ方をしてほしい。私は私の感性とともに、作品について何かを述べることになるが、それをそのまま受け入れるのではなく、むしろそれとあなた自身の感じ方の「ズレ」を意識することの方が重要である。年間の授業の最後に、あなたにとっての村上春樹とは何か、と訊ねることになるだろう。その時に、それぞれの感じ方で、それぞれの言葉で答えてほしい。音楽が好きなら、音楽にたとえるなら、という個人的な言い方でかまわない。ほくにとって村上春樹は、なぜか佐野元春なんですけど。どうしてかはうまく説明できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学 (前期)	かし 檀 お 尾 えい 英 じ 次	禪・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
 - CR (Computed Radiography)
 - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

3. 「日本語」・「日本事情」科目

日
本
事
情
語
科
目

3. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	215
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	215
日 本 語	II	〈佐野典子〉	216
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	216
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	217
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	217
日 本 語	IV	〈石川守〉	218
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	218
日 本 語	V	〈石川守〉	219
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	219
日 本 語	VI	〈石川守〉	220
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	220

《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	221
日本事情 II〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	221
日本事情 III〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	222
日本事情 IV〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	222
日本事情 V〔社会〕	(後期)	〈吉田 素子〉	223
日本事情 VI〔政治・法律〕	(後期)	〈上條 末夫〉	223
日本事情 VII〔文学〕	(前期)	〈村上 光徳〉	224
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	224
日本事情 IX〔経済〕	(前期)	〈瀬戸岡 紘〉	225
日本事情 X〔経営〕	(前期)	〈猿山 義広〉	226

《日本語科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	佐 野 のり 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	多 田 ら あ き こ	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになること目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ むら せい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ 守 <small>まもる</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た たら あき こ <small>あき</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。自分の言いたいことを正しく適切な表現を用いて話したりわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく使えるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義は ICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。
履修上の留意点	講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
教科書	コピーを配布する。
参考書等	特になし
その他	授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。 ○関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。 ○テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。
履修上の留意点	授業中の活動が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	プリントを配布、ビデオを使用。

《日本事情科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	須山 聡 <small>すゝ やま さとし</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の風土や地域性をわかりやすく紹介し、日本に対する理解を深める。日本各地の風土や地域性に関する簡単なテキストを用いて受講者に新たな日本のとらえ方を提示したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日本列島のなりたち－暑い、寒い、湿っぽい－
- 2 日本列島の文化的多様性－日本は多民族社会？－
- 3 伝統の「日本」－フジヤマ・ゲイシャ・ジンリキシャー－
- 4 技術の「ニッポン」－ハイテク国家の実像－
- 5 日本の都市－繁栄と退廃－
- 6 日本の農村－そしてお年寄りばかりが残った－
- 7 日本人の知らない日本－こんな日本、あんな日本－

履修上の留意点

受講者の活発な発現を期待する。

成績評価の方法

出席を重視するが、場合によってはレポートも課す。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

日本地図帳を持参されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清水 善和 <small>しみず よし かず</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 III 〔 歴 史 〕 (後 期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

日
本
事
情
語
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IV 〔 思 想 〕 (前 期)	あがば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(後期)	よし だ もと こと 吉 田 素 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、現代の日本人の意識や行動様式を、社会現象を通して検討します。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本で起きた社会現象や事件をとらえた新聞記事・雑誌記事などを読み、理解します。そして、受講生の間でその記事についての意見を交換したり、他国で起こっていることと比較したりすることによって、日本社会の特質を分析します。

成績評価の方法

毎回出席をとり、授業中の発言なども平常点として加味します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VI 〔政治・法律〕(後期)	かみ しょう すえ お 上 條 末 夫	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

戦後日本の政治制度と政治の実態を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1、日本国憲法の意味
- 2、国会法の内容
- 3、選挙法の沿革と意味
- 4、内閣法と立法府との関係
- 5、司法制度のあり方
- 6、衆議院議員選挙の推移
- 7、参議院議員選挙の推移
- 8、地方自治と地方選挙
- 9、政党の実情と政党政治
- 10、議員立法と国会のあり方
- 11、内閣の性格とそのあり方
- 12、日本の政治文化

成績評価の方法

平常点による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔 文 学 〕 (前 期)	むら 村 上 光 のり 徳	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中世の軍記文学を講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

保元の乱の『保元物語』から平治・治承の戦いまでを作品を中心に講義する。

履修上の留意点

出席とレポートを課す。

教 科 書

その都度必要に応じ配布する。

日 本 事 情 語 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔 文 化 ・ 芸 術 〕 (後 期)	あか 赤 ぼ 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅱ 〔 経 済 〕 (前 期)	瀬 戸 岡 <small>せと おか</small> ひろし 紘	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいてねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本的経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口にしめる農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？ それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業
日本の農村と農業および日本の水産業
日本のサービス業および金融
明治維新以前の日本経済の歴史
第2次世界大戦以降の日本経済の展開
日本経済とアメリカ経済
日本経済とアジア経済
日本経済と政府の役割
日本の労働者・サラリーマンの生活
日本経済と社会や文化の変化
その他

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト（クイズ）30%、宿題30%が目安です。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介します。日々のニュースをよく聞いていてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

そ の 他

授業は、おおむね日本語ですすめます。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 (前 期)	猿 山 義 広	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本の広告事情について学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 広告の歴史
- II 日本の広告メディア
- III 日本の広告会社
- IV 日本の広告主
- V 広告プランニングの実際
- VI 最近の日本の広告

履修上の留意点

日常生活の中で接する広告の中から、自分が面白いと思うものを見つけておくこと。

成績評価の方法

期末レポート「私が選ぶ2000年のテレビCMベスト10」によって評価します。

教 科 書

授業中に適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

『宣伝会議』『ブレン』『広告批評』等。

4. 教職課程・資格講座科目

- I 教 職 課 程
- II 学校図書館司書教諭講座
- III 社会教育主事講座
- IV 博物館学講座
- V 社会福祉主事講座
社会福祉士基礎

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。
(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部

4. 教職課程・資格講座科目

[注意] 頁 () は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する科目 (必修)

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤 司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉〉	237
教 育 の 思 想	〈豊 田 千代子〉	237
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	238
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	239
教 育 の 思 想	〈村 山 輝 吉〉	240
教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	241
教 育 と 社 会	〈豊 田 千代子〉	242
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	242
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	243
教 育 と 社 会	〈村 山 輝 吉〉	243
教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	244
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾久子〉	244
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	245
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈上 淵 寿 夫〉	246
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈角 野 善 司〉	247
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈 休 講 〉	
教 育 と メ デ ィ ア	〈小 倉 康 仁〉	248
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	249
教 育 と メ デ ィ ア	〈芝 崎 順 司〉	250
道 徳 教 育 の 研 究	〈加 藤 幸 夫〉	251
道 徳 教 育 の 研 究	〈小 川 一 郎〉	252
道 徳 教 育 の 研 究	〈鶴 卷 武 夫〉	253
特 別 活 動	〈加 藤 幸 夫〉	254
特 別 活 動	〈小 川 一 郎〉	255
特 別 活 動	〈鶴 卷 武 夫〉	256
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈小 宮 山 要〉	257
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈国 眼 眞 理 子〉	258
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈佐 藤 尚 人〉	259
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	260
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈川 原 誠 司〉	260
教 育 臨 床	〈 休 講 〉	
宗 教 科 教 育 法	〈小 山 一 乗〉	261
国 語 科 教 育 法	〈神 谷 道 倫〉	262
書 道 科 教 育 法	〈那 須 隆 吉〉	262
英 語 科 教 育 法	〈荒 井 良 雄〉	263
社 会 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	263
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	264
社 会 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	265
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	265
社 会 科 教 育 法 I	〈藤 木 正 国〉	266

地理歴史科教育法 I	〈藤木正国〉	266
社会科教育法 II	〈橋爪敏〉	267
公民科教育法 I	〈橋爪敏〉	267
社会科教育法 II	〈谷敷正光〉	268
公民科教育法 I	〈谷敷正光〉	269
社会科教育法 II	〈上條末夫〉	270
公民科教育法 I	〈上條末夫〉	271
商業科教育法	〈谷敷正光〉	272
職業科教育法	〈前田幸一〉	273
教育実習 I・II	〈豊田千代子〉	273
教育実習 I・II	〈坂本信昭〉	274
教育実習 I・II	〈村山輝吉〉	274
教育実習 I・II	〈北村三子〉	275
教育実習 I・II	〈伊藤茂樹〉	275
(2) 教職に関する科目〈選択〉		
教育関係法規	〈広沢明〉	276
教育評価	〈大浜幾久子〉	276
教育法規研究	〈休講〉	
教育哲学	〈北村三子〉	277
教育情報学	〈小倉康仁〉	278
教育臨床心理学	〈牟田隆郎〉	279
教育社会学	〈熊谷一乗〉	280
教育史	〈山本敏子〉	281
教育調査	〈鈴木規夫〉	282
芸術教育	〈香川良成〉	282
現代社会の諸問題と教育 II	〈熊谷一乗〉	283
青少年問題研究	〈讚岐真佐子〉	284
宗教教育	〈小山一乗〉	285
生涯学習概論 I	〈豊田千代子〉	(286)
生涯学習概論 II	〈豊田千代子〉	(286)
視聴覚教育	〈飯森彬彦〉	(286)
社会教育施設	〈村山輝吉〉	(286)
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	(286)
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	(287)
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	(287)
情報メディアの活用	〈源昌久〉	(287)
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	(287)
(3) 教科に関する科目		
【社会・地理歴史・公民】		
東洋思想史	〈末木恭彦〉	288
美術史概説	〈矢野陽子〉	288
民間信仰論	〈谷口貢〉	289
人文地理学概説	〈小池とみ子〉	289
自然地理学概説	〈高木正博〉	290
自然地理学概説	〈早船元峰〉	290
地誌学概説	〈川元豊和〉	291
地誌学概説	〈久保田武〉	292
地誌学概説	〈藤島範孝〉	293

日 本 仏 教 史	〈遠 藤 廣 昭〉	293
日 本 文 化 史	I 〈休 講〉	
日 本 文 化 史	II 〈廣 瀬 良 弘〉	294
日 本 文 化 史	学 〈麻 生 建 樹〉	294
日 本 史 概 說	〈黒 田 基 樹〉	295
日 本 史 概 說	〈小 松 寿 治〉	295
日 世 界 史 概 說	〈井 村 行 子〉	296
日 世 界 史 概 說	〈渡 辺 惇 樹〉	297
社 会 学 原 論	〈渡 辺 源 樹〉	298
宗 教 人 類 学	〈佐々木 宏 幹〉	299
經 济 原 論	〈浅 田 統 一 郎〉	300
經 济 原 論	〈阿 部 弘 一 郎〉	301
經 济 原 論	〈浅 野 克 巳〉	302
經 济 原 論	〈松 井 柳 平〉	303
經 济 原 論	〈橋 本 泰 明〉	304
民 政 法 学 原 論	I 〈大 宮 隆 桂〉	305
日 本 宗 教 文 化 史	〈池 上 良 正〉	307
民 衆 宗 教 成 立 史	〈津 城 寛 文〉	307
宗 教 学 概 說	〈洗 上 良 建 樹〉	308
宗 教 学 概 說	〈池 上 良 正 文〉	308
宗 教 学 概 說	〈津 城 寛 文 一 郎〉	309
哲 学 概 說	〈久 保 陽 彦 一 郎〉	310
哲 学 概 說	〈末 木 恭 彦 一 郎〉	310
倫 理 学 概 說	〈河 谷 淳 一 郎〉	311
【職 業】		
産 業 概 說	〈前 田 幸 一 郎〉	312
職 業 指 導	〈山 田 勇 治 一 郎〉	312
商 業 指 導	〈前 田 幸 一 郎〉	313
【商 業】		
職 業 指 導	〈山 田 勇 治 一 郎〉	(313)

II 学校図書館司書教諭講座

必修科目

学校経営と学校図書館〈山 田 節 子〉	317
読書と豊かな人間性〈山 田 節 子〉	317
学校図書館メディアの構成〈源 昌 久〉	318
情報メディアの活用〈源 昌 久〉	318
学習指導と学校図書館〈山 田 節 子〉	319

III 社会教育主事講座

(1) 必修科目

社会教育計画〈村 山 輝 吉〉	323
生涯学習概論Ⅰ〈豊 田 千代子〉	324
生涯学習概論Ⅱ〈豊 田 千代子〉	325
社会教育実習〈豊 田 千代子〉	326
社会教育実習〈村 山 輝 吉〉	326

(2) 選択必修科目

社会教育行政〈東 寿 隆〉	327
社会教育施設〈村 山 輝 吉〉	327
成人学習論〈東 寿 隆〉	328
ジェンダーと教育Ⅰ〈中 澤 智 恵〉	328
ジェンダーと教育Ⅱ〈中 澤 智 恵〉	329
職業教育Ⅰ〈塩 川 正 人〉	330
職業教育Ⅱ〈塩 川 正 人〉	330
社会体育Ⅰ〈古 田 潤 子〉	331
社会体育Ⅱ〈古 田 潤 子〉	331
教育の思想	(332)
教育と社会	(332)
発達と学習の心理学	(332)
教育とメディア	(332)
カリキュラムと学習〈休 講〉	
社会心理学〈休 講〉	
視聴覚教育〈飯 森 彬 彦〉	(333)
教育社会学〈熊 谷 一 乗〉	(333)
教育史〈山 本 敏 子〉	(333)
教育調査〈鈴 木 規 夫〉	(333)
青少年文化〈香 川 良 成〉	333
現代社会の諸問題と教育Ⅰ〈熊 谷 一 乗〉	334
現代社会の諸問題と教育Ⅱ〈熊 谷 一 乗〉	(334)
青少年問題研究〈讀 岐 真 佐 子〉	(334)
青少年指導演習〈平 野 学〉	335
博物館学Ⅰ(概論)〈太 田 喜 美 子〉	(336)
博物館学Ⅱ(資料論)〈岸 上 興 一 郎〉	(336)
情報メディアの活用〈源 昌 久〉	(336)
読書と豊かな人間性〈山 田 節 子〉	(336)

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

視聴覚教育〈飯森彬彦〉	339
考古発掘実習〈飯島武次・酒井清治〉	339
博物館学Ⅰ(概論)〈太田喜美子〉	340
博物館学Ⅱ(資料論)〈岸上興一郎〉	340
博物館学Ⅲ(経営論・情報論)〈岸上興一郎〉	341
博物館実習Ⅰ(館務)〈飯島武次・酒井清治・太田喜美子〉	342
博物館実習Ⅱ(収集)〈酒井清治・太田喜美子・國見徹 久保田昌希・瀧音能之・佐藤元英 小林和幸・廣瀬良弘〉	342
博物館実習Ⅲ(見学)〈酒井清治・太田喜美子・松本信道〉	343
教育の思想	(343)
教育と社会	(343)
生涯学習概論Ⅰ〈豊田千代子〉	(343)
生涯学習概論Ⅱ〈豊田千代子〉	(343)

(2) 選択必修科目

インド仏教文化史〈休講〉	
中国仏教文化史〈永井政之〉	344
日本仏教文化史〈袴谷憲昭〉	344
禅美術〈海老根聰郎〉	345
仏教美術〈松田誠一郎〉	345
仏教民俗学〈須藤寛人〉	346
日本民俗学〈谷口貢〉	347
美術史概説〈矢野陽子〉	348
現代美術〈矢野陽子〉	348
地形学〈清水長正〉	349
第四紀学〈鈴木毅彦〉	349
考古学概説Ⅰ(日本)〈酒井清治〉	350
考古学概説Ⅱ(外国)〈飯島武次〉	350
日本文化史Ⅰ〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ〈休講〉	
日本文化史Ⅱ〈廣瀬良弘〉	351
西洋文化史Ⅱ〈休講〉	
考古学特講Ⅰ〈高浜秀〉	352
考古学特講Ⅱ〈休講〉	
考古学特講Ⅲ〈矢野和之〉	353
考古学特講Ⅳ〈休講〉	
西域美術史〈松平美和子〉	354
宗教人類学〈佐々木宏幹〉	354

V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

(1) 必修科目

※社会福祉原論〈伊藤秀一〉	357
※社会福祉原論〈船水浩行〉	358

(2) 選択科目

※法学(福祉)〈小林弘人〉	359
社会福祉発達史〈林千代〉	360
リハビリテーション論〈原田信一〉	361
※社会保障論〈船水浩行〉	362
家庭福祉論〈休講〉	
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	363
国際社会福祉論〈山本真実〉	364
保健福祉論〈長尾讓治〉	365
※公的扶助論〈伊藤秀一〉	365
※障害者福祉論〈原田信一〉	366
※老人福祉論〈東條光雅〉	367
児童福祉論〈許斐有〉	368
女性福祉論〈林千代〉	368
医療福祉論〈春見静子〉	369
※地域福祉論〈渡辺一城〉	370
※社会学(福祉)〈橋爪敏〉	370
※心理学(福祉)〈高橋良博〉	371

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する科目（必修）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教職入門（後期）	大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉	12以降入学生/教職1必	2

講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員七名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということ、まずは実感してください。

講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また11月9日、16日は、普通の講義ではなく、教職課程の履修に関するガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

成績評価の方法

レポートによる評価。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想（前 期）	豊田千代子	教職2必（禅・仏教）	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業では、人間の成長・発達を、他者や自然等に向けて自らのコミュニケーション回路を開いていく力の形成（自分と自分を取りまく世界との関係を意識し、新たな関係を編み出していく力の形成）と捉え、このような点に注目した教育の思想について検討したい。

講義の内容・授業スケジュール

自然とのかかわりのなかで育んできたネイティブ・アメリカンの生命観や世界観等に学びつつ、人間の存在を全体（すべてのものとの不可分なつながり）として捉える「ホリスティックな視点」で教育を考えるとはどういうことかを議論する。また、このような視点で取り組まれている教育実践の検討をとおして、それが今日の日本の教育状況にどのような意義をもつのかを考えよう。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	教職2必 (国・英・文・社・福・心・理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、たとえば次のようなものを検討していきます。
 - ・今日の子どもや若者の精神的ストレスや、彼らの引き起こした事件
 - ・近代の教育をより広い観点から問いなおすような子ども史や若者史、あるいは、社会史的視点を含む人間形成の歴史
 - ・近代では周辺的だった教育思想や実践

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	教職2必 <small>(地理・歴史・法A・政治)</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前 期)	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 2 必 (経 A)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のありようによって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想（前期）」と「教育と社会（後期）」の両科目を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種の資料や下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育の思想」では、主として教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭または作文）と、それを系統的・論理的に整理する作業
第2ステップ 第1ステップで整理された諸課題のうち、主として教育の理念や歴史、思想にかかわるものについて、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (商・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村純子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- ・この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後 期)	とよ 田 千 代 子	教職2必 (禅・仏教)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後 期)	きた 北 村 三 子	教職2必 (国・英・文・社・福・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・前近代的な社会と教育……原始古代・中世社会の人間形成
- ・近代社会と学校制度……近代学校制度の成立と発展
- ・近代学校の社会的機能……政治的機能・経済的機能・文化的機能
- ・近代学校制度の諸問題

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹 とう しば き	教職2必 (地理・歴史・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	村山 輝吉 むら やま てる よし	教職2必 (経A)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想(前期)」と「教育と社会(後期)」を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種資料や文献を参考にして、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育と社会」では、主として教育に関する社会的・制度的事項についての基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表(口頭または作文)と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題のうち、主として教育に関する社会的、制度的事項について、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さか ちよ のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (商・経営)	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、主自レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教職2必 (権・仏教・国文・英米文)	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお夫	教職2必 (地理・歴史・社会福祉・心理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1)子供の成長・発達の概要を理解する。
(2)教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達について、乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④児童期前期、⑤児童期後期、⑥青年期前期、⑦青年期中期、⑧青年期後期、⑨人格の発達、⑩社会性の発達、⑪問題行動、⑫学習・教育心理学、⑬教育学・教育原理、⑭学校・教育をめぐる問題点、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	うえ ぶち 上 淵	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経 A・商・法 A・政治・経営)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、従来でいえば「教育心理学」と呼ばれていたものである。そのため、学校教育に関する問題や現象について理解し、そこにいかに心理学的知識をもって関わっていく必要があるのかを、理解する。

特に、現代の教育問題が何であるのかに受講者が直面すること、またそれに対しつい偏った見方を抱きがちであることを理解してもらうことを最優先にする。その上で、様々な身近な教育問題について、受講者なりの解決策を、心理学的な知識を利用しながら考えてもらうことを狙いとする。

したがって、講師からの一方的な講義は問題に焦点をあてたり、この内容の理解の導入を容易にするのにとどめて、受講者同士でグループによるディスカッションや資料調査などを中心に行ってもらおう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション (全体の概説)
- 2 教育心理学とは (学校心理学と教育心理学) グループ編成
- 3 問題を抱える教師 1 - 子どもがわからない - (教師の教育観、学級崩壊)
- 4 問題をかかえる教師 2 - 忙しさと向き合う - (教師のバーンアウトとその対策)
- 5 問題を抱える子ども 1 (意欲の減退、他人との関わり、ひきこもり)
- 6 問題を抱える子ども 2 (学習観や認知方略の指導等、学習相談)
- 7 みとりとまなごし (評価、学力の問題)
- 8 意思決定と判断のあやまり (教育活動の判断の偏り)
- 9 発達に応じた関わりをするには？

以上のような内容について講義をするが、それぞれの問題について、グループでの話し合いの時間を十分にとる。

履修上の留意点

単に受け身で講義を聴くような態度では、単位取得は難しいだろう。
当然だが、講義中の私語はマナー違反である。いつまでも平気で私語をするような学生には、即座に退室してもらおう。

成績評価の方法

学期末に提出するレポートによる。具体的な評定の仕方については、初回の講義で述べる。

教科書

無藤隆・市川伸一 (編著)『学校教育の心理学』(学文社)

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式で行うが、ビデオ・OHP等を併用する。また、グループによるディスカッションや、資料調べなども行う。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 野 ぜん じ 司	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経A・商・法A・政治・経営	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に對して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。

講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の2つを中心テーマとして進めます。

- ①発達：人間の生涯にわたる発達について
- ②教授－学習：生徒の学習について、および学習に対する教授過程について

履修上の留意点

自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨んでください。出席回数が一定基準に達しない場合には、単位を付与しません。

成績評価の方法

平常点(出席および課題の提出状況)2割、学期末テスト3割、学期末レポート5割の配点で、評価する予定です。

教 科 書

指定しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参 考 書 等

子安増生ほか『ベーシック現代心理学6 教育心理学』(有斐閣)
この他、講義の進行に合わせ、適時紹介します。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と メ デ ィ ア (前 期) (後 期)	お 倉 やす よし 小 倉 康 仁	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英米文) 地理・歴史・社会・福祉・心理	2

※経 B・法 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ここ十年あまりの間に、コンピュータ関連技術のめざましい進歩と同時に、我々とコンピュータとの係わり合いの在り方が以前と比べて様変わりしてきている。かつてルーティンワークの省力化・効率化の手段として我々の社会に導入されたコンピュータは、今や個人の表現・創造活動や問題解決思考のツール（道具）として不可欠のものとなっている。しかもそれらの活動を行うための単なる道具的手段に止まるものではなく、我々がそれらの活動を通じてこの世界に参加していく（世界と相互作用する）際のメディア（媒介物・媒体）としての役割を果たしていると言える。とくに最近では、個人と個人の間を取り持ち人間のネットワークを支える「コミュニケーションのメディア、コラボレーション（協働作業）のメディアとしてのコンピュータ」という位置づけが重要視されるようになってきている。

このようなコンピュータの利用形態と社会的位置づけの変化を背景として、教育分野におけるコンピュータ活用形態も大幅に変化してきている。そこでこの授業のねらいは、次の三つとする。

1. 「メディアとしてのコンピュータ」という切り口で、教育分野におけるコンピュータの活用方法について、教育学（教育方法論）の視点から理論的に考察する。
2. 問題解決思考のツール（メディア）としてコンピュータを利用してみる。
3. コミュニケーションやコラボレーションのメディアとしてコンピュータを利用してみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせて授業を進める。講義部分の授業内容は、上述のねらい1. としてあげた事柄が主体となる。実習部分の授業内容は、上述のねらい2. と3. としてあげたものが相当し、具体的には以下の事項を予定している。（なお実習授業の進行速度は、パソコン初心者でも付いて来られるように配慮するつもりである。）

パソコン（Macintosh）の基本操作
表計算ソフト EXCEL によるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション
WWW ブラウザによるホームページ閲覧
インターネット（WWW）上での情報検索・収集
インターネット上での電子メールによるやりとり
コンピュータネットワーク上での協働作業体験

履修上の留意点

履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン白習室の利用者登録をすること（提出用の課題作成等のために必要になる）。

成績評価の方法

平常点（出席、学習態度、提出物など）と期末試験（ペーパーテスト）との総合点によって、成績評価を行なう。

教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

そ の 他

授業で使用するパソコンは、Macintosh のみを用いる。
教室のパソコン（Mac）の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	いし ばし たつ や 石 橋 達 也	教 職 2 必 (<small>神・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会 福祉・心理・経A・商・法A・政治・経営</small>)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育/学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な技法や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の問題点や注意点についても検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。
1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、まじめに出席することと積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教 科 書

次のものを使用する予定です。
今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学 ― 教育の方法と技術の革新 ―』（福村出版）1988 定価：本体2,400円＋税

参 考 書 等

参考文献や関連する資料などは、必要に応じてそのつと授業の中で紹介あるいは配布していく予定です。

そ の 他

授業の中で、コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも興味があれば安心して出席できます。
教室のパソコン（Mac）の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部（昼間）の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と メ デ ィ ア (前 期) (後 期)	しば ざき じゆん じ 芝 崎 順 司	教 職 2 必 (特・仙教・国文・英米文・地理・歴史・社会) (福祉・心理・経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、マルチメディア・ネットワーク時代の学校教育・社会教育等教育活動の担い手として、さらには、生涯学習者として、必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について検討することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 メディアの歴史を概観し、現状、および将来の展望について検討する。
- 2 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
- 3 マルチメディア・ネットワークに対応する各種のリテラシーについて、主として、欧米の先行的事例を紹介し、かつ、検討する。
- 4 マルチメディア・ネットワークワークリテラシープログラムを具体的に体験し、自己の情報リテラシーを高めるとともに、その目的や方法論について検討する。

履修上の留意点

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。

成績評価の方法

出席重視。評価は小レポートと最終レポートを総合的に評価しておこなう。

教 科 書

授業中に紹介する。

参 考 書 等

必要に応じて、授業中に紹介する。

そ の 他

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を中心とする。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)	かとう ゆきお 加藤 幸夫	教職2・3必 (禅・仏教・国文・英文)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間(子ども)はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 道徳および道徳教育の本質
- II 現代社会と道徳教育
- III 戦前・戦後における道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学習指導要領と道徳教育
- VI 道徳の時間における道徳教育
- VII 道徳教育の評価
- VIII 道徳教育の課題と展望

履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を想い起こし、整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教科書

中野目直明・小川一郎編『新しい道徳教育』(酒井書店・育英堂) 1,995円

参考書等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』(北樹出版)

その他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 (前 期)	お 小 川 一 郎 が わ い ち ろ う	教 職 2 ・ 3 必 <small>(地理・歴史・社会・福祉・心理・経営)</small>	2

※経B・法B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育は、人格の完成を目指す教育の根幹をなすものである。道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものであるが、小・中学校には、その中核として「道徳の時間」が設置され、学級担任が担当することになっている。

この「道徳の時間」を指導することができることを目指して、授業案を作成したり、模擬授業など実施し、実践的指導力を身につけさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①道徳教育の目的と意義
- ②戦前の道徳教育の特色
- ③戦後の道徳教育の特色、道徳の時間の設置の意味
- ④学習指導要領と道徳教育
- ⑤道徳性と道徳的実践力
- ⑥道徳の時間の内容と方法
- ⑦学習指導案の作成
- ⑧模擬授業の実施
- ⑨道徳の授業展開の問題点
- ⑩道徳教育と教師の役割

履修上の留意点

単なる知識の習得でなく、実践的指導力をつけることを目指しているので、授業に出席して、指導力を身につけるようにする。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『新しい道徳教育』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)	つるまき 鶴巻	たけし 武	教職2・3必 (経A・商・法A・政治)
			2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の学校教育では、一人ひとりの生徒が夢や目標をもち、自らの人生や社会を切り開くことのできる豊かでたくましい心を育てるための道徳教育の一層の充実発展が求められている。この時間では、教育課程の一領域として位置づけられている「道徳」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、新学習指導要領に示された改善の趣旨に基づいて教師としての実践的な指導力を身につけるため道徳の時間の指導計画（道徳の学習指導案）について、実際に立案し、具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・ 授業スケジュール

①今求められる心の教育 ②道徳教育の目標と道徳の時間の役割 ③道徳の時間の指導内容
④生徒の道徳性をどうとらえるか ⑤道徳教育と学級経営の充実 ⑥生命を尊重する心を育てる指導の在り方 ⑦社会のルールを守る心を育てる指導の在り方 ⑧道徳の時間の学習指導案の書き方 ⑨道徳の時間の資料と活用の工夫 ⑩道徳の時間の資料分析の仕方 ⑪道徳の学習指導案を書く ⑫道徳と体験的な活動 ⑬教師の指導技術をどう高めるか

履修上の留意点

文献に基づく道徳教育に関する研究だけでなく、道徳の具体的な指導の内容や方法について理解し、実際に指導できる能力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』（大蔵省印刷局）260円

参考書等

七條正典編著『改訂 中学校学習指導要領の展開』（明治図書）1,480円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (後期)	かとうゆきお 加藤幸夫	教職2・3必 (禅・仏教・国文・英米文)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

登校拒否やいじめ・非行など学校の内外を取り巻く諸問題が社会的問題となりつつある今日、児童・生徒の自主的・実践的態度を育成することを主なねらいとする特別活動が、現代の学校教育において果たすべき役割は誠に重要である。

教育現場において、これまで開発・展開されてきた特別活動の指導原理及びその方法について分析かつ考察し、特別活動の現代的意義と課題を明確にすることが本講の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|----------------|------------------|
| I 学校教育の構造と特別活動 | VI 児童会・生徒会活動の指導 |
| II 特別活動の歴史の変遷 | VII クラブ活動・部活動の指導 |
| III 特別活動の特質と内容 | VIII 学校行事の意義と課題 |
| IV 学級活動 | IX 特別活動の評価 |
| V ホームルーム活動 | X 特別活動の課題と展望 |

履修上の留意点

小・中・高校時代に受けた特別活動の内容を整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教科書

柴田義松 編『特別活動』教職課程講座・第6巻(ぎょうせい)

参考書等

中野目直明・小川一郎 編『現代の特別活動』(酒井書店・育英堂)

その他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (後 期)	小 川 一 郎 <small>おがわ いちろう</small>	教職2・3必 <small>(地理・歴史・社会・福祉・心身・保健)</small>	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は大きい。特に、青少年の社会性の欠如が言われている現代では、望ましい集団活動を通じて人間形成を図る特別活動の重要性は増大している。
すべての教員が学級活動（ホームルーム活動）を中心に特別活動を指導することになるので、その実践的指導力をつけることがねらいとなる。

講義の内容・
授業スケジュール

①特別活動の意義・目的 ②特別活動の方法的特質 ③特別活動の歴史の変遷 ④特別活動の内容 ⑤特別活動の指導計画と実践 ⑥特別活動と新しい学力観 ⑦特別活動と総合的な学習の時間 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と道徳教育 ⑩特別活動と進路指導 ⑪特別活動と地域との連携 ⑫特別活動と人間形成

履修上の留意点

単なる知識の記憶でなく、実践的指導力を身につけることをねらいとしているので、出席して、意見・疑問等を出すことを希望する。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野日直明編著『現代の特別活動』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

そ の 他

講義を主に、随時討議などを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (後期)	つる 鶴 <small>まさ</small> 巻 <small>たけし</small> 武	教職2・3必 (経A・商・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在、教師には生徒の心身の健全な発達を図り、当面する課題に適切な指導や援助をする実践的な指導力が求められている。この時間で学ぶ「特別活動」は、集団活動を通じた教育活動により、集団や社会の一員としての自覚を深め、生徒の個性の伸張と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級や学校生活の基盤の形成に重要な役割を果たしている。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。中でも、実践的な面を重視し特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導方法などについての具体的な研究を通して、教師としての実践的な指導力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

①生きる力の育成と特別活動の役割 ②特別活動の目標と基本的な性格 ③学級活動の内容相互の関連 ④学級活動の指導と適応指導 ⑤学級活動の指導とガイダンスの機能の充実 ⑥生徒会活動の特質とその活性化 ⑦学校行事の特質と指導、家庭・地域との連携の推進 ⑧生徒指導の充実と教育相談 ⑨特別活動と学級経営の充実 ⑩特別活動と総合的な学習との関連 ⑪特別活動と体験活動 ⑫学級崩壊の現象とその対応 ⑬特別活動と特色ある学校づくり

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特に特別活動の具体的な実践にかかわる指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践的な指導力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領 解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『改訂中学校学習指導要領の展開－特別活動編－』（明治図書）1,680円

その他

講義、毎時間の内容に則した小レポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こみやま 小宮山 要	教職2・3必 (禅・仏教・国文・英米文)	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在の学校現場には、「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」「非行」等さまざまな問題が発生している。本講義ではこれらの問題を正しく理解し、適切に対応できる教師としての基礎的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では生徒のいじめ問題に焦点を当てながら、生徒理解と生徒指導の方法を下記のような流れに従って具体的に学習する。

- 1 生徒指導の意義と課題
- 2 生徒指導の原理
- 3 生徒の問題行動の実態
- 4 行動理解のための基礎理論・心の法則
- 5 生徒の問題行動の発現メカニズムとその理解
- 6 生徒の問題行動への対応
- 7 学校・家庭・関係機関との連携

履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

教 科 書

小宮山要『間違いだらけのいじめ指導』（明治図書）1,760円

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こく がん まり こ 国 眼 真理子	教職2・3必 <small>国文・英大・物理・化学・社会・福祉・心理</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は「青年期」理解を深めるとともに、心理学の基礎的な視点を習得する。

1. 「青年期」と、その心理的な課題（アイデンティティ形成）
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己の発達と対人関係（親子関係、友人関係、教師生徒の関係他）

後半は、前半で学んだ基礎知識をもとに、進路指導や教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える。

5. 進路選択と職業的アイデンティティの形成
6. サポーターとしての教師の役割
7. コミュニケーション（非言語的なコミュニケーション）

成績評価の方法

指定図書の中から、2冊を選び、論題に沿ったレポートを提出。

講義終了時にレポートもしくは試験を実施（受講者数による）

レポート各30点（60%）、定期試験30%、出席点10%で成績を認定する。

但し、レポート提出、定期試験受験を成績認定の条件とし、未提出者および試験を受験しなかった者は成績を認定しない。

教 科 書

今年度は特に使用しない。適宜授業中に資料を配布。

参 考 書 等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える（上）』（創元社）1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』（創元社）1988
- ③ 清水将之『思春期のころ』（日本放送出版会）1996

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	佐 藤 尚 人 <small>さとう なおと</small>	教職2・3必 <small>(地理・歴史・社会・福祉・心理)</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにいくよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会が多い「いじめ」「不登校」「非行」などについて、そのような問題行動を示す子どものころのありようの理解や対応の仕方、さらには問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解「非行」
- 10 X こころの病・不応「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、授業中に質問や意見などを積極的に表現することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう。(さまざまな事情があっても特別扱いはしない。)

成績評価の方法

原則として定期的筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教科書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参考書等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) 2,200円

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	えん どう 遠 藤 つかさ 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	かわ はら せい し 川 原 誠 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒指導に関して必要なことは何かということ、[生徒指導という言葉の響きと現実との差][教師としてのあり方と現在の自分との差][生徒指導に関しての具体的理論]といった観点から検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容やスケジュールについては、受講者の数や受講者の動機などによって変わりますので、その状況を把握した上で、受講生に伝えます。

履修上の留意点

どのような学生がどの程度の人数受講するののかということを、私は最初の講義時間に把握したいと考えていますので、受講を希望する学生はそのつもりで行動してください。

成績評価の方法

受講人数や受講態度によって変わりますので、講義を進めていく中で受講生に伝えます。

教科書

講義を進めていく中で、必要なものを適宜紹介していきますので、その際に自ら購入していくようにしてください。

そ の 他

授業の一部では、生徒指導・学級経営に関する英語の文献をグループで要約して発表してもらうことを予定しています。
この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ 山 やま かず のり 乗	教 職 3 必 (禅・仏教)	4

講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。
教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。

特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。

我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。

その上で、「宗教の定義集」への着目をし、『「宗教に関する寛容の態度」の涵養』への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。

宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらう。

模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点により評価する。特に出席を尊重する。

教 科 書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円

『仏教概論——分かりやすい仏教——』(曹洞宗宗務庁)800円

小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円

参 考 書 等

井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円

『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』(大法輪閣)1,600円

『教育小六法』(学陽書房)2,200円

その他適宜紹介する。

そ の 他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。

プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 科 教 育 法	かみ 神 や みち 道 のり 倫	教 職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・
授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のものの提出と、実際の教材による模擬授業の形式(グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加)で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。(なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。)

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教 科 書

全国大学国語教育学会編 新中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)
1,300円+消費税

参 考 書 等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 科 教 育 法	な 那 す たか 隆 よし 吉	教 職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教 科 書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書)
990円

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 科 教 育 法	あら い よし お 雄 荒 井 良 雄	教 職 3 必 (英 米 文)	4

講義のねらい

英語科教育法の理論と実践を、教授法の実践面を重視しつつ、授業計画、授業の展開、評価などを中心に実習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 主な英語教授法
2. 言語材料と指導
3. 「聞き方」の指導法
4. 「話し方」の指導法
5. 「読み方」の指導法
6. 「書き方」の指導法
7. 指導案のあり方
8. 指導形態の研究
9. 評価とテストの方法
10. 視聴覚器具の利用法

履修上の留意点

中学校や高等学校の教壇に立って教える立場になることを常に念頭において、英検準1級、TOEFL600点前後を取得していることが望ましい。中学生や高校生で2級はもとより準1級取得者もいることを忘れないように。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期、後期、学年末試験の成績を総合して判定する。

教 科 書

塩澤利雄ほか著『新英語科教育の展開』（英潮社）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 科 教 育 法 I (後 期)	く ぼ た たけし 久 保 田 武	教 職 3 必	2

講義のねらい

中学校社会科、高校地理歴史科・公民科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回教授者による社会科各分野（地理、歴史、公民）の授業事例を通じて、生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。

講義（教授者による授業例）と関連事項の質疑応答・実習・課題作成等。学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容に関連して、まとめ、コメント、実習内容等の提出を求め出欠調査を兼ねる。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の際そのつど紹介する。但し関連する教科書、地図帳、年表、資料、文部省学習指導要領等はこの際揃えた方がよい。特に地図帳、年表、統計資料は初回から持参した方がよい。

そ の 他

毎回授業時間の前半は講義。後半に視聴覚学習、作業、実習課題作成を入れるのを原則とする。OHP、スライド、ビデオ、写真等の視聴覚教材を多用し、講義内容の理解と機材利用法習得を図る。

地歴教育法Iとの併習が基礎的知識修得のために望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	くぼた たいし 久保田 武	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高校地歴科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得
教科の目標（存在理由）と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・
授業スケジュール

- ◆講義の内容
毎回教授者による地理および歴史の授業事例を通じて生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。社会科教育法と合わせて内容を一本化する。
生徒の学力評価法、生徒による教授者評価を利用する自己評価法
教育現場での体験談から具体的な学習指導法へのヒントを示す。
- ◆授業スケジュール
講義（教授者による授業例）と、関連事項の質疑・実習・課題作成等
学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求める（出欠調査に代える）。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）と実績（発表等）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の時にそのつと紹介する。但し、地理、歴史、社会科教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料、文部省学習指導要領（地歴編、社会編）等は、この際揃えたほうがよい。とりあえず地図帳、年表と統計資料は初回から持参した方がよい。

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は視聴覚学習、質疑、作業、実習を原則とする。
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を多用し講義内容の理解と機材の利用法を示す。
社会科教育法Ⅰと併習することが基礎的知識習得のために望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学教育法Ⅰ (後期)	さくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

講義のねらい	中学校社会科の方法について、地理分野を例に概説する。
講義の内容・ 授業スケジュール	おおよその内容は、以下の通りである。 ④指導案の作成 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事
履修上の留意点	個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については厳しく取り扱う。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。 中学校社会科のうち、地理分野を中心題材とするので注意すること。 なお、授業計画上、前期の地理歴史科教育法Ⅰ(地理A、地理Bを中心課題とする)とセットとして授業計画を組むので注意すること。後期のみ受講するものは、後期の最初に模擬授業の準備のための宿題を課すので講義の第1日目には必ず出席のこと。それが不可能な場合には、事前に桜井まで申し出ること。
成績評価の方法	出欠、授業・討論への参加、模擬授業の成果など 70点 レポート 10点 期末試験 20点
教科書	桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院)3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	さくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理A、Bを概説する。
講義の内容・ 授業スケジュール	おおよその内容は、以下の通りである。 ①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫 ④指導案の作成
履修上の留意点	各自マイクロティーチングを試みるなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については、厳重に注意すること。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。なお、地理歴史科の科目・地理A、Bを中心題材とするので注意すること。 なお、授業計画上、後期の中学校社会科教育法Ⅰとはセットとして授業を組むつもりであるので注意すること。
成績評価の方法	出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチングなど 70点 レポート 10点 期末試験 20点
教科書	桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院)3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (後期)	ふじ 藤 木 き まさ くに 正 国	教職3必	2

講義のねらい

中学校社会科(特に歴史的分野)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②社会科成立の事情と学習指導要領の変遷
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をまじり努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参 考 書 等

文部省学習指導要領(中学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	ふじ 藤 木 き まさ くに 正 国	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高等学校地歴科(特に日本史)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②学習指導要領の変遷と地歴科成立のいきさつ
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をまじり努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

教 科 書

文部省学習指導要領(高等学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後 期)	はし 橋 つめ 爪 さとし 敏	教 職 3 必	2

講義のねらい

この授業は、中学校社会科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、社会科教育法に関する文献購読（下記テキスト）を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教 科 書

社会認識教育学会編『社会科教育学ハンドブック』（明治図書）

参 考 書 等

適宜、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公民科教育法Ⅰ (前 期)	はし 橋 つめ 爪 さとし 敏	教 職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献購読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教 科 書

使用するが、未定。

参 考 書 等

適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後 期)	や 谷 敷 正 光 しき ただ みつ	教 職 3 必	2

講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 中学校社会科学習指導要領の変遷
4. 中学校の教育課程と社会科
5. 中学校社会科の学習指導計画
6. 中学校社会科学習指導案の意義と作成
7. ビデオによる社会科教師の授業研究
8. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
9. 平成10年12月告示の中学校学習指導要領と社会科
10. 教育評価
11. 社会科教育実習の意義
12. 社会科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導します。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』(梓出版)

参 考 書 等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。
- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
 - ②槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
 - ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
 - ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
 - ⑤浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
 - ⑥中学校社会科(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)の教科書
 - ⑦文部省『中学校学習指導要領』、文部省『中学校指導書』(大阪書籍)

科目名	担当者名	配当学科	単位
公民科教育法Ⅰ (前期)	やしきただみつ 谷 敷 正 光	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のため方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 高等学校社会科（公民科）学習指導要領の変遷
4. 高等学校の教育課程と公民科
5. 高等学校公民科の学習指導計画
6. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
7. 4年生による模範授業
8. 模範授業を通じての高等学校公民科の授業実践研究
9. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
10. 平成11年3月告示の高等学校学習指導要領と公民科
11. 教育評価
12. 公民科教師論
13. 公民科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教科書

大森・谷敷共著『社会化教育研究』（梓出版）

参考書等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。
- ① 大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
 - ② 槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
 - ③ 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
 - ④ 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
 - ⑤ 福山憲市『資料提示の技術』（明治図書）
 - ⑥ 高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
 - ⑦ 文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後 期)	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	教 職 3 必	2

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。社会科には中学校の社会に関する科目がすべて含まれるので、その範囲は非常に広く、かつ多岐にわたる。社会科は社会人として必要な知識と社会的適応力を育成することが目的である。そのため、教える側にそれ相応の知識と方法論が必要になる。それらについての基本的事項について講義するのが、本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学校教育における社会科の位置づけ
2. 発達心理学的にみた中学生
 - (1) 社会化と家庭および学校の責任
 - (2) 発達に応じた教育のあり方
3. 民主主義教育のあり方
 - (1) 自由と平等の意味と両者の矛盾
 - (2) 多数決の原理と集団意思の決定方法
 - (3) 権利と義務のバランス
 - (4) 参加と責任のあり方
4. 歴史教育のあり方
 - (1) 「温故知新」とその評価
 - (2) 実証主義と客観性
5. 地理教育のあり方
 - (1) 地方文化とその特性比較
 - (2) 国際的基礎知識としての地理学
6. 表現と伝達の心理学
 - (1) 言語の性格と表現方法
 - (2) 文字による表現とリテラシー
 - (3) 数字の魔術性と図表の扱い方
 - (4) 単純化と拡大化の効果

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教 科 書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公民科教育法 I (前期)	かみ しょう すえ お 上 條 末 夫	教職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。公民科は高等学校の社会に関する科目のうちから、地理と歴史の科目を除いたものが、これに該当する。したがって、政治・経済・社会・倫理などにわたった、かなり専門的な知識を必要とする。その基礎的な知識と教育の方法論について講義することが、本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 高校における公民科の位置づけ
2. 政治教育のあり方
 - (1) 政治的社会化の過程における学校の役割
 - (2) マス・メディアによる報道の影響とその対応
 - (3) 国民主権と国民の政治的責任の自覚
 - (4) 日本と諸外国との比較
3. 経済教育のあり方
 - (1) 資本主義と民主主義の関係
 - (2) 社会主義経済と共産主義経済の相違
 - (3) 市場経済と競争の原理
 - (4) 経済水準と社会の安定度との関係
4. 社会教育のあり方
 - (1) 少子化と高齢化時代の福祉政策
 - (2) 労働の流動化とグローバル経済
 - (3) 環境問題と科学技術の発達
 - (4) 情報化とモバイル時代の社会問題
5. 双方向的教育のあり方
 - (1) コンピュータ・リテラシーの重要性
 - (2) 受信と発信（創造と表現）の必要性
 - (3) アジェンダ形式と討論形式の授業
 - (4) 時事問題と映像教育のあり方

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	谷 敷 正 光	教 職 3 必 (経A・商・経営)	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来の意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本経済の発展と専門教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。
- ② 定期試験、追再試は実施せず。

教 科 書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

参 考 書 等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。
- ①大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
 - ②産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
 - ③毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
 - ④岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
 - ⑤新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
 - ⑥高等学校商業科の教科書(「流通経済」など)
 - ⑦文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	前田 幸一	教職3必 (経A・商)	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
 - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
 - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。再試験はしません。

教科書

『中学校学習指導要領』(文部省平成元年3月)。他については授業の際指示します。

参考書等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

その他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	豊田 千代子	教職4必(特・仏教・社会・福祉・心理)	3
教育実習Ⅱ		1以降入学生教職4必(特・仏教・社会・福祉・心理)	5

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 事前指導 — ・実習の心がまえ
・生徒指導について
・教科指導について
・指導案作成
・模擬授業
- 訪問指導 — ・研究授業訪問指導
- 事後指導 — ・授業実習の検討

成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	さか もとの 坂 本 信 昭	教職4必(国文・歴史・法・政治・経営)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(国文・歴史・法・政治・経営)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。
教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、デスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か-どうあるべきか-について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①~④について重視する場合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	むら やま てる 村 山 輝 吉	教職4必(英米文)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(英米文)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとり組み、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。
○教育実習の意義と心がまえ
○学習指導について
○生徒指導について
○学校と教師に関する諸問題
実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	きたむらみつこ 北村三子	教職4必(地理・経A・商)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(地理・経A・商)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	いとうしげき 伊藤茂樹	教職4必(歴史)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(歴史)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書・参考書等

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

(2) 教職に関する科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわ あきら 広 沢 明	教職2選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育評価	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

成績評価の方法

平常点による。

参考書等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 哲 学	きたむらみつこ 北 村 三 子	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、近代社会の矛盾が様々な形で人間の生活を脅かしており、その中で、かつての人々が当然のこととしてあてにできた子育ての社会的、自然的基盤も揺るがされている。この混迷の時代に、私たちはどのようなありかたに向けて、またいかにして、次の世代を育み、支えてゆくことができるのだろうか。この授業では、生命とは何か、また、生命的な知とは何かを学ぶことを通して、そうしたことを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような文献を検討していく。

- ・ G・ベイトソン『精神と自然』（思索社）
 - ・ M・ボラニー『暗黙知の次元 言語から非言語へ』（紀伊國屋書店）
 - ・ 佐々木正人『アフォーダンス — 新しい認知の理論』（岩波書店）
 - ・ 清水博『生命知としての場の理論』（中公新書）
- 文献とその進め方は、受講者と相談の上、最終的に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 情 報 学	お ぐら やす よし 小 倉 康 仁	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業のねらいは、次の三つである。

1. 我々の社会におけるコンピュータの役割・位置づけの歴史の変遷について概観し、コンピュータと我々の社会との係わり合いの在り方について考察する。
2. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態の変化について教育学の視点から理論的に考察し、コンピュータの教育的活用とは何かを探る。
3. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、教育現場で必要とされる実際的なコンピュータ（パソコン）活用能力とセンスを育成する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。前期の授業内容としては、以下のものを予定している。

コンピュータの基礎知識（講義）、情報理論の基礎知識（講義）、パソコンの基本操作（実習）、コンピュータの社会的役割の変遷（講義）、ワープロソフトの基本操作（実習）、表計算ソフトの基本操作（実習）、インターネットの基礎知識（講義）、初歩的なネットサーフィン（実習）

後期の授業内容としては、以下のものを予定している。

教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理（講義）、コンピュータの教育的活用とは？（講義）、教育用ソフトウェアの選択・活用方法について（講義と実習）、コンピュータネットワーク（LAN、パソコン通信、インターネットなど）と教育（講義）、インターネット（WWW）上での情報検索の方法（実習）、HTMLによるホームページ作成方法（実習）、画像データの加工処理方法（実習）

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する。履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン自習室の利用者登録をすること（提出用の課題作成等のために必要になる）。

成績評価の方法

平常点（出欠、学習態度）、小テスト（ペーパーテスト）、提出物（レポート、課題作品）の総合点によって成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

そ の 他

授業で使用するパソコンは Macintosh のみを用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 心 理 学	む た たか お 牟 田 隆 郎	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教 科 書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 社 会 学	くまがいかずのり 熊 谷 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は、人と人との関係を基本とする多様で複雑な社会的関係の組み合わせのなかで行われている。教育社会学は、人間の成長と教育をめぐって生ずる社会的関係について研究し、望ましい人間形成をめざして、その関係の改善、充実をめざす学問である。講義は、教育に関する具体的な事例を検討することにより、教育をめぐって形成される社会的関係がどのようなものであるかを明らかにし、望ましい教育のためにどのように社会的関係を整え、充実させたらよいかという課題に対して示唆を与えることをねらいとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、次の四つの領域に分けて行われる。
 (1)社会的変化のなかの教育問題と子供（4～5月）＝①教育問題の発生と近代社会②現代社会における教師と児童生徒間の不適合③現代における社会的環境の変化と子供の発達をめぐる問題④市場化と情報化のなかの文化と教育⑤社会性不全症候群の問題と教師の悩み⑥社会性と学力低下の問題。
 (2)人間の発達と集団（6～7月）＝①文化的共同存在としての人間と社会化の重要性②集団の教育力と人間形成③家族の性質と教育機能④家族構成の変化と家庭教育の危機。
 (3)教育の社会的条件（9～11月）＝①社会システムとしての教育の構造と機能②政治のインパクトと教育③現代国家におけるナショナリズムと教育④教育の条件としての経済⑤経済成長と教育－戦後日本の事例を中心に⑥地域社会と教育⑦人口構造と教育⑧現代社会のイデオロギーと教育。
 (4)社会としての学校（12～1月）＝①学校化された社会②社会としての学校の機能と構造③学校と人間のライフサイクル④競争社会としての学校－学校選択⑤学校改革の動向。

成績評価の方法

定期試験の成績による。

教科書・
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 史	やまもととしこ 山 本 敏 子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の私たちに自明な〈教育〉というものは、西洋近代の産物である。日本において、〈教育〉なるものの観念や関係、制度は、かつての人間形成のあり方の何を解体しつつ、いつどのように創出されてきたものなのか。そこには、いかなる矛盾や困難が内在していたのか。こうした問題を、人間形成の歴史という長期の時間の流れの中で考察し、近現代日本の教育および教育学を相対化する視座や方法を培っていききたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の近世から近代への教育史実を中心に、取り上げたい主なトピックスは以下の通りである。前期は講義中心に授業を進め、後期はゼミ形式で文献を読む予定。

- ①教育基礎論としての教育史の方法と課題
- ②〈教育〉のない社会の子供と大人
- ③日本の民俗社会における人間形成の諸相
- ④江戸時代にみる新しい〈教育〉意識誕生
- ⑤学校の発生と近代公教育制度の成立
- ⑥クラス、一斉教授法の発明
- ⑦専門職としての教師の登場
- ⑧子供期・青年期の創出
- ⑨教師中心主義と子供中心主義との相克
- ⑩家族と学校との関係 など。

履修上の留意点

歴史的アプローチを主とする教育基礎論の授業であるが、たえず現代の子供・若者の置かれている社会状況や教育問題に関心をもって授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

授業内の小レポート・発表、期末レポート。

教 科 書

特に用いない。随時、参考文献を紹介し、基本的史料はプリントして配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 調 査	すずき のりお 鈴 木 規 夫	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 教 育	か がわ よし しげ 香 川 良 成	11以前入学生/教職2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』Ⅰ総論

そ の 他

現在行われている演劇教育（「劇あそび」その他）の模様や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するということも行いたいと思っています。

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	12以降入学生/教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会の政治的・経済的変化にともなう問題と教育の在り方との関係を現代史における具体的な事例をとおして検討し、今後の教育のめざすべき方向を展望することをねらいとして、「戦後日本社会の変容と教育の展開」をテーマに授業を行う。教育社会学と教育政策学の研究をふまえてグローバル化と情報化が進展するなかでの社会の諸問題と教育の動向との関係を分析する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、次の三つの領域に分けて行われる。

(1)終戦にともなう政治的・経済的変化と教育改革(9～10月)＝この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①対日軍事占領と教育の状況②政治・経済改革と教育改革(第一次米国教育使節団報告書の検討)③民主化・自由化と最初の学習指導要領。

(2)東西冷戦の激化と教育基本法体制の動揺(10～11月)＝この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①東西冷戦の激化にともなうナショナリズムの強調と教育②経済成長への願望－財界の教育要求と戦後教育改革の見直し③55年体制の形成と教育をめぐる路線対立の激化。

(3)高度経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”(11～1月)＝この領域で扱われる事項は次のとおりである。①国家目標としての高度経済成長と教育における能力主義の強調②マンパワーの育成とカリキュラム改革③経済合理主義の浸透と教育における組織の合理的再編－多様化と管理強化④経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”の模索⑤社会的変化の激しさと生涯教育－学習の推進。

履修上の留意点

教育に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中の青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況と定期試験

教科書

氏原寛・東山紘久編『発達とカウンセリング』
別冊『発達』第18巻（ミネルヴァ書房）2,500円

参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（檢出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こやま かず のり 小 山 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しきは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえある。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell(告げる)とteach(教える)との差異、(religious education)と(education about religion)との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共存社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円

参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年
 土持ゲーリー法一著『米国教育使節団の研究』(玉川大学出版部)9,785円
 井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円
 杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐって』(日本評論社)
 小中高各『学習指導要領』各230円 250円 370円
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣)1,600円
 参考図書→KYOUKO INOUE. 1991. MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION (THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS)

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	豊田千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.324) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	豊田千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.325) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視聴覚教育	飯森彬彦	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.339) 参照

教職・資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	村山輝吉	11以前入学生/教職2・3・4選	4

(P.327) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	山田節子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.317) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.317) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.318) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.318) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.319) 参照

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	末木 恭彦	教職教科	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を購入する。購読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。

参考書等

適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	矢野陽子	教職教科	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1900円

その他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民間信仰論	谷口 貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池 とみ子	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論をとりあげる。次に前期は主として民族・国家の観点から、後期は経済発展と地域の変貌の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概説	たかぎまさひろ 高木正博	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。
近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・授業スケジュール

次の諸点について講ずる。
1) 水循環・水収支など水文学の基礎について
2) 河川や地下水の水量・水質などの特性と地域とのかかわりについて
3) 河川地形と水災害について
4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて
地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水』（東海大学出版会）
その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概説	はやふねげんほう 早船元峰	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して共に考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を、歴史的観点をふまえて、主に環境地誌学的立場から論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・関東平野の地形発達史
- ・北海道本部の気候地形
- ・北海道美瑛町・富良野市における傾斜地の土地利用の変化と環境保全
- ・大気温・湖水温の垂直分布の季節的変化と人間とのかかわり
- ・その他

履修上の留意点

国土地理院の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（土地利用図・帯状平行投影地形断面図・切峰面図など）をして理解をより一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレス紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各人用意すること。

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テスト出席状況などによる平常点。

参考書等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもと とよかず 川 元 豊 和	教 職 教 科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・
授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

臼田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	くぼた 久保田 たけし 武	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解
高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得と文献紹介
暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・
授業スケジュール

- ◆講義の内容
世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・政治・経済・社会・文化・課題等）。大地域は世界中を一通り学習。中小地域と国は範例学習的に選択
教授者による毎回の授業、情報源になる資料紹介、その他
- ◆授業スケジュール
前期は東アジアに始まり
後期はオセアニアで終る。日本の地域を1回取り上げる。

履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め
出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価。
出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この際揃えた方がよい。とりえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参した方がよい。

そ の 他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする。
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	藤島範孝	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れてきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。
講義の内容・授業スケジュール	アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。
履修上の留意点	各種の地図を利用するので、描写及び着色することがある。作図できるようにしておく。国境及首都等は構造として把握する。
成績評価の方法	最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。
教科書	大藪友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円
参考書等	浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円 泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業出版社）1,300円 アンドリュース・ボイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円
その他	講義、作図。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	遠藤ひろあき	教職教科	4

講義のねらい	中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。 中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげているから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。
成績評価の方法	成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。
教科書・参考書等	教科書・参考書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートをとり、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末試験

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	黒田基樹 <small>くろだもとき</small>	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

歴史学という学問は、過去の社会を正確に認識するとともに、現代社会をどのように把握するか、ということを追究するものである。そのため、過去の日本社会を題材としつつも、常に現代の日本社会との対話を意識し、歴史を「考える」という観点を重視していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本史を通時的に概観するのではなく、主として平安時代末期から江戸時代初期を対象として、個々のテーマを設定し、検討する。

成績評価の方法

学年末に試験をおこない、出席数と試験の結果を総合して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業のなかで随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	小松寿治 <small>こまつとしはる</small>	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会科教員として最低限の日本史に関する知識をつけてもらえればと思います。したがって高校時代に日本史の経験がなくても問題はありません。

講義の内容・授業スケジュール

講義は日本史全般を話すつもりですが、武士の時代が中心になります。板書を多くしますのでノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

成績の評価は試験で行いますが、出席を重視しますので、より多く出席することを望みます。

教科書

教科書等は設定しませんが、参考図書については、必要に応じて話しますが、強制するものではありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	井 村 行 子 <small>むら ゆき こ</small>	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | | |
|------|---------------|------|----------------|
| 第1講 | 世界史とは何か | 第13講 | 南北戦争と農奴解放 |
| 第2講 | 古代オリエント | 第14講 | イタリアとドイツの統一 |
| 第3講 | 古代ヨーロッパ | 第15講 | 19世紀後半のヨーロッパ |
| 第4講 | 中世ヨーロッパ | 第16講 | 帝国主義の世界分割 |
| 第5講 | 16世紀のヨーロッパ | 第17講 | 20世紀初頭のヨーロッパ |
| 第6講 | 17世紀のヨーロッパ | 第18講 | 第1次世界大戦とロシア革命 |
| 第7講 | 18世紀のヨーロッパ | 第19講 | 1920年代のヨーロッパ |
| 第8講 | 産業革命とアメリカ独立革命 | 第20講 | 戦間期のアメリカとソ連 |
| 第9講 | フランス革命 | 第22講 | 1930年代のヨーロッパ |
| 第10講 | ナポレオン独裁 | 第23講 | 第2次世界大戦 |
| 第11講 | ウィーン体制 | 第24講 | 第2次世界大戦後のヨーロッパ |
| 第12講 | 自由主義の発展 | | |

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

そ の 他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	わた なべ あつし 渡 辺 惇	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多元的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うことになります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえますよう。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多元的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央(内陸)アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 原 論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教 職 教 科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得——社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠——準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
3. 役割の葛藤——マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為
- 第8回 1. 規範と同調——逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
2. 集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性
- 第17回 1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
2. 官僚制組織の基本原理 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原理 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識
- 第20回 1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3. 社会的性格
- i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第22回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第23回 全体社会の構成
- 第24回 1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第25回 社会成層の社会学
- 第26回 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	教 職 教 科	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原辺形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あま だ とう いち ろう 浅 田 統 一 郎	教 職 教 科	4

講義のねらい

本講義は、ミクロ経済学の基礎をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

講義の内容・
授業スケジュール

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のクールノー、ジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。ミクロ経済学(およびマクロ経済学)の基礎をマスターすることは、公務員試験や公認会計士試験の合格を目指す学生にとって必要不可欠ですが、そればかりでなく、財政学、金融論、国際経済学のような応用分野を学ぶために有用な予備知識を得るためにもミクロ経済学の学習は役立ちます。

本講義では、ミクロ経済学の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題をより専門的に扱っています。)

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論
5. 公共政策のミクロ分析
6. 国際経済学のミクロ分析

なお、教科書は、浅野、荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、もっと詳しくミクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。再試験は、実施します。

教 科 書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎 著 『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)

参 考 書 等

伊藤元重 著 『ミクロ経済学』(日本評論社)(初級向き)
武隈慎一 著 『ミクロ経済学』改訂版(新世社)(中級向き)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あ べ 部 弘 ^{ひろし}	教 職 教 科	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会…まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：7月
第2回目：10月
第3回目：11～12月
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以降は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。
- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書・参考書等

講義の中で指定します。

その他

講師との連絡方法
 受講生と講師が連絡できるように次に住所等を掲載しておきます。
 阿部弘
 ☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204
 TEL.03-3976-7984
 研究室：第2研究館5FN.2538
 ☎03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あきの野 かつみ 浅野 克巳	教 職 教 科	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」は「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LM モデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長と景気循環の仕組み

履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとってもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習にかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシュミレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1998年、これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	まついりゅうへい 松井柳平	教職教科	4

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済のモデル（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、ブラモデルのような物理的なモデルを作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスとっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまなあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格が支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーションを通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験や、授業中の実験への参加などで評価する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	ほし ちと やす あき 橋 本 泰 明	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済学的ものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、一国の経済規模や国民の所得の大きさ、物価、労働環境などの決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が市場を形成し、その結果、ものの価格の決定や経済の効率性がどのように作用されるのかを理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：経済循環 国民総生産 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 乗数理論
物価 為替変動と国民所得
後期：需要と供給 消費者の経済行動 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産者の経済行動 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論的メカニズムを理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考を繰り返し、論理展開を十分理解することが大切である。しかしいったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利く財産になり、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 I	おおみや たかし 大 宮 隆	教 職 教 科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）1,854円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

※経 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をとっておくとよいでしょう。

講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- | | |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想 | C 日本の政治 |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治国家の形成 |
| 中世政治思想 | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想 | 軍部独裁 |
| 現代政治思想 | 戦後の政治 |
| B 政治の仕組み | D 国際政治 |
| ～議会 | ～国際連合 |
| 内 閣 | N G O |
| 地方自治 | 国際関係 |
| 官僚制 | |
| 政党 | |
| 選挙 | |
| 世論 | |

履修上の留意点

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があって欠席する場合（実習・研修など）には、必ず届けを提出してください。

成績評価の方法

出席：50% 中間試験：20% 学年末試験：30%

以上の割合で評価します。

なお、追・再試験も実施します。

教 科 書

大塚桂編『政治学へのいざない』（成文堂）2,500円

参 考 書 等

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本宗教文化史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教職教科	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどとよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

スライドを適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民衆宗教成立史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教職教科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

- 前期
- ① 深層文化論の整理
 - ② 深層文化と宗教研究
- 後期
- ③ 民俗主義的な深層文化
 - ④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教科書

用いません。

参考書等

深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	教 職 教 科	4

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに関わっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活慣習や年中行事に組み込まれた習俗や、祈祷・供養・祭礼・禁忌・呪詛などとよばれる実践や行為としての側面もある。

本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。

後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	久保陽一	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ヘーゲルの名著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快樂とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）
イポリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントをつけて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	末木恭彦	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこのような問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	かわ 河 谷 くに 谷 淳	教職教科	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）
 (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義においてその都度紹介する。

【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	まえだ ゆきかず 前田 幸一	教職教科	4

※経 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

授業は'85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・ 授業スケジュール

（総論）バブル経済と平成不況
（各論）非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、
なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

履修上の留意点

日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。再試験はしません。

教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

参考書等

授業の際に提示します。

その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	やまだ ゆうじ 山田 勇治	教職教科	4

※経 B ・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

教科書

開講時に指示。

参考書等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円
寺田晃・佐藤伶監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円
仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 実 習	ま え だ ゆ き か ず 前 田 幸 一	教 職 教 科	4

※経 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

貿易における商品取引の基礎的な実務を習得するに目標をおいて授業を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要 | 10. 為替の予約 |
| 2. 取引関係の創設 | 11. 海上保険契約 |
| 3. 取引条件の取決め | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関 |
| 5. 輸出信用状の照合 | 14. 船積み |
| 6. 約定品の調達 | 15. 船積書類 |
| 7. 輸出保険 | 16. 輸出決済 |
| 8. 輸出承認と認証の取付け | 17. 貿易クレーム |
| 9. 運送契約の締結 | |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。再試験はしません。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）
 渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）
 藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商 業】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 指 導	や ま だ ゆ う じ 治 山 田 勇 治	教 職 教 科	4

※経 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.312) 参照

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

その他

講義・討論・ビデオ
この科目は、平成10年度までに「図書館学I」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

その他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。
1. 学校教育と学校図書館(前期)
2. 学習指導と学校図書館(前期)
この科目は、平成10年度までに「図書館学I」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円 『日本目録規則 1987年版 改訂版』(日本図書館協会) 3,500円
参考書等	講義中に指示する。
その他	必要に応じて、ビデオを活用する。 この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(H外アソシエーツ) 2,200円
参考書等	講義中に指示する。
その他	この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系 7 読書教育原論』（全国 SLA 刊行）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習
この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。

Ⅲ 社会教育主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育計画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

かつて社会教育職員の専門性として、4P論（プランナー、プログラマー、プロデューサー、プロモーター）がいわれた。いま各自治体では住民の生活課題や地域づくりの課題に対応したきめ細かな生涯学習振興策とその計画化がもとめられている。この講義では、自治体の生涯学習計画の策定を中心に、できるだけ具体例に即して、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論について理解を深められるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生涯学習の方法と計画の今日的課題
2. 住民の課題と生涯学習計画
3. 生涯学習の方法と事業の計画・運営
4. 生涯学習と条件整備
5. 地域生涯学習計画の策定
6. 生涯学習計画と社会教育計画
7. 学習権の思想と社会教育計画の課題

履修上の留意点

できるだけ「生涯学習概論」を修得していることが望ましい。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に判定する。

教科書

酒匂・村山他編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,800円

参考書等

そのつと紹介する。

その他

夏休み中に、各自、自分のまちの社会教育行政の実情について調査し、レポートにまとめることをもとめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯学習概論 I (前期)	とよ ちよ こ 豊 田 千 代 子	社教主事 2 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

授業では、OECD や ILO などの国際機関ならびにわが国における生涯学習政策の動向を概観し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
 - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
 - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

倉内史郎、鈴木真理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後 期)	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事2必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、わが国では、生涯学習の観点での教育の見直し、学校教育でも社会教育でも求められている。授業では、とくに社会教育に焦点を当て、改革の方向性を探ることを目的としたい。そのために、社会教育の歴史や社会教育行政の役割等とともに「おとなの学び」に注目しながら、社会教育についての理解をはかりたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・社会教育とは
 - ・社会教育の定義
 - ・社会教育の歴史
 - ・社会教育法
 - ・社会教育施設（公民館など）
 - ・社会教育行財政
- ・成人教育としての社会教育
 - ・「おとなが学ぶ」とは
 - ・「おとなの学び」の事例
 - ・おとなの学びに関わる職員の役割
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教科書

倉内史郎、鈴木眞理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参考書等

小林文人編『公民館の再発見――その新しい実践』（国土社）

その他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社 教 主 事 3 必	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。
訪問指導 — 実習先訪問指導。
事後指導 — 実習をとおして学んだこと、疑問に思ったことなどについて報告する。
実習報告書を作成する。

成績評価の方法

①実習ノート ②授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教 科 書

小林文人編『公民館の再発見 — その新しい実践』（国土社）

参 考 書 等

社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

そ の 他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。
実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このことをとおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社 教 主 事 3 必	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとりくみ、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

・社会教育実習の意義と心がまえ — これまでの実習の経験に学ぶ事前指導
・実習期間 — 個別の訪問指導
・実習後 — 個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。
〔例〕社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習ノート等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

そ の 他

「社会教育実習」を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育行政	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら解明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況・生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役立つような内容を明らかにしたい。

授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

教科書

鳥田修一編『生涯学習のあらたな地平』（国土社）2,718円＋税
社会教育推進全国協議会編『現代日本の社会教育』（エイデル研究所）

参考書等

社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育施設	むら 村 やま 輝 てる よし 吉	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物館等社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状について考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
 - ・社会教育施設にかかわる人々
 - ・公民館の歴史と現状
 - ・図書館の歴史と現状
 - ・博物館の歴史と現状
 - ・社会体育施設の歴史と現状
 - ・その他の社会教育施設・関連施設
 - ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題
- それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の利用見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにしてほしい。

成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点、レポート等により総合的に判定する。

教科書

適宜指示または紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
成 人 学 習 論	ひがし 東 とし たか 寿 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

成人が学習することによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。始めに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。授業外に社会教育施設などでボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教 科 書

福尾武彦編著『現代を生きる学び』（民衆社）2,800円＋税

参 考 書 等

酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,718円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジェンダーと教育Ⅰ (前 期)	なか 中 ざわ 澤 ち え 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ジェンダーとは
- 2 人間の発達と学習／教育
- 3 ジェンダーの形成
- 4 教育と女性
- 5 家庭生活とジェンダー
- 6 学校教育におけるジェンダー

履修上の留意点

後期「ジェンダーと教育Ⅱ」とあわせて受講されたい。
ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教 科 書 ・
参 考 書 等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勁草書房、1999年）
ほか、適宜指示する。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジェンダーと教育Ⅱ (後 期)	なか ざわ ち え 中 澤 智 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ジェンダーに関わる社会的動向
- 2 職業生活とジェンダー
- 3 マス・メディアとジェンダー
- 4 ジェンダーとセクシュアリティ
- 5 性教育とジェンダー
- 6 生涯学習におけるジェンダー

履修上の留意点

前期「ジェンダーと教育Ⅰ」をふまえた講義とするため、前後期あわせて受講されたい。ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教科書・
参考書等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勁草書房、1999年）
ほか、適宜指示する。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業教育Ⅰ (前期)	しおかわまさと 塩川正人	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業のねらいは「就職に役立つ授業」この一点にある。二十一世紀の大学志願者は「就職率の高い大学」を最優先で選ぶ時代となる。本授業はそうした学生達のニーズに真正面から応える授業としたい。

講師の本業は経営コンサルタント。ゆえに日々ビジネスを共にしている企業の人事・採用責任者の立場から、カリキュラムを編成する。

本授業を選ぶ諸君は、先ず学生意識の甘えを捨てなければならない。「社会人」としての意識と行動なくして「就職」への準備は成り立たない。

学生諸君の未来を決める「人生最大の決断」が就職への準備である。しかもその門に入ることは極めて厳しい。君の未来を、この授業の中で見出す覚悟をもって、授業に参画してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学生と企業人の違い。
- ②企業は学生に何を期待しているか。
- ③就職への準備。
- ④企業の選択の基準。
- ⑤面接試験の本質と取組み方。
- ⑥論文試験の本質と取組み方。
- ⑦いかにして自己を鍛えるか。

授業の半分は、学生との質疑応答の時間としたい。質疑応答の中で、企業という「生き物」の厳しさと素晴らしさを伝えたい。

履修上の留意点

- ①講師が企業で実践している資料の配布が多い。資料を保存するためのバインダーを準備すること。
- ②授業の度に発言や返答、意思発表、討論などがあることを想定していること。
- ③教員や公務員を志望する諸君にとっても「就職」の基本は同じ。役立つことと確信する。

成績評価の方法

平常授業とレポートによって評価

教科書

塩川正人著『MTS 経営革命』（日本能率協会マネジメントセンター）1,400円

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業教育Ⅱ (後期)	しおかわまさと 塩川正人	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期と全く同じである。授業の目的は「就職試験に勝つ」。そのための自己革命を学生諸君は本授業で実践する。

授業内容は、前期の内容を更に詳しく掘り下げていく。前期以上に、面接や自己アピールのための演習を多くしたい。

成績評価の方法

前期同様に平常授業とレポートによって行う。

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅰ (前期)	ふるた じゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

深く静かにリラックス 湧き出るフレッシュ・エネルギー
 深く確かな大地との交流 そこから生まれるリラクゼーション
 私たちのからだは良くなろうとしてサインを送り続けています。その本質に気づき、自然と調和する能力を持つ生来のからだへと回復させていかねばならないと思います。複雑な社会の中で気持ちよく共生して行ける社会人としての「心とからだ」を育てることに取り組んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

からだの感覚を手がかりに自然の原理に沿った動きで、余分な緊張を取り去り、その時々の姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。動きに最適な自然な呼吸などをもとに、ゆるやかに自分自身の心とからだを拓くことによって、自己能力を発掘し、可能性を追求します。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業（レポートも含む）

参考書等

野口三千三著『原初生命体としての人間』（三笠書房）
 野口三千三著『野口体操からだに貞く』（柏樹社）
 野口三千三著『野口体操重さに貞く』（柏樹社）
 池田潤子執筆 雑誌【ひと】からだのレッスン（太郎次郎社）
 [自然なからだのあり方を考える【円筒エリア】の発見と意義]
 古田潤子『駒沢大学教育学研究論集第13号』1997年

その他

授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅱ (後期)	ふるた じゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

他者とひびき合う豊かな関係を拓いていきます。

講義の内容・授業スケジュール

環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとらえて自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。
 また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.237～241) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.242～244) 参照

科目名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.244～247) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育とメディア	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.248～250) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視 聴 覚 教 育	飯 森 彬 彦 <small>い い もり あき ひこ</small>	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.339) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 社 会 学	熊 谷 一 乗 <small>くま がい かず のり</small>	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.280) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 史	山 本 敏 子 <small>やま もと とし こ</small>	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.281) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 調 査	鈴 木 規 夫 <small>すず き のり お</small>	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.282) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青 少 年 文 化	香 川 良 成 <small>か がわ よし しげ</small>	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』Ⅰ総論

そ の 他

現在行われている演劇教育（「劇あそび」その他）の様相や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇することも行いたいと思っています。

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅰ (前期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の教育に「生きる力」を育成することが求められ、小・中・高等学校のカリキュラムに新たに「総合的学習の時間」が設けられるようになったことの意味を理解して頂くことをねらいとしながら「現代日本の社会的変化にともなう諸問題と教育改革」をテーマに授業をすすめる。教育社会学、教育政策学をベースにして今日の社会的変化に対してどのような教育の在り方が求められるかを明らかにするところに問題意識がある。

講義の内容・
授業スケジュール

次の三つの領域に分けて行われる。
 (1)1980年代の自由化論と「臨教審」答申(4～5月) = この領域で扱われる事項は、①経済の活性化をめぐる新自由主義の潮流と教育自由化論②新国家主義の登場と臨時教育審議会(「臨教審」)の設置③「臨教審」の四つの答申とその反響④1989年の学習指導要領改訂と教育上の諸問題である。
 (2)冷戦構造・55年体制の崩壊と教育政策の新しい動向(5～6月) = この領域で扱われる事項は、①冷戦構造の崩壊による政治的社会的影響②55年体制の崩壊、連立政権の登場と教育をめぐる路線対立の緩和③教育政策のリベラ化④高度情報化のなかの生涯学習体制の整備と「個」の尊重、である。
 (3)経済不況のなかの少年問題と「生きる力」の育成(6～7月) = この領域で扱われる事項は、①長期にわたる経済不況のなかでの少年問題②「生きる力」を強調する第15期「中教審」答申③新自由主義のインパクトと教育における規制緩和、学校選択の問題④学習指導要領改訂と総合的学習の時間の設置、である。

履修上の留意点

今日の教育の動向に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介、授業の方法は講義を中心にして討論を取り入れる。

その他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得したものは、履修できません。

教職・資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.283) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	さぬ き ま さ こ 讚 岐 真 佐 子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.284) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青少年指導演習	ひらの 野 <small>まなぶ</small> 学	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例（不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング）の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題とそのカウンセリング(3回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。(2回)
7. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行なう。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
8. その他(全体の振り返り他)。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話するが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』(創元社)各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』(創元社)各1,300円

同『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円

同『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円

佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円

他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

VTRやテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお た き み こ 太 田 喜 美 子	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.340) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	きし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.340) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 （後期）	みなもと しょう きやう 源 昌 久	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.318) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 （後期）	やま だ せつ こ 山 田 節 子	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.317) 参照

IV 博 物 館 学 講 座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	飯森彬彦	学芸員2・3必	4

講義のねらい

視聴覚教育の背後にある基本的な考え方を理解する。
個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作、利用の両面）を習得する。
変動する社会に即応し、メディアを活用する態度と能力を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

視聴覚教育の歴史とその思想的背景
コミュニケーションの理論と視聴覚教育
視聴覚教材の制作と利用
情報化社会における視聴覚教育
生涯学習時代とメディア
以上のような内容を各4～6回程度講義する予定。

履修上の留意点

年に2回程度課題を出し、作品の提出を求める。作品製作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと。（OHPシート代、マーカー代、35ミリフィルム代、現像代など）

成績評価の方法

提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

浅野孝夫・堀江固功編著『新視聴覚教育』（日本放送教育協会）
秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』（樹村房）
野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』（東信堂）
赤堀正宣・佐賀啓・中野照海編著『メディアと教育』（小林書房）

その他

ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	飯島武次・酒井清治	学芸員3・4必	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1（野外編）』（雄山閣）1984年 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前 期）	おお たら きみこ 太 田 喜美子	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（岸上講師）、各2単位」も履修していただかないと次年度へ進めないで注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、岸上興一郎講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来ても、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないこととお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

そ の 他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前 期）	まし がみ こう いちろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容・授業スケジュール

資料は多様な環境の中におかれている。それらの資料がいかなる過程をへて博物館に寄贈・寄託・借用・購入され、収蔵そして展示されていくのかを事例をもとに展開する。

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法

レポート提出。

教 科 書

財日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
財日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅲ (経営論・情報論) (後 期)	きし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。

講義の内容・
授業スケジュール

各博物館は、その創設時の状況によって、公立・市立・財団など種々の組織形態をとってはいるが、形式知化は、すべての博物館に共通する経営理論である。ここでは、それによって積算された予算、その執行と展開などの事例にふれる。さらには近年論議されている博物館経営とボランティア活動の関係にふれる。

履修上の留意点

予算の仕組みを理解すること。

成績評価の方法

レポート提出。

教 科 書

財団法人日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
財団法人日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	飯島 武次・酒井 清治 太田喜美子	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応して下さるお陰だと思いが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっているので、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃるので、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だって、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	酒井 清治・太田喜美子 國見 徹・久保田昌希 瀧音 能之・佐藤 元英 小林 和幸・廣瀬 良弘	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついうようである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知らうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思いこんでしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加が必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館実習Ⅲ (見 学)	酒井 清治・太田喜美子 松本 信道	学芸員2・3必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ(館務)」と「Ⅱ(収集)」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あぶれてしまう人がでないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Dの4組ぐらに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	学芸員2必	2

(P.237～241) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	学芸員2必	2

(P.242～244) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前 期)	豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.324) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後 期)	豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.325) 参照

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」とらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	ほけま や のり あき 袴 谷 憲 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きい。その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを絶えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）
石田瑞麿『日本人と地獄』（春秋社）
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅 美 術	えびねとしお 海老根 聰 郎	学芸員2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

日本の中世の絵画世界を、禅宗画僧による歴史として述べていく。鎌倉・南北朝・室町時代を対象とする。それらの画風の源泉は中国にあるから、合わせて、中国禅宗の中で描かれた絵画についても述べる。
授業は毎回スライドを映写する。

成績評価の方法

年度末に授業で述べたところから出題した筆記試験を行ない評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏 教 美 術	まつだせいちろう 松 田 誠 一 郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年は、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 第1回 飛鳥前期彫塑の概観
- 第2～3回 飛鳥大仏
- 第4～6回 法隆寺金堂の釈迦三尊像
- 第7回 止利派の金銅仏
- 第8～9回 法隆寺夢殿の救世観音像
- 第10～11回 法隆寺百済観音像
- 第12回 法隆寺四天王像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1回 飛鳥後期彫塑の概観
- 第2回 野中寺の弥勒菩薩像
- 第3回 法輪寺のクス材製木彫像
- 第4回 法隆寺再建と童顔童形像
- 第5～7回 山田寺仏頭と薬師寺本尊
- 第8～9回 塑像と乾漆像
- 第10回 埴仏と押出仏
- 第11～12回 広隆寺と中宮寺の半跏像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

- ①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。
- ②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。

成績評価の方法

後期末にレポートを課して評価する。

参 考 書 等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 民 俗 学	須 藤 寛 人 す どう ひろ と	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拝、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われま。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

- a. 先祖崇拝 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、祖先祭祀という民俗的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拝の考察は重要なテーマであると考えられる。
 - b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
 - c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。
- 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教 科 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）
 新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参 考 書 等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1,900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。

参 考 書 等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	し 清 水 ち 長 正	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。
 1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウエスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	す ず 鈴 き 木 た け 毅 ひ こ 彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的な概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

教科書

特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説 I 〔日本〕	酒井清治 <small>さか い きよ じ</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。
講義の内容・授業スケジュール	日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。
履修上の留意点	遅刻をしないこと。
成績評価の方法	定期試験で採点。
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会） 安蒜政雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）
その他	OHP等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説 II 〔外国〕	飯島武次 <small>いい しま たけ つぐ</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史Ⅱ	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅰ	高 ^{たか} 浜 ^{はま} 秀 ^{しゅう}	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。講義では、これらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書・参考書等

教科書はないが、一般的な参考書として、藤川繁彦編『中央ユーラシアの考古学』（世界の考古学⑥ 同成社）1999年6月を挙げるができる。詳しくは、適宜指示する。

その他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず ゆき 矢 野 和 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。
このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造隊の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タク라마カン砂漠周辺のオアシス都市の美術
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルファン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教 科 書

講義時にプリントを配布する。

参 考 書 等

講義時に適宜紹介する。

そ の 他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原辺形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

V 社会福祉主事 講座
社会福祉士基礎

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一	社福主事2必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
 - 1) 社会福祉の意味
 - 2) 社会福祉と関連する諸概念
 - 3) 社会福祉の対象と主体
 - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
 - 1) 欧米における社会福祉の発展
 - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
 - 1) 社会福祉法制
 - 2) 社会福祉法制の体系
 - 3) 社会福祉事業の経営主体
 - 4) 福祉の措置
 - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
 - 1) 公的扶助（生活保護）
 - 2) 児童福祉
 - 3) 老人福祉
 - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
 - 1) ケースワーク
 - 2) グループワーク
 - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
 - 1) 人の問題の重要性
 - 2) 社会福祉従事者の動向
 - 3) 職種の問題
 - 4) 社会福祉職員の専門職論
 - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
 - 1) 社会政策と社会事業
 - 2) 社会保障と社会福祉

成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社福主事2必	4

講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、改めて「現代社会における社会福祉とは何なのであろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのであろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのであろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

一方、わが国の社会福祉は、現在、「社会保障構造改革」「社会福祉基礎構造改革」「介護保険の創設」等のキーワードに代表されるように、大きな転換期を迎えている。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる点を学習し、わが国における社会福祉のあり方を考察していくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の理念とその意義
- 2 社会福祉の対象と援助の形態、方法
- 3 社会福祉サービスの体系
- 4 社会福祉の法体系、実施体制、財政
- 5 社会福祉の動向

成績評価の方法

各学期末の試験、課題レポート、出席状況、等の総合評価により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教 科 書

新・社会福祉双書編集委員会編『新・社会福祉双書1 社会福祉概論Ⅰ』（全国社会福祉協議会）

参 考 書 等

随時、紹介します。

(2) 選択科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 (福 祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・ 授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法および行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 発 達 史	はやし 林 ちよ 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらい、それによって行なう。

教科書・
参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

総合リハビリテーションの中で、学問的に著しく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが、著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そして、グローバルな視角から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子にもとづきすすめる。

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題 | } 前 期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題 | |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法 | } 後 期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 | |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育 | |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展望 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義中、随時指示する。

その他

講義形式が中心。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会保険論	ふなみずひろゆき 船水浩行	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保険
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 いてい 廷 宗 もと 之 ゆき	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるのかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要があるので、ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や日本における施設の運営管理上の課題などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等も行なう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位習得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方やコミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず習得しておいていただきたい。

成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行なわれるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

教科書

第1回目の授業時に指定する。

参考書等

- ① 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際社会福祉論	やまもとまみ 山本真実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する。

教科書

特になし。

参考書等

適宜授業中に紹介。

その他

ビデオ使用
意見交換

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保健福祉論	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉
身体障害／知的障害／精神障害／難病／結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公 的 扶 助 論	い どう しゅう いち 伊 藤 秀 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。
講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

なお、テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	ほら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることにある。旧来から持ち続けてきた陋習から脱皮し、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができる。

こうした中で、現代社会においては、ようやく障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(nomalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方 | } 前 期 |
| 2. 障害者福祉の対象 | |
| 3. 障害者福祉の主体 | } 後 期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教 科 書

星野他編『障害者福祉論入門』(改訂版)(有斐閣双書)1,900円

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期⇒・人口高齢化の意味
 ・高齢者問題の背景
 社会変動、家族変動
 ・高齢者の生活問題
 ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 ・高齢者の保健福祉ニーズ
 ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期⇒・老人保健福祉法制と関連施策
 近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 ・老人保健福祉の供給システムと財源
 供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 ・在宅サービスの制度と処遇
 在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 ・施設サービスの制度と処遇
 入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円
 冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	この許 斐 ゆう有	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開課程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけでなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家庭に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参考書等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評価論社）
ささやななえ（椎名篤子原作）『凍りついた瞳-子ども虐待ドキュメンタリー』（集英社）ほか

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	はやし 林 ちよ代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的・精神的なしわ寄せを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。
女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容とした。

成績評価の方法

成績評価は、後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

教科書は特に無いが、資料等は必要に応じて配布する。ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はるみしずこ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ。

前期
社会福祉とソーシャルワーク
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア
医療機関について
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症
援助手段としての社会資源
援助関係 面接の技術 援助過程

後期
外来段階のソーシャルワーク
入院段階のソーシャルワーク
精神保健の領域
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の社会福祉はいま正に大きな制度的転換期にあるが、この制度改革の基本的考え方となっているのが「地域福祉」である。これは、児童福祉、障害者福祉、老人福祉といった対象別分野論ではなく、人間が生活する圏域つまり地域ないしはコミュニティに焦点を当て、様々な福祉課題の解決に取り組んでいくための視点や方法を内包した実践領域ということができる。

この講義では、こうした認識の下で、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や方法及び課題について学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・現代社会におけるコミュニティと地域福祉
- ・社会福祉制度改革の動向と地域福祉
- ・地域福祉計画の意義と内容
- ・市町村行政や社会福祉協議会などの地域福祉推進組織とその連携
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給体制
- ・地域福祉の資源（人材、財源など）の活用と開発
- ・ボランティア活動、NPO 活動とその支援システム など

成績評価の方法

出席、試験、レポートなどにより評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 地域福祉論』（中央法規）2,500円

参考書等

授業時に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学（福祉）	はし づめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士・社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

[内容]

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
 - 1) 科学技術の展開
 - 2) 現代社会と科学技術
 - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
 - 1) 構造及び形態
 - 2) 機能
 - 3) 変化
 - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
 - 1) 都市化と地域社会
 - 2) 過疎化と地域社会
 - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (福 祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。
- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究方法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
 - 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
 - 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
 - 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論） 心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論） 精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

経済学科フレックスB
第 2 部 経 済 学 科

1. 専門教育科目

経済学科フレックスB・第2部経済学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.11)

1. 専門教育科目

経済学概説〈阿部弘〉	381
経済学概説〈徳永俊明〉	382
経済理論ⅠA・資本の原理〈大石雄爾〉	383
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅰ〕	
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈休講〉	
経済原論Ⅱ・ミクロ経済学〈松井柳平〉	384
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅱ〕	
経済原論Ⅱ・マクロ経済学〈休講〉	
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅱ〕	
経済学史〈福原好喜〉	385
経済数学〈水野勝之〉	386
価格理論〈荒木勝啓〉	387
国民所得論〈吉野紀〉	388
計量経済学〈井上健〉	389
統計原論〈稲葉敏夫〉	389
景気循環論〈西村允克〉	390
現代資本主義論〈北原勇〉	391
社会思想史〈阿部弘〉	392
経済史〈休講〉	
日本経済史〈橋野知子〉	394
西洋経済史〈友松憲彦〉	395
経済政策〈休講〉	
農業政策〈米田浩史〉	397
工業政策〈福田敦〉	398
経済地理〈休講〉	
中小企業論〈休講〉	
環境経済論〈山口由二〉	399
財政学〈里中恆志〉	400
財政政策〈半谷俊彦〉	401
地方財政論〈篠原章〉	402
金融論〈諏訪孝之〉	403
国際金融論〈秋山誠一〉	404
社会政策〈休講〉	
人口論〈休講〉	
教育経済論〈休講〉	
労働経済論〈休講〉	
日本経済論〈休講〉	
国際経済論〈休講〉	
アジア経済論〈鄭章淵〉	405
中国経済論〈休講〉	
アメリカ経済論〈休講〉	
ヨーロッパ経済論〈清水卓〉	408
ロシア・東欧経済論〈山縣弘志〉	409
情報・経済ネットワーク論〈休講〉	
プログラミング論〈濱本和彦〉	410
情報処理論〈岩瀬弘和〉	411

商	学	総	論	〈大吹勝男〉	412			
商	業	政	策	〈番場博之〉	414			
マ	一	ケ	テ	〈休講〉				
商	交	品	学	〈石崎悦史〉	415			
商	通	業	論	〈塩見英治〉	416			
消	費	経	史	〈幸野保典〉	417			
経	営	学	論	〈丸山直子〉	418			
経	営	管	論	〈寺中良二〉	419			
財	務	管	理	〈休講〉				
財	務	管	理	〈白坂亨〉	421			
勞	務	管	理	〈休講〉				
経	営	戦	論	〈田淵泰男〉	422			
経	営	学	史	〈岩永宏治〉	423			
会	計	学	論	〈中原章吉〉	424			
簿	務	記	論	〈川口修〉	425			
財	務	会	論	〈飯岡透〉	426			
会	計	監	論	〈飯岡透〉	428			
管	理	会	論	〈中原章吉〉	430			
原	価	計	論	〈川口修〉	431			
税	務	会	論	〈高木克己〉	432			
経	営	分	析	〈小栗崇資〉	433			
貿	易	実	務	〈休講〉				
貿	易	実	務	〈休講〉				
銀	行	市	論	〈休講〉				
証	券	場	論	〈佐藤昇〉	434			
保	險	論	論	〈今泉敬忠〉	435			
憲	法	一	部	〈内田真利子〉	436			
民	法	一	部	〈織田晃子〉	437			
〔平成11年度以前入学生：民法〕								
民	法	二	部	〈青野博之〉	438			
商	法	一	部	〈島原宏明〉	439			
〔平成11年度以前入学生：商法〕								
商	法	二	部	〈島原宏明〉	439			
経	済	法	論	〈岡田外司博〉	440			
勞	働	法	論	〈藤本茂〉	441			
行	政	法	論	〈金子昇平〉	442			
国	際	法	論	〈王志安〉	443			
原	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英) 〈中田秋男〉	444			
原	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英) 〈広田秀樹〉	445			
原	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (独) 〈濱本知寿香〉	446			
原	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (仏) 〈中田秋男〉	446			
現	代	経	济	事	情	Ⅰ	〈西村直樹〉	447
現	代	経	济	事	情	Ⅱ	〈星野敏〉	447
現	代	経	济	事	情	Ⅲ	〈美野久志〉	448
現	代	経	济	事	情	Ⅳ	〈小笠原直〉	449
現	代	産	業	事	情	Ⅰ	〈三井逸友〉	450
現	代	産	業	事	情	Ⅱ	〈中原章吉〉	450
総	合	専	門	科	目	Ⅰ	〈瀬戸岡紘〉	451

總	合	專	門	科	目	Ⅱ	〈石	井	啓	雄〉	452
綜	合	專	門	科	目	Ⅲ	〈小	杉	修	二〉	453
綜	合	專	門	科	目	Ⅳ	〈光	岡	博	美〉	454
演	習	Ⅱ	・	Ⅲ	〈小	栗	崇	資			454
演	習	Ⅱ	・	Ⅲ	〈鄭		章	淵			455
演	習	Ⅱ	・	Ⅲ	〈橋	野	知	子			456

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	あ べ ひろし 阿 部 弘	経 B 1 必	4

講義のねらい

1 「経済学概説」について

「経済学概説」は私たちが経済学を研究していく上での基本として、「経済学」とは一体何であるのか、私たちの独自の経済学をどのようにして造っていくのか、その道筋を探るための糸口となるものである。そのためには私たちが現在置かれている状況を的確に把握しておくことが第一である。したがってこの講義はまず日本の経済について、その基本的枠組みを明らかにすることを目的とする。

2 講義のテーマ

私たちは個々人がそれぞれ自由に生活しているかに見えている。そして「法人資本主義」等と呼ばれている企業王国の中で仕事をしているのであるが、最近の不良債権問題や、核燃料施設での放射線漏れの事故に見る無責任体制・コスト第一主義、かたや、自分の仕事達成のためには他人の人権などひとつも考慮しない人非人的行為、こういった状況への権力の加担…と、とても民主主義・自由主義の風土を謳歌しているとは思えない状況が続いている。国の主権なども大国の胸先三寸に過ぎない。私たちの生活も「年金」が無くなるかも知れない状況の中で、老後も不安であるし、と、基本的人権すら危うい状況ができてきている。この講義は以上の解明とその先のステップへの手がかりがどこに在るか探ろうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 問題提起
- 2 日本経済の基本的枠組み：国家と経済の関係
- 3 課題は何か

成績評価の方法

1 年間4回のレポート作成で単位認定を行います。

(1) レポートは次の大体の日程で行います。

No.1：6～7月 No.2：9月 No.3：11～12月 No.4：1月

(2) 方法：レポート作成当日に教場で行います。

No.1のレポート・テーマは講師が受講生全体に共通のものを設定します。

No.2以降のレポートのテーマは各自のレポートの中からそれぞれ設定します。

(3) 単位認定に必要なレポートの回数は4回です。何かの事情でレポート作成当日に欠席したばあいには後日その補いが有効ですが、そのばあいには「理由書」と倍のレポート（自宅での作成／テーマは講師が設定したもの＋自由論題）が必要になります。しかしながら、No.1およびNo.3のレポート未提出者（欠席者）の場合は単位を放棄したものと見なします。

2 「定期試験」それに付随した「追試験」・「再試験」は行いません。

教科書や参考書等は講義の中で指定します。

教科書・参考書等

その他

受講生と講師がレポート外で連絡し得るようにするために、講師の住所等を付記しておきます。

阿部 弘

〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

☎03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538

TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	徳 永 俊 明 <small>とく なが とし あき</small>	経 B 1 必	4

講義のねらい

この講義は、駒沢大学経済学部に入学者に、〈経済学〉が、人生設計とその営みの基本にかかわる重要な学問領域であること、したがってまた、生き生きとしたおもしろいものであることを分かってもらうことを目標にします。一方的な話ではなく、諸君とともに“考える”という姿勢でとりくみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

つぎのような柱を設けますが、順序・回数などは諸君の理解度や講義の進行状態によって変わることもあります。

- 〔前期〕
- ① 〈社会〉と〈歴史〉について
 - ② 〈立場〉の問題
 - ③ 経済学の位置と目的
 - ④ 経済学の対象
 - ⑤ 〈第三世界〉はいま……
 - ⑥ 〈アメリカ〉はいま……
 - ⑦ 〈日本〉はいま……
 - ⑧ 〈資本主義〉と〈社会主義〉
- ・ほかに独習文献1～2点

- 〔後期〕
- ① 〈企業〉とは？
 - ② 〈会社員〉について
 - ③ 〈仕事〉と〈人生〉
 - ④ 〈豊かさ〉と〈貧しさ〉
 - ⑤ 〈自由〉または〈幸福〉
 - ⑥ 〈生活〉とは？
 - ⑦ 〈人生〉と経済学
 - ⑧ 総括
- ・ほかに独習文献1～2点

* 毎回プリントを配布して講義します。

* 独習文献については「所感」を提出してもらいます。

成績評価の方法

まず何よりも講義をしっかり聞き、ポイントを理解する努力を求めます。その上で、前期・後期各1回のレポート提出を課すこととします。したがって、追・再試験は行いません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論ⅠA・資本の原理	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	12以降入学生/経B1・2・3・4選	4
経済原論Ⅰ		11以前入学生/経B1・2必(経済学専修) 11以前入学生/経B1・2選(商学専修)	

講義のねらい

現在私たちが生活している社会は、資本主義社会とよばれています。それは利潤を追求する資本が生産や分配を規定する力となっているからです。現代社会はますます複雑化していますが、資本主義の一般的な経済法則やその仕組みを学ぶことは、この社会で生活していく私たちにとって不可欠のことといえるでしょう。経済理論ⅠA(およびⅠB)では、現実の経済現象を分析することによってうち立てられた、科学的な方法を駆使したマルクスの経済学を講義することになります。

今の世界は封建制が崩壊することによって確立され、今でも変化発展しています。しかし、そのことは資本主義社会が調和的かつ平穏なかたちで発展してきたものであることを意味するものではありません。たしかに、アメリカ・日本など先進資本主義国では人々の所得が多くなりましたが、それだけに南の貧しい発展途上国の人たちの所得格差は拡大しています。先進国どうしの間にも貿易摩擦などの形で対立が明るみに出ています。先進国内部をさらにみまみると、財政赤字や高い失業率という実態があり、特に日本では労働者は長時間労働に悩まされています。

資本主義は経済成長をとげてきたのに、どうしてこれらの問題を解決ができないのか、という疑問が生じるのも当然のことといえるでしょう。環境問題も、実はよく見ると資本主義の発展がひきおこしてきたものであることが分かります。私たちは、21世紀に向けてこうした直面する問題について考え、その解決に向けて取り組むことを余儀なくされています。このように、少し考えてみると、こうした問題をひきおこす資本主義の一般法則をよく理解し把握しておくことが何よりも重要であることが分かると思います。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、以上のようなところに焦点を当てながら、次のようなテーマにそって進めていく予定です。

1. 経済学とはどのような学問か
2. 商品の2要因と商品生産関係
3. 貨幣の諸機能
4. 貨幣の資本への転化
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産
10. 剰余価値の利潤への転化
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論は1つのまとまりをもっていますので、毎回出席してノートをよく取る必要があります。この講義はまた、経済理論ⅠBと切っても切れない関係にありますので、次年度以降に経済理論ⅠBも必ず履修することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に何回か小レポートを書いていただきます。後期に定期試験を実施し、成績の評価は、その定期試験と小レポートの点数を合計することによって行ないます。追・再試験を実施します。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』(青木書店) 2,000円

参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』(大月書店) 2,500円の予定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	まつ 松 井 柳 平	12以降入学生/経B1・2・3・4選	4
経 済 原 論 Ⅱ		11以前入学生/経B1・2必(経済学専修) 11以前入学生/経B1・2選(商学専修)	

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する(いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める)。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済のモデル(モデル)を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的なモデルを作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学(少なくともミクロ経済学とマクロ経済学)においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスと一しょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまなあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーションを通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験や、授業中の実験への参加などで評価する。(再試験実施)

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 史	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経 B1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに成立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の生誕までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業は前半で近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS 禁止。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	水野勝之	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かはなかなかわからない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいればはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数学の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ

- ①関数
 ・関数
 ・同次性
 応用：効用関数と生産関数

- ② Σ (シグマ)
 応用：予算式の表示
 物価指数

③その他

2. 微分と偏微分

- ①微分の意味と最大・最小
 応用：弾力性・他

- ②微分いろいろ
 ・積の法則
 ・合成微分
 ・その他

- ③偏微分
 ・偏微分の意味
 応用：効用関数と限界効用
 生産関数と限界生産力

- ④その他
 ・全微分
 ・オイラーの定理
 ・ラグランジュ未定係数法

3. 行列

- ①ベクトルと行列
 ②行列の加減と積
 ③行列式
 ④逆行列
 ⑤余因子と余因子行列
 ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でもよい、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価
 尚、再試験は実施しない。

教科書

水野勝之『入門テキスト経済数学（仮題）』（中央経済社）
 水野勝之『テキスト経済数学』（中央経済社）

参考書等

水野勝之『テキスト計量経済学』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経 B 1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商 1・2・3・4選	

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているとみてよい。従って講義のかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると思っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようとして編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』第6版(多賀出版)

専門教育科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計 量 経 済 学	いの井 うえ けん健	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済学を現実のデータを用いて実証するための理論および具体的な手法の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義で基本的な事柄を把握した後で、それを実際にコンピュータを用いて確かめるという順序で進める。具体的には以下の内容となる。

- (1)計量経済学の目的
- (2)基本的な統計量
- (3)EXCELの使い方
- (4)推定
- (5)検定
- (6)単回帰モデルの推定と検定
- (7)重回帰モデルの推定と検定
- (8)ダミー変数
- (9)系列相関
- (10)不均一分散
- (11)同時方程式モデル

履修上の留意点

積極的な参加を期待する。最終的に自分で実証分析ができるようになることが究極の目的である。そのために必要な最低限の知識や道具の習得をすべて自習することはそれほど容易なことではない。コンピュータ及び統計学に関する前提知識は基本的に要求しない。講義の中で一から習得してほしい。

成績評価の方法

数回の宿題と期末のレポートをあわせた総合評価とする。再試験を実施する。

教科書

白砂堤津耶著『【例題で学ぶ】初歩からの計量経済学』（日本評論社）2,940円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統 計 原 論	いな ば とし お夫	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済現象を統計的に分析する際、基本となる概念および手法を出来る限り数式を使用することなく説明したい。たとえば、消費支出と国民所得、投資と利子率などの経済変数間の関係に着目する。このような経済変数間の関係を調べる、典型的な方法である回帰分析を取り扱う。それとともに消費支出、投資など実際にどのデータを使用するのが妥当であるかについても議論する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。2変数間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き日があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

開講時に指示する。

その他

授業は講義の形態をとるが、年に数回コンピュータールームで簡単な実習を行う。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
景 気 循 環 論	にしむらみつよし 西村允克	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

全体としての経済は、景気回復→好況→景気後退→不況→景気回復→……という循環を繰り返しながら発展してきた。この発展が景気変動論の対象であるから、この景気変動を繰り返しながら発展する経済過程をいかに理解・把握するかが、この講義の中心目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下のように進められる。

I 国民所得決定理論

対象が全体としての経済であるから、全体としての経済の成果を示す経済数量である国内総生産（GDP）を動かす要因とそれらの要因の変化がGDPにどのような影響を与えるか、という問題をここで取り上げ、景気循環を理解するための理論的基礎を与える。

II テキストの批判的説明。

景気変動は経済数量の変化によって説明されるから、テキストに示された数値や図を用いながら、戦後日本の景気変動の具体的な姿を解明する。

在庫投資循環（キッチン・サイクル）

設備投資循環（ジグラー・サイクル）

コンドラチェフ・サイクル

の3つのサイクルがまず取り上げられ、それぞれをテキストの図・数値によって説明し、3つのサイクルの関係について説明する。

次に金融や輸出がサイクルといかなる関係があるかを説明する。

講義はテキストの順序に必ずしも従うものではない。

履修上の留意点

景気変動は現実の経済と密接な関係をもっているから、受講者は毎日の新聞記事に注意して出席すること。

成績評価の方法

期末試験
再試実施

教 科 書

森一夫著『日本の景気サイクル』（東洋経済新報社）3,150円

参 考 書 等

篠原三代平著『戦後50年の景気循環』（日本経済新聞社）
嶋中雄二著『メジャー・サイクル』（東洋経済新報社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 資 本 主 義 論	きたほら 北原 勇	経 B 1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商 1・2・3・4選	

講義のねらい

現代は「大失業時代」であり、また「金融システム危機の時代」である。そしてこの事態に対し、確固たる打開策も将来の展望も見いだせない状況にある。なぜ資本主義経済はこのような事態に立ち至ったのか、この正確な分析なしに今後の展望は語れない。本講義は、第2次大戦後の半世紀の歴史を概観しながらこの問題に迫ろうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、現代資本主義分析の方法を巡って正統派・宇野学派・レギュラシオン学派のそれぞれの特徴・有効性・限界を比較検討したうえで、①アメリカ主導の「冷戦下・国家独占資本主義体制」の成立・展開・解体の過程を、他方における「冷戦下・社会主義体制」の成立・崩壊の過程との関連で把握する。

なお、毎回、講義の冒頭に最新のトピックスについて解説する時間をおく。学生諸君が新聞をよく読み現代の様々な問題について考える習慣を身につけてもらいたいからである。

成績評価の方法

学年末試験。随時小テストを加味。再試験実施。

教 科 書

北原勇・伊藤誠・山田鋭夫『現代資本主義をどう見るか』（青木書店）2,500円

参 考 書 等

北原勇『独占資本主義の理論』（有斐閣）
北原勇『現代資本主義における所有と決定』（岩波書店）
井村喜代子『現代日本経済論』（有斐閣）
本間・北原・鶴田編著『資本論体系第10巻・現代資本主義』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 思 想 史	あ べ 部 弘	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立は新しく、19世紀に入って「近代市民社会」の成立の時期と軌道を一つにしている。この講義は「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にする。そして特に、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのばあい、この「フランス革命」の精神、また「プロレタリアート」に象徴される階級社会の問題はヨーロッパだけではなくて、『資本論』が出版された時期に明治維新を契機にして「近代」社会に入っていく日本や、その日本よりも後で近代社会を迎える中国社会の学問形成に大きな影響を与えた。したがって、この講義では、ヨーロッパ・日本・中国で「経済学」がどのような道筋を経て形成されてくるのかを展開してみたい。そのうえで、現代社会の中でこのような性質を持つ「経済学」が私たちに対して一体何を問題提起しているのか、受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 年間の講義は次の構成となる。
- 第1部：フランス革命期における経済学の形成過程
- 第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開
— マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ
- 1 マンデヴィル：新しいブルジョア道徳の特性
 - 2 マンデヴィル批判
 - 3 スミス「道徳感情論」
- 第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程
- 1 フランス革命期の思想と「フランス革命」
 - 2 スミスの「経済学」とその分裂
 - 3 古典派経済学の形成とその矛盾
- 第3章：独占資本主義と帝国主義的経済学
- 1 経済学の二つの側面と保護貿易主義
 - 2 独占資本主義経済学
 - 3 帝国主義的経済学とその批判
- 第2部：日本の明治期における経済学の形成過程の特質
- 第1章：明治期のヨーロッパ自由主義思想の流入とその解釈の特徴
- 1 1840-60年代のヨーロッパ自由社会思想の非体系的輸入
 - 2 フランス革命の精神とその日本的解釈の特徴
 - 3 アダム・スミスの「国富論」
- 第2章：古典派経済学の日本での位置
- 1 スミス「富国論」の意味
 - 2 ジェボンズの価値論の流入
 - 3 Tentearo MAKATO の「経済学」批判
- 第3章：日本の「国家学体系」的学問の成立
- 1 保護貿易主義
 - 2 「マルクス主義」の流入
 - 3 日本的国家学体系
- 第3部：中国の「民国主義」と経済学の形成過程
- 第1章：中国での「経済」および「経済学」の歴史の変遷過程
- 1 「経世済民」思想
 - 2 食貨政策論の展開
 - 3 生活と経済
- 第2章：ヨーロッパ個人主義思想の流入と新しい形の「経済学」
- 1 清朝時代後期のヨーロッパ文化との接触と価値観の変化
 - 2 “Economie”という概念
 - 3 海外への留学と新しい学問の吸収
- 第3章：孫文思想と「経済学」
- 1 孫文思想の特質
 - 2 1949年革命とその特質
 - 3 資本主義思想の輸入と流通主義的経済学の形成

成績評価の方法

- 1 年間4回のレポート作成で単位認定を行います。
(1) レポートは次の大体の日程で行います。

- No.1：6～7月 No.2：9～10月 No.3：11～12月 No.4：1月
- (2) 方法：レポート作成当日に教場で行います。
No.1のレポート・テーマは講師が受講生全体に共通のものを設定します。
No.2以降のレポートのテーマは各自のレポートの中からそれぞれ設定します。
- (3) 単位認定に必要なレポートの回数は4回です。何かの事情でレポート作成当日に欠席したばあいには後日その補いが有効ですが、そのばあいには「理由書」と倍のレポート（自宅での作成／テーマは講師が設定したもの＋自由論題）が必要になります。しかしながら、No.1およびNo.3のレポート未提出者（欠席者）の場合は単位を放棄したものと見なします。
- 2 「定期試験」それに付随した「追試験」・「再試験」は行いません。

教科書・
参考書等

教科書や参考書等は講義の中で指定します。

その他

受講生と講師がレポート外で連絡し得るようにするために、講師の住所等を付記しておきます。

阿部 弘

☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

☎03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538

TEL.03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	はし 橋 の とも 野 知 子	経B1・2・3・4選 12以融入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在米部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済－工業化の新しい局面
- (9)1920年代－世界秩序の再編「ボックス・アメリカーナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代－対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望－産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。

成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

教科書

三和良一『概説日本経済史 近現代』（東大出版会）1993年 2,400円＋税

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋経済史	ともまつ よしひこ 友松 憲彦	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、21世紀の日本に生きていく自分に18世紀や19世紀の西洋の経済を学ぶ意味があるのか、という疑問をもつ人もあろう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もいるのではないか。

いうまでもなく、われわれは数百年まえの西洋社会に生活してはおらず、21世紀の日本社会を生活しているのである。また、どんな学問にも正確な事実認識は重要であるが、たしかに歴史系の科目は他に比べれば覚えるべき事実は多いかもしれず、憂鬱な気持ちが理解できないわけではない。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていない。講義がめざすことは、現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、「過去の経済」(=経済史)の研究から考えることである。具体的にいえば、近代ヨーロッパやアメリカの経済の歴史を、資本主義といわれる経済システムの成長、確立、波及、変質の歴史的歩みを中心に分析し、上記の課題に接近することである。また、「過去の経済」を知ることは、現在われわれの生きている経済や社会を見直し、相対化する目を養ううえでも重要だと思われる。

さらに「西洋経済史」は経済学を学ぶうえでの基礎となる科目でもあることも指摘しておきたい。例えばこの講義からは経済学の発達の歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識を得ることが期待できよう。あるいは、資本主義発展の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能になるように思われる。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係を持ち、経済学の学習にとり土台となる科目なのである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 資本主義とはなにか
 - (1) 商品経済と市場経済
 - (2) 近代と前近代の経済
2. 前資本主義の経済(ヨーロッパ中世の経済)
 - (1) 村落「共同体」と農業
 - (2) 荘園制度
 - (3) 中世都市と商工業
 - (4) ギルド制度
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の生成
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立(イギリス産業革命)
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
5. 資本主義の波及
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 植民地の形成
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 植民地支配とその結果
7. 現代資本主義

専門教育科目

履修上の留意点

講義は低学年でも十分理解できる内容であるが、教科書を使用しないので講義ノートをかみかみ取ることが必要である。

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施しない。

教科書

加勢田博編『西洋経済史』(昭和堂)1996年。配布される資料も重要である。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

その他

質問等で研究室を訪問することを歓迎する。（第二研究館2416研究室）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	よね 米 た 田 ひろ 浩 し 史	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

昨年11月シアトルで開催されたWTO閣僚会議は劇的な失敗に終わったが新たな貿易交渉の中では、先のウルグアイラウンドにおける農業合意が再び見直されることになっている。これに対応して、我が国では1961年制定以来農業政策の原点とされてきた農業基本法に代わって、昨年7月新たに「食糧・農業・農村基本法」が制定され、一昨年12月発表された「農政改革大綱」や「米輸入関税化受け入れ」と共に、日本の農業政策は大きな転換期を迎えつつある。戦後半世紀を経た今日、農地改革に始まる戦後農政の経験を総括して今日の転換の意味を考え、新しい日本農業発展の方向を探求することは、差し迫った国民的課題と言えよう。そのためには、単に戦後農政の展開の後を辿るにとどまらず、日本農業が現在置かれている歴史的、構造的条件を広く世界的な視野から理論的に把握しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

我が国は欧米先進諸国より遅れて、かつ欧米列強の開国への強い圧力の下で、強力な国家主導の産業発展の道を歩むことになった。そのため農業における近代的生産関係の成長は著しく立ち遅れ、明治維新以後支配的となった寄生地主制の重圧のもとでその発展は歪められた。農業における近代的生産関係の未成熟が、戦前の我が国の経済社会の発展に欧米諸国に比べて特異な性格を与えたことはよく知られている。

とりわけ、国内市場の未成熟を背景に強行された対外進出の一環を成す植民地産米移入が国内農業を著しい苦境に追い込み、太平洋戦争下の食糧危機の一因となった歴史的事実を忘れることは出来ない。

戦後、占領軍の主導の下に行われた農地改革は、寄生地主制を基本的に一掃して我が国農業に近代的発展の道を開いたが、経営の零細性は未解決に止まった。また、戦後世界農産物市場におけるアメリカとECの対抗を軸とする市場競争の激化を背景に、我が国もまた二国間、多国間の圧力のもとに次第に農産物の輸入自由化を余儀なくされ、我が国の農業発展は厳しい市場条件に直面することになった。その中で、農家の所得確保の役割が専ら米価に求められたことなどから米の生産過剰が生じ、生産調整が進められた。

同時に、急激な工業製品の輸出拡大を伴う高度経済成長の下で、農村労働力の流出、兼業化の進展、生活コストの上昇などが生じ、小型農業機械や農業による省力技術の普及と相まって農家の専業下限が大きく上昇した。農業基本法の掲げる「自立経営」育成を目指して様々な構造政策が展開されたが、現実には圧倒的な「総兼業化」が進行することとなった。

1993年のウルグアイラウンド合意は、ECのCAP（共通農業政策）改革における直接補助とアメリカの不足払いには手を触れないこととする一方、日本に対しては、2000年までの猶予付きながら、我が国農業に残された最後の支柱である米の市場開放を求め、同時に国内の農業支持措置についても切下げを要求している。これに対して日本は昨年米の輸入関税化を行った。

米の市場開放と農業支持の切下げは、工業製品輸出の急増に伴う対外収支の不均衡と貿易摩擦の解決に資するものとして、あるいは国内に新たな投資機会を生み出すものとして、国内の一部にも根強い期待がある。

しかし、我が国の今後の経済社会の発展の中で農業の果たすべき役割を過少評価することは出来ない。世界の農産物市場の将来は、深刻な食料危機の可能性も含めて多くの不安定要素を孕んでいる。また、世界市場における今後の収支構造の中で、我が国が永遠に現在の地位を維持できると考えるのは楽観的に過ぎるとの見方もある。

更に、地球環境保全のための持続可能な経済発展の見地から、食糧の過度の輸入依存は問題ありとする論議も強まっている。

21世紀に向けて、我が国経済社会の安定した発展を保障する日本農業を構築するために、我が国の農業政策はどのように展開されるべきか、学生の皆さんとともに考えて行きたい。

前期は農業問題の解明の前提となる地代論、農産物価格論、農産物市場論など農業理論を中心に、後期は我が国の農業問題、農業政策の歴史的展開過程を中心に講義を進める。

履修上の留意点

「経済政策（石井啓雄教授）」と併せ受講されることをお勧めする。

成績評価の方法

期末試験の成績および出席状況を考慮する。再試験を実施する。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	ふく だ あつし 福 田 敦	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

今年度は、わが国経済のダイナミズムの源泉であり日本経済再生の鍵とされる中小企業に注目し、その経営実態の把握と政策スタンスのあり方を検証します。はじめに、わが国の社会経済環境が大きく変わる中でこのほど中小企業基本法が36年ぶり改正され、中小企業政策の理念がこれまでの「二重構造の格差是正による豊かさの実現と結果の平等」(弱者としての画一的中小企業像)から「多様で活力ある独立した中小企業を育成・発展」(経済の新陳代謝と雇用創出機会の担い手という積極礼賛的中小企業像)へ大きく転換した意義について検討します。その際、わが国の中小企業政策について振り返りその総括もする予定です。

次に、中小企業の経営や地域産業(または産業集積)の現状について考察し、今回の政策転換の妥当性について議論を行います。なお、講義の対象としては必ずしも製造業に限定せず、また海外の動向についても取り上げる予定です。講義のねらいは中小企業に対する正しい理解と今後の政策スタンスのあり方を学ぶことです。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 市場経済と中小企業のミッション
- 2 中小企業と大企業との分業取引関係の変化
- 3 中小企業問題とこれまでの中小企業政策の総括
- 4 中小企業政策研究会報告書(平成11年5月)の概要
- 5 新たな時代の中小企業者像と中小企業政策のあり方
- 6 中小企業の経営実態と今後の経営課題
- 7 地域経済の中で期待される中小企業の役割
- 8 産業集積形成の意義と崩壊のプロセス
- 9 創業・ベンチャー企業支援のための政策課題
- 10 中小企業の経営革新と地域経済の活性化に向けた政策課題
- 11 国と自治体の政策コンプレックスのあり方

履修上の留意点

教わるという受動的な考え方で履修するのではなく、自ら考え自ら学び自ら授業に参加するという気概をもつ学生の受講を希望します。単位の認定や成績については全て自己責任とします。

成績評価の方法

受講生の数にもよりますが、区切りがよく一定の時間が経過した段階で学生諸君の問題意識や考え方を探るために簡易な試験を行います。出席点はこの試験をもって代えます。このほか、夏休みには簡単なレポートを課す予定です。なお、再試験については行う予定です。

教 科 書

伊丹敬之・松島茂・橘川武郎『産業集積の本質』(有斐閣)
清成忠男・港徹雄・田中利見『中小企業論』(有斐閣)

参 考 書 等

関満博『空洞化を超えて』(日本経済新聞社)
鈴木安昭『新・流通と商業』改訂版補訂(有斐閣)
橋本久義『町工場の底力』(PHP研究所)
前田重朗・石崎忠司『中小企業の現状とこれからの経営』(中央大学出版会)

そ の 他

ビデオやスライド等の視聴覚教材を随時使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 経 済 論	やまぐち ゆうじ 山 口 由 二	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

産業革命以後、人類は無限と思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々を文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱い、理解を深める。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地のあり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論が出ることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。この結果と共に、授業の出席回数を成績評価に加味する。また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、使用する場合最初の授業時に指定する。

参考書等

K. W.カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)

環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1950年に原著は刊行されている。

宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書(岩波書店)

若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？

宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい

筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”として捉えている。環境庁編『環境白書平成11年度版 総説・各論』(大蔵省印刷局)

白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてわかりやすく書かれている良書。総説は毎年副題が替わり、11年度版は「21世紀の持続的発展に向けた環境メッセージ」で20世紀の環境問題に対する反省から次世紀に如何なる教訓が得られ、今後の持続的可能な社会の方向性を論じている。

その他

毎回の授業でプリントを配布するので、なくさないように各自整理しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	さと なか つね し 里 中 恆 志	経 B 1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをおとしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担配分の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていないなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済のかかわりについて総需要管理政策を講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用=便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 国債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の担当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

関連科目として、経済学部専門教育科目である「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。「財政学」は経済と政治の学際的分野の科目でもあるから、他学部履修科目として開設されている法律学科の「行政法各論」、政治学科の「地方自治法」等の履修も有効である。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。白筆のノート持ち込み可。再試験を実施する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 政 策	はん や とし ひこ 半 谷 俊 彦	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

財政政策は財政学と密接な関係にある。財政学が公共部門の経済を分析し、その望ましいあり方を追求する学問であるのに対し、財政政策は、その名が示すとおり、財政学の成果をどのように政策に反映させるかを論じるものである。この講義では、景気対策、地域振興政策、環境保護政策など、現実に行われている財政政策を批判するための基礎能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

財政の役割は、①資源の効率的配分、②富の再配分、③経済の安定化、の3つに大別することができる。①には例えば独占への対策、公共財の供給、環境汚染への対策などが該当する。また②には租税による所得の平準化や社会保険などが、そして③には公共投資の拡大による景気対策などが挙げられる。前期ではまず①を達成するための政策を検討し、次いで最も重要な政策手段のひとつである租税について、その基礎理論を論じる。後期ではこれを受けて、②および③を達成するための政策について検討する。

成績評価の方法

前期試験および後期試験により評価する。なお4年次生については再試験を実施する。

教 科 書

H.ツィンマーマン・K.D.ヘンケ著、八巻節夫・平井源治他訳『財政学』（文眞堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 財 政 論	しの 篠 原 あきら 章	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化社会と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末に筆記試験またはレポート提出を義務づける。また、少なくとも前後期各1回は課題を示し、簡単なレポートも作成してもらう。再試験は実施する。

教 科 書

4月開講時に指示する。

参 考 書 等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

そ の 他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール (akirashi@ic.daito.ac.jp) でも受け付けるので、ぜひ活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 論	す 諏 訪 孝 之 たが 仰き	経B1・2・3・4選	

講義のねらい

日本版ビッグバンの進展から銀行不倒神話も崩壊し、今や、第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行の3行統合、さくら銀行・住友銀行の合併等にみられるとおり、大手銀行を中心に生き残りを賭けた経営戦略を展開している。このように日本の金融システムも戦後50年体制が崩壊しつつあり、21世紀を展望して、各金融機関は従来の護送船団方式から自己責任に基づく経営責任が問われる時代を迎えようとしている。

本講義は、金融機関、主として、銀行界では、今何が起きているのか、また、21世紀の日本の金融システムの在り方等「日本版ビッグバンの今日的課題と21世紀への展望」を中心に講義する。なお、講義は、理解がより深められるよう、ビデオもより多く併用して行う。

講義の内容・授業スケジュール

回	講 義 内 容
	〈銀行不倒神話崩壊の事例研究〉
1	北海道拓殖銀行の崩壊とその影響
2	日本長期信用銀行・日本債券信用銀行の崩壊とその影響
	〈金融の基礎知識〉
3	金融と経済活動
4	日本の金融構造の特徴と欧米主要国との比較
5	銀行の機能と業務（その1）
6	銀行の機能と業務（その2）
7	保険・証券会社の機能と業務
8	金融市場と金利
9	金融政策と財政政策
	〈日本版ビッグバンの今日的課題〉
10	金融自由化の軌跡
11	日本版ビッグバン導入の背景等
12	欧米主要国のビッグバンの特徴と進展状況
13	外国為替法の改正とその影響
14	新生日本銀行
15	早期是正措置制度導入の背景等
16	不良債権問題
17	預金保険機構の機能等
18	ペイオフ問題
19	金融機関の機械化の進展と課題（その1）
20	金融機関の機械化の進展と課題（その2）
	〈21世紀の日本の金融機関システムの展望〉
21	21世紀の日本の金融機関システムの在り方（その1）
22	21世紀の日本の金融機関システムの在り方（その2）
23	銀行は魅力ある職業か
24	テスト
	* 講義内容は変更することがある。

専 門 教 育 科 目

成績評価の方法

テストのみならず出席も重視する。

教 科 書

諏訪 孝之著『日本の金融システムの変容と進展』発刊予定：予価 300円

そ の 他

授業はビデオを多用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 金 融 論	あき やま せい いち 秋 山 誠 一	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

今日の国際取引は、経常取引（商品・サービスの輸出入）と資本取引の両面において、自由化が進んでいる。このなかで国際間の経済取引が拡大するとともに、国際間の決済とファイナンスが重要な問題となってきた。決済は外国為替を用いて行われるので、経常取引と資本取引にもとづく外国為替の需給関係が外国為替相場を決定するが、逆にその変動が経常取引と資本取引に影響を与え、ひいては各国の経済活動全体に影響を及ぼす。このため、為替相場・通貨危機が各国の経済危機の発端となり、また経済危機は為替相場・通貨危機として現れる。このような今日の経済のグローバル化のもとでは、外国為替の仕組みや国際金融市場の一定の知識がなければ、各国および世界の経済状況を正確に理解することはできない。そこで、外国為替や国際金融問題を理解するために必要な基礎的知識を得ることをねらいとして主に以下の内容で講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

第一に国際経済取引の全体とそれの通貨金融との関係を知るため、国際収支概念の説明とその決定要因とファイナンスについて見ていく。第二に国際決済や資金移動に使われる外国為替の原理と国際通貨を問題とする。第三に所在国通貨以外の通貨を用いて国際金融取引を実行するユーロ市場を問題とする。第四に国際通貨制度の歴史的発展と為替相場変動を見ることで、一見無秩序に思われる今日の変動相場制の下における為替相場変動の要因を問題とする。

履修上の留意点

講義の理解を助けるため経済理論、国際経済・貿易論、貨幣・金融論等を並行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

再試験を実施する。

教 科 書

山田喜志夫『現代貨幣論』（青木書店）3,200円

参 考 書 等

小野朝男、西村閑他編『国際金融論入門第三版』（有斐閣）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤヌスの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たな勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義計画は、以下の通りである。

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済
 - ① 資本主義萌芽問題
 - ② 植民地経済の実情
 - ③ 「植民地近代化論」批判
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
 - ① 農地改革
 - ② 外国（アメリカ）援助
 - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
 - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - ① 新古典派アプローチ
 - ② 世界システム論的アプローチ
 - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
 - (2) 東アジア経済発展論
 - ① 世銀のアプローチ
 - ② 国家主義的アプローチ
 - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
 - ④ その他……企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏

7. アジア経済の現状

- (1) アジア通貨危機の発生とその影響
- (2) その他の諸問題……環境問題 etc.
- (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小 ^こ 杉 ^{すぎ} 修 ^{しゅう} 二 ^じ	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

平成12年度休講

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論	し 清 みず 水 たかし 卓	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

ヨーロッパ経済論は、資本主義世界経済を創り出し、その主導者として、数百年の間、世界の近代化を進めてきたヨーロッパ経済の現状分析を通して、今後の日本と世界経済の展望について考察することを課題とします。

冷戦崩壊後10年、世界は、市場原理による経済運営と自由貿易体制の時代に入っています。効率至上のアングロサクソンの新自由主義経済システムが、経済格差、環境破壊などの諸問題の解決にとり有効である否かを、ヨーロッパ諸国の現状をふまえて検討します。

欧州連合（EU）の11カ国は、昨年1月単一通貨ユーロを発行させました。通貨統合はアメリカドルから自立した強く安定した欧州通貨を創出し、欧州経済統合の完成を目指しています。一般市民がユーロ紙幣や硬貨を使用するようになるのは2002年ですが、このユーロが安定通貨になるか否かは、世界経済のあり方に大きく影響します。

1997年には、イギリス、フランス、1998年にはドイツで社会民主主義政党が政権につき、EU 15カ国のうち13カ国が左派中道政権となりました。こうした政権が、グローバル化に対応して、第二次大戦後作り上げた福祉国家の成果をどのように継承ないし刷新して行くのか注目されます。とりわけ、民営化やリストラによる高失業率をどのように解決していくのか手腕が問われています。通貨統合と併行して進められる東欧、中欧諸国への EU 拡大、それに伴う EU 機構の再編など、統合過程の動きも目が離せません。

講義の内容・授業スケジュール

【前期予定】

第二次世界大戦と戦後ヨーロッパ
 西欧経済の高成長
 欧州統合への歩み－EEC への道
 経済統合の展開－関税同盟
 経済統合－共通農業政策
 経済成長の限界－スタグフレーション
 経済危機下の EC－通貨危機
 経済危機への対応(1)－サッチャーリズム
 経済危機への対応(2)－ミッテランの実験
 1992年市場統合－非関税障壁の克服
 経済通貨同盟－単一通貨ユーロ
 前期試験

【後期予定】（EU の最新動向をフォローするためテーマを変更することがあります）

ヨーロッパの多様性－地理・民族・文化
 EU の農業－多様性
 EU の産業の変貌－
 EU の機構と財政－超国家か国家連合か
 EU と地域政策－地域格差の克服
 EU の拡大－東欧、中欧諸国の加盟に伴う諸問題
 EU の対外関係－日本との比較
 欧州の平和問題－冷戦と民族問題
 後期試験

専門教育科目

履修上の留意点

ヨーロッパ経済論は、一つの体系的理論を敷衍する科目ではありません。ヨーロッパの多様性について認識を深め、経済社会の現実に向け、経済や社会的諸問題の解決には様々な視点が可能であるのだということを確認してもらいたいと思います。

成績評価の方法

試験点数を基本とし、出席回数にも若干配慮します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書

教科書はありません。ただし、日経文庫『EU の知識』は有益でしょう。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はまもと かず ひこ 濱 本 和 彦	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は第2種情報処理技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

成績評価の方法

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	いわ 岩 せ 瀬 ひろ 弘 かず 和	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス (CG) は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CG を作成したり鑑賞する機械が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CG の概要から始まり、CG 作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存の CG 作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG 理論の理解を深めていく。さらに、現在 CG が応用されている分野を知り、今後どのように CG が活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元 CG の作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術 (投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲線、B スプライン曲線など)
 - ・自由曲面の種類とその理論 (ベジエ曲面、B スプライン曲面など)
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、Shade、VRML などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。
再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料

参考書等

黒瀬能幸『3次元図形処理工学』(共立出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	経 B1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり。また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問にしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試験は実施する。

教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号

6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムの全てが非合理的なのであろうか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、数回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1)ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2)流通機構と流通構造
- (3)流通の意義と機能
- (4)資本主義商業の基礎理論
- (5)日本の流通政策・商業政策とその枠組
- (6)独占禁止法とその体系
- (7)再販売価格維持制度と景品表示法
- (8)取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9)訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10)流通政策の転換と街づくり
- (11)中小小売業の役割
- (12)大規模小売店舗法
- (13)流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14)まちづくり三法
- (15)商店街再生への取り組み
- (16)海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義で取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験を実施する。

そ の 他

- ・ 講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・ 講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・ 参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・ 問い合わせ先、E-mail : h2banba@cuc.ac.jp、HP : <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 品 学	いし ざき よし しみ 石 崎 悦 史	経 B 1・2・3・4 選	4
		12以降入学生/経 A・商 1・2・3・4 選	

講義のねらい

現在の商品の状況は変化が激しいが、消費者のニーズと企業との関係のなかで出現するものである。それをもとにして、商品の将来と社会生活の変化を考えたい。

現実のなかから商品学の体系を作り出すという手法を試みようとしているが、これが成功するかどうかは学生諸君の参加の程度にかかっている。自分の頭で考えるという習慣を大学生としてもたないと勉強はほとんど意味をもたないからである。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順にしたがうが、現実をいかに抽象化していくかということを念願においているので、商品ブランド、CMなどの役割から社会科学の体系まで考えるプランを実行してみたい。教科書をみて判断して下さい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこなう。再試験は行ないません。

教科書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参考書等

- (a) 石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
- (b) 片岡寛編著『市場力学を変える商品多様化戦略』（中央経済社）
- (c) 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
- (d) 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

授業の方法

例年受講者が多いので、大教室での講義形態をとらざるをえないが、勉強をおもしろくするための方向性を示したいと考えている。勉強が生きる力になることを期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 論	しお 塩 み 見 えい 英 じ 治	経 B 1・2・3・4 選	4
		12以降入学生/経 A・商 1・2・3・4 選	

講義のねらい

「交通」を経済面から眺め、交通現象に経済理論の光をあて、様々な交通問題の解決策について検討します。同時に、「交通」を通して「経済学」「経済」の理解を深めることを狙いに行っています。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 交通の概念と交通経済論の特質 | 12. 運賃学説の系統 |
| 2. 交通の発展と交通政策の展開 | 13. 負担力主義・差別運賃 |
| 3. 現代資本主義における交通政策の展開 | 14. 限界費用決定運賃 |
| 4. 情報社会における交通 | 15. 道路混雑とロードプライシング |
| 5. 交通需要の性質と市場対応 | 16. 総括原価運賃制度 |
| 6. 交通のサービスと交通システム | 17. インセンティブ規制運賃 |
| 7. 規制の理論と交通市場の変化 | 18. 交通事業における運賃制度 |
| 8. 規制緩和の理論と交通市場の変化 | 19. 交通社会資本と費用負担 |
| 9. アメリカにおける交通事業の規制緩和 | 20. 高速道路の整備と資金調達 |
| 10. 日本における交通事業の規制・規制緩和 | 21. 交通投資の決定と評価 |
| 11. 総合の交通政策 | 22. 国際交通システム |

履修上の留意点

授業内容を理解するためには出席に努める必要があります。

成績評価の方法

前期に小テストを1回実施、後期に期末試験を実施して総合評価を行いません。再試験は実施しません。

教科書・
参考書等

プリントを配布します。その都度、参考文献を指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	こうのやすのり 幸野保典	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実には商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 商業史の課題と方法（1回）。2. 近代以前の商業（2回）。3. 明治期の商業、①近代商業の経済的環境（1回）、②近代商業経営の成立（1回）。4. 大正・昭和期の小売商問題、①小売商の社会経済環境（1回）、②商業人口の過剰現象とその定着度、（1回）、③中小商業者の零細性（1回）、④各種小売形態の発展、a. 百貨店の発展（2回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場の設置（1回）、d. 商店街の形成（1回）。⑤中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実態（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。⑥中小小売商の社会運動、a. 営業税反対運動（1回）、b. 政党運動の展開（1回）、c. 反百貨店運動（1回）、d. 反産運動・その他の社会運動（1回）。5. 戦時下の商業、①商業の再編成（1回）、②転廃業問題（1回）、6. 戦後の小売商問題、①中小小売商の保護政策（1回）、②流通革命とスーパー・マーケット（1回）、③コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

さらに、これら講義の間に「商店街探検シリーズ」と題して以下の各地商店街の発展史および現状についても考察し、商店街と地域文化について考察する。①砂町銀座商店街②中野北口サンモール・ブロードウェイ商店街③巣鴨地藏通商店街④札幌狸小路商店街⑤高円寺純情商店街⑥阿佐谷パールセンター街⑦横浜中華街⑧谷中銀座商店街⑨浅草仲見世商店街。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジュメを用意する予定である。

参考書等

竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 経 済 論	まる やま なお こ 丸 山 直 子	経 B1・2・3・4選 12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会では、人々は実社会から収入を得る一方、必要な財やサービスのほとんどすべてを市場を通して購入し生活している。つまり消費生活は経済社会と密接な関わりをもって営まれていることになるが、最近では“生活の社会化”といわれるように、個人々々の消費生活は社会の動きにいつそう直接的に影響され、また個々ばらばらに見える消費者の行動が経済全体に大きく影響を及ぼすようになってきている。経済のグローバル化、地球環境問題、少子・高齢社会への移行など生活を取り巻く環境は変化し、さらに規制緩和や金融改革などにより消費生活は次々に新たな課題に直面している。

こうした状況を背景に、消費経済を学ぶには、生活の安定と豊かさの実現へ向けて適切で有効な手段を追求しながら、単に経済的側面だけでなく生活全般にわたる問題とともに考えていく必要があると思われる。

本講座では、消費生活を社会の変化と関連づけて広く捉えること、消費者・生活者重視の立場から検討することを特徴とし、基礎的知識を得ると同時に自分自身の生活を見直すために役立つものとなることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間の授業を4分野に分け、以下のテーマをとりあげる。

- ① 産業社会の発展と生活の変化 — 経済発展がもたらした成果と問題点
近代社会の始まりとしての産業革命、アメリカの高度大衆消費社会、日本の近代化から高度経済成長の軌跡、国際化の進展、規制緩和と消費生活
- ② 消費者問題と国の消費者政策
消費者政策の体系、商品の安全性問題、商品の規格と表示に関する新しい動き、消費者取引に関する法律と制度
- ③ 消費経済の実態をみる — 各種の調査・統計データに基づく分析
国民経済と家計、家計調査の概要、所得（収入）の実態、消費（支出）の実態、消費の変動要因、物価、貯蓄、耐久消費財の普及率・サービス利用度など
- ④ 消費生活の今後の課題
高齢化と生活設計、社会保障とは、環境問題と消費生活

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の成績を総合評価する。
再試験は行なわない。

教 科 書

教科書は使用せず、作成資料を毎回配布する予定。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学総論	てら なか りょう じ 寺 中 良 二	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経営学には大別して企業論と管理論という二つの学問領域がある。企業論の展開として個人企業、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社（初期・近代・現代）、公企業、自主管理社会有企業について体系的に講義を展開する。特に資本主義企業の最も支配的企業形態としての株式会社制度については、証券市場制度成立による出資資本の回収機構、擬制資本範疇としての株価形成の論理と算式、株式会社の支配機構およびそれに基づく財務技術の狙いと事例、現代株式会社における経営者支配をめぐる論争、その他について説明する。また、自主管理制度については、労働者の人間的復権にもとづく企業民主化の徹底性を明らかにしたい。さらに、管理論においては、アメリカ資本主義の独占形成期に成立したテーラーの作業管理技術の主内容とその本質、大企業における下層から上層への管理技法の全般化と経営者の役割、全体主義批判の思想を根底にもつドラッカーの組織原理や労務管理などに言及する。以上二つの領域ともに、経営学という学問が、人間の幸福に少しでも役立つと思える。尚、経営の国際化に対応して、専門用語（経済英語・経営英語）の習得にも力を入れたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

【企業論】

- I 企業形態論の方法
- II 人的会社
 - (1) 個人企業の特質と限界
 - (2) 合名会社の形成と特質ならびに内部変化
 - (3) 合資会社の形成と特質
 - (4) 有限会社の成立要件・意図と地位
- III 株式会社
 - (1) 初期株式会社の成立事情
 - (2) 人的会社と近代株式会社
 - (3) 資本の動化
 - (4) 擬制資本および株価の形成
 - (5) 自己資本の他人資本化
 - (6) 創業者利得のヒルファディングによる解明
 - (7) 株式会社の機能資本家
 - (8) 株式会社と協同組合
 - (9) 創業者利得の取得形態
 - (10) 現代株式会社の主内容
 - (11) 配当利子化の二段階
 - (12) 自己金融
 - (13) 経営者支配の諸問題
 - (14) 株式各論
- IV 公企業
 - (1) 主要国における公企業の設立事情
 - (2) 現代資本主義のもとにある公企業の性格と役割
- V 企業の民主化・国有化・社会化
- VI 自主管理社会有企業
 - (1) 自主管理連合労働体制
 - (2) 体制転換（株式会社化）
- VII 米国自動車企業各論

【管理論】

- I 現場肉体労働者に対する管理としての管理論の成立－テイラーシステムにおける管理機能と執行労働の分離
- II 全般的管理への拡大としての管理論－中間管理者に対する管理（分権管理）とトップ・マネジメントの経営戦略
- III ドラッカー理論の主内容および現代的意義と限界
- IV 人間主義的管理論の意義－管理のための管理論から人間の幸福に奉仕する管理論へ

履修上の留意点

- (イ) 授業に際しては、できるだけ要点を板書して学習の便をはかりたい。
 (ロ) 4～5月中及び9月最初の授業時間には、原則として授業内容の復習として5～15分間最初に再度要点を喋る。これで履修学生諸君の講義理解が高まるものと思う。

成績評価の方法

昼間部経営学総論と連動して、年度途中における平常試験を1回実施する。平常試験と期末試

験の成績との総合評価（単なる算術平均はしない）による。全員の成績が万一悪い場合には相対評価法を導入して救済する。再試験をします。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

授業の進行に応じ言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 管 理	しろ ^{まか} 坂 ^{とおる} 亨	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・ 授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。

教 科 書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営戦略論	田 ^た 淵 ^{ぶみ} 泰 ^{やす} 男 ^お	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している今日、経営戦略の優劣いかんが、企業の盛衰に大きく影響するようになってきました。そうした環境に、いかにしてうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つです。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえて、基礎的かつ重要な論点にかんする知識を提供し、その考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論の歴史・概念・体系などにはじまり、その企業の事業とは何かを定義して事業領域を選択する全社的な企業戦略、新しい製品・市場をめざして複数の事業へ経営資源を展開する多角化戦略、多角化企業の経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点分配するかを考えるポートフォリオ戦略、競合企業に対し競争上の優位な地位を確立するための競争戦略などについて、それらの理論を事例をまじえて説明していきます。

履修上の留意点

実際の企業動向の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃からさまざまなメディアを通じてとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

前期試験と後期試験の平均値によって評価することを原則とします。ただし、出席、およびレポートを課した場合には、それらを含めて総合的に評価することもあります。なお、再試験を実施します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

OHP を利用します。また必要の都度、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 史	岩 永 宏 治 <small>い わ な が こう し じ</small>	経 B1・2・3・4選 <small>12以降入学生/経A・商1・2・3・4選</small>	4

講義のねらい

企業・経営における実践の理論的体系化として生成・発展してきた経営学の歴史的展開を中心に講義していく予定です。その際、アメリカを代表する学説に焦点を当て、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明していきます。そのなかで、アメリカにおける経営学の基本的性格とその歴史的・客観的な意義と役割を明らかにしていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

- ① アメリカ経営学の基本的性格
- ② アメリカ資本主義と管理問題
- ③ 独占形成と管理問題
- ④ アメリカ経営学の思想的背景
- ⑤ テイラリズム
- ⑥ 科学的管理と精神革命
- ⑦ フォーデズム
- ⑧ 合理化運動と労働問題
- ⑨ 人間関係論とホーソン実験
- ⑩ 人間関係論の基本思考
- ⑪ フォレット学説の特徴
- ⑫ 行動科学的管理学説の展開

履修上の留意点

疑問などを積極的に提示して下さい。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。
「再試験を実施する」

教科書

高木・丸木編著『経営管理の理論と歴史』（中央経済社）

参考書等

必要に応じて随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学 総 論	なか ほん しょう きち 中 原 章 吉	12以降入学生/経B1・2・3・4選	4
		11以前入学生/経B1・2選(商学専修)	
		11以前入学生/経B1・2選(経済学専修)	

講義のねらい

2年次以降の会計学関係の科目を理解するための会計学の基礎を総論的に講義将来、企業実務、会計実務、会計職業人-税理士、公認会計士などの職業にたずさわるのに役立つことを主眼とし、複式簿記からはじまる会計学一般につき、その技術的、理論的講義をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

4月～5月
 第1週 会計とは何か。企業会計とは何か。会計学の領域、複式簿記の役割－企業会計の認識、測定、財務会計－企業会計の開示、管理会計－企業活動の管理、監査、会計監査－企業会計の検証、財務諸表の監査。会計職業人について。
 第2週 企業会計の計算構造。
 企業会計の対象は企業活動。企業活動は資本の調達、その具体的財産への転換、その運用による利益追求。企業会計はこの資本運動を認識、測定、管理、伝達。財産計算、損益計算。
 第3週 財務諸表とは何か。
 企業が実際に作成した貸借対照表、損益計算書のコピーを配布。その内容の説明。
 第4週 企業会計の規制。
 商法による規制目的、税法による課税所得計算目的、証券取引法の規制目的。以上の規制内容について。日本の企業会計規制の特質。
 6月～10月末まで。7月始め、中間試験。
 複式簿記の基本構造、複式簿記による企業活動の記帳について講義
 取引、取引要素、資産、負債、資本、収益、費用、勘定科目、仕訳、元帳転記、試算表、6けた精算表、帳簿の縮め切り、決算整理、8けた精算表。貸借対照表、損益計算書の作成
 11月～12月 企業会計、会計学をめぐる最近の思潮。単独から連結へ、会計の国際化、環境会計など。

履修上の留意点

途中欠席すると講義が理解できなくなるので必ず出席のこと。

成績評価の方法

中間試験。定期試験の総合による。

教 科 書

中原章吉『企業会計の基礎』（創成社）1999年

参 考 書 等

講義の中で紹介。

成績評価の方法

教科書による。ときにプリント配布。
 以上のスケジュールは学会出張などによって変更することがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
簿記論	かわぐち おさむ 川 口 修	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在、簿記といえば技術的には、複式簿記を意味している。その簿記を商企業に適用したものが、商業簿記である。商業簿記は簿記を理解するうえで、最も基本になるものである。この講義では、簿記の基礎から仕訳・転記、試算表・精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書・貸借対照表の作成までの一巡について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、簿記の基礎概念、仕訳と仕訳帳記入、元帳転記、簡単な決算手続きまでの一巡について講義する。ここまでは、いわば、簿記の骨格であるから、正確な理解をして欲しい。後期には、勘定科目の内容と具体的な事例の処理、決算整理事項を含む決算手続きについて講義を行う予定である。

履修上の留意点

簿記は、基礎の理解とそれに基づく積み重ねであり、不断の努力が必要とされるものである。講義は、テキストを中心に進めていくので、予習・復習が内容理解の上で大いに役立つと考えている。休まないで受講して欲しい。

成績評価の方法

試験は、前期と後期の2回を考えている。比重は、前期4・後期6程度とし、出席を考慮した総合評価を行う。詳しくは、最初の講義の時に説明する。再試験を実施する。

教科書

『簿記の基礎構造』（創成社）

参考書等

必要に応じてプリント等を配布する。
『簿記の基礎構造』ワークブック（創成社）

その他

計算を必要とするので指示をした時には、計算用具を持参して欲しい。簿記は実用性の高いものであり、会計関連科目の基礎となるものであるから、しっかりと学習・理解して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	飯岡透	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計は、企業の会計情報を投資家、債権者、仕入先、政府など企業外部の利害関係者に伝達し、利害関係者の意思決定に役立つとともに、利害関係者それぞれの利害を調整することを目的とする会計をいう。財務会計は、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化・国際化などに伴い、近年、ますます重視されるようになってきている。そこで、この講義では、こうした財務会計の概要とその社会的役割について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講義での授業内容とスケジュールは、次のとおりである。

[前期]

- 4月 わが国の企業会計制度
 - (1)企業会計の概要
 - (2)商法会計と証取法会計
- 5月 資産の分類と評価
 - (1)資産の意義
 - (2)資産の分類
 - (3)資産の評価
 - (4)資産の評価に関する規定
 - 流動資産の合計
 - (1)当座資産の評価と表示
 - (2)棚卸資産の評価と表示
- 6月 固定資産の会計
 - (1)有形固定資産の会計
 - (2)無形固定資産と投資その他の資産の会計
 - 繰延資産の会計
 - (1)繰延資産の意義
 - (2)繰延資産の記載内容
 - (3)臨時巨額の損失
- 7月 負債の会計
 - (1)負債の意義と分類
 - (2)流動負債の記載内容
 - (3)固定負債の記載内容
 - (4)引当金の記載内容
- 9月 資本の会計
 - (1)資本の意義と分類
 - (2)資本金と資本準備金
 - (3)利益準備金とその他の剰余金
- 10月 損益の会計
 - (1)収益の認識と測定
 - (2)費用の認識と測定
 - (3)損益項目の記載内容
 - 財務諸表作成の基礎的前提と作成原則
 - (1)財務諸表の作成と会計公準
 - (2)財務諸表の作成と企業会計原則
- 11月 財務諸表の作成
 - (1)貸借対照表と損益計算書の作成
 - (2)営業報告書と利益処分計算書及び損失処理計算書の作成
 - (3)付属明細表及び付属明細書の作成と注記事項
 - 財務諸表の分析
 - (1)財務諸表分析の目的と種類
 - (2)安全性の分析
 - (3)収益性の分析
 - (4)生産性の分析
- 12月 連続財務諸表の作成
 - (1)連続財務諸表の作成目的と作成原則
 - (2)連続財務諸表作成の一般基準
 - (3)連結貸借対照表の作成手続

- (4)連続損益計算書の作成手続
- 1月(5)連続剰余金計算書の作成手続
- (6)連続財務諸表の注記事項
- (7)持分法の適用

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

財務会計の履修に当っては、会計学総論及び簿記論を履修し、十分理解していることが望まれる。

成績評価の方法

年度末のテスト（70%）とレポート（30%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『財務会計概説』（中央経済社）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	飯岡透	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査についての理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前期〕

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任

- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と解任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

9月 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調書の目的と種類

- (1) 監査調書の目的と作成要件
- (2) 監査調書の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
- (1) 経営者確認書の意義と目的
- (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

専門教育科目

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、夏季休業中のレポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。再試験を実施する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していききたいと思います。

後期は管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくこと講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円 平成11年。

教 科 書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	かわぐち 川口 修	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

原価計算は、原価計算基準にあるようにその目的が多様である。この講義では、原価計算の基礎にある考え方を述べ、その中心のねらいとして、財務諸表目的の原価計算について講義する。すなわち、製品の製造過程を前提として、そこで消費される価値が、どの様に製品へ移転・計算されていくのかを論ずる。基本と考えるその領域を理解し、他の目的にも適合するような原価計算を前提として考えている。管理会計目的の原価計算は、その技術的展開が多様である。それらを講義することは、時間的制約もありやや困難であると思われるが、可能な限り述べてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、原価計算目的、原価概念、原価計算制度等の基礎的事項を述べ、製品原価計算の基礎である材料費・労務費・経費の計算、直接費・間接費の計算を講義する。後期には、製品・製造形態の相違を前提として、個別原価計算・総合原価計算とその応用計算の講義を行う予定である。時間がある時には、標準原価計算・直接原価計算などについても論じる予定である。

履修上の留意点

製品原価の計算は、製造を行っている現場と密接な連携を必要とする。それゆえ、難解な部分もあろうかとも考えられるが、出来る限り講義で詳しく述べる予定である。学生諸君も努力を惜しまないで欲しい。

成績評価の方法

試験は、後期のみである。そして、出席を考慮して総合評価を行う予定である。詳しくは、最初の講義の時に説明する。再試験を実施する。

教科書

小林健吾著『原価計算総論』（創成社）3,000円

参考書等

必要に応じてプリント等を配布する。

その他

計算を必要とするので指示をした時には、計算用具を持参して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかきかつみ 高木克己	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4履	

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格説制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。再試験は実施しない。

教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析	おぐりなかし 栗 崇 資	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

経営分析は、企業の公表財務データにもとづき、趨勢分析や比率分析を通じて企業の経営能力や実態を明らかにしようとする実践的な学問である。経済分析は歴史的には企業の支払能力を測る信用分析から始まったが、今日では個別企業をめぐる収益性や安全性、生産性などの比率分析や資金分析、損益分岐点分析などの応用分析が行われるようになった。また個別企業にとどまらず、連結財務諸表を使用して企業グループの分析や企業間比較における産業分析も行われてきている。いずれも会計学の基礎知識とともに、現代の企業や産業に関する総合的な知識と判断力が求められる。講義では、経営分析の基本を身につけるとともに、可能なかぎりケーススタディを行うことで分析方法に習熟し、分析のセンスを養うことができるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容と授業スケジュールは次の通りである。

1. 経営分析の基礎
2. 財務諸表の見方
3. 有価証券報告書の見方
4. 経営分析の方法
5. 収益性の分析
6. 安全性の分析
7. 資金の分析
8. 内部保留の分析
9. 生産性の分析
10. 損益分岐点の分析
11. 企業のグループの分析
12. 粉飾決算の分析
13. ケーススタディ

履修上の留意点

有価証券報告書や企業のデータのプリントを適時、配布するので、欠席しないようにすること。また配布プリントはケーススタディの材料として講義時間中、使用するので保管すること。

成績評価の方法

レポートと定期試験により評価する。再試験は実施しない。

教科書

山口孝他『企業分析』（白桃書房）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
証券市場論	佐藤 昇 <small>さとうのぼる</small>	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲拡大傾向について注目したい。

つぎに伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債券と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷跡を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大改革「日本版ビッグバン」を実行しつつある。ビッグバン計画に盛り込まれた施策が完成した段階では市場の様相は大きく変貌する筈である。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点や不明な用語があれば、積極的に質問をしてもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価するが、追・再試験を実施する。

教科書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,100円

参考書等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 論	いま いずみ たか ただ 今 泉 敬 忠	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、個人であると企業であるとを問わず、多様化しかつ巨大化した危険（リスク）をどのように処理するかは、経済生活上大きな問題となっている。そうした危険の処理に当たって大きな役割を果たすのが保険制度である。本講義では、まず保険の基本的原理を理解し、その上で個別の保険を取り上げてその実際がどのようになっているかが理解できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険の研究方法には種々あるが、本講義では、前期には、保険の基本的原理（すなわち、保険の生成、保険の概念、保険の機能、保険料、責任準備金、資産の運用とその規制、保険者の組織、保険の分類等）を取り上げ、後期には、個別の保険（例えば、その代表として、歴史的に一番古く、その後生成したその他の保険に大なり小なり影響を与えた海上保険）を取り上げ、経済生活上危険の発生が予測される場合、その危険が現実が発生し、それによって生じる経済的不利益（すなわち損害）が保険によりどのように補償されるかを、どの保険にも応用できる形で講義する。

履修上の留意点

保険は、必要があって生成し、長い年月を経て発展してきた経済制度であるから、それなりの独自の機構や組織をもち、更に用いられる用語にも特殊性がある。したがって、講義に出席してノートをとるだけでなく、下記参考書等を熟読することには大いに意義のあることであり、そうすることを希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業時間中の態度および学年末試験の結果を総合して評価する。
再試験あり

教 科 書

特に指定せず。ただし、下記参考書を利用することが望ましい。
なお、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

鈴木辰紀編著『保険論』（第9版）（成文堂）
石名坂邦昭著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）
前川寛著『現代保険論入門』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	うちだま ^り りこ 内 田 真 利 子	経 B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の実在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題的の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にものみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、小レポート作成を課す。このレポートのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。なお、「試験」は行わない。したがって「再試験」も行わない。

教 科 書

授業で指示する。

参 考 書 等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 一 部	お 織 だ 田 て る 晃 こ 子	12以降入学生/経B1・2・3・4選 経A・商1・2・3・4選	
民 法		11以前入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ① 権利能力
 - ② 意思能力、行為能力
 - ③ 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ① 法人の意義・本質
 - ② 法人格否認の法理
 - ③ 権利能力なき社団・財団
 - ④ 法人設立とその能力
 - ⑤ 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念
 - (2) 不動産と動産
 - (3) 主物と従物
 - (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為
 - (2) 意思表示
 - (3) 代理
 - (4) 無効及び取消
 - (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著『民法総則講義』（八千代出版）3,200円

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法二部	あおのひろゆきの 青野博之	経B1・2・3・4選 12以降/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

債権総論とは、民法典のうち第3編「債権」の第1章「総則」をいう。
 売買契約によって売主は買主に代金を支払えという債権を取得し、賃貸借契約によって賃貸人は賃借人に賃料を支払えという債権を取得するが、両方も金銭債権であるということでは共通する。売主が買主に代金を支払えというのも、賃貸人が賃借人に賃料を支払えというもの金銭を支払えということでは同じである。また、買主が売主に品物を引き渡せという債権も、債権という点では、金銭債権と共通する。つまり、債権者が債務者に何かをせよと（またはしてはいけないと）請求するという点では共通する。
 このように、債権の共通点を中心にして、債権の性質、その効力などを考察するのが、債権総論である。

講義の内容・授業スケジュール

序論
 債権の目的（債権の内容）
 特定物債権・種類債権
 金銭債権
 債権の効力
 債務不履行（契約責任の要件）
 損害賠償（契約責任の効果）
 責任財産の保全
 債権者代位権
 債権者取消権
 多数当事者の債権関係
 連帯債務
 保証債務
 債権譲渡
 債権の消滅
 弁済
 相殺

履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者がそれほど多くなければ、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただくことになると思われる。

成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。
 なお、受講生がそれほど多くなければ、質問および応答の平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験も行う。試験を行う場合には、いっさいの持込みを不可とする。
 再試験を実施する。

教科書

宇佐見大司ほか著『プリメール民法3・債権総論』（法律文化社、2000年4月発売予定）2800円の予定
 教科書は、上記のものを使うが、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法一部 商法	しまばらひろあき 島原宏明	12以降入学生/経B1・2・3・4選 11以前入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくらかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。再試験あり。

教科書

宮島 司『会社法概説（補正版）』（弘文堂）3,811円

参考書等

倉澤康一郎『商法の基礎（三訂版）』（税務経理協会）2,900円
なお、小型の物でよいが必ず六法全書を携行すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法二部	しまばらひろあき 島原宏明	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形や小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。再試験あり。

教科書

宮島司『やさしい手形法・小切手法』（法学書院）2,000円

参考書等

開講時に支持する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	ふじもと しげる 藤本 茂	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではありません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正（裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大）、解雇制限などの分野で見られます。男女雇用機会均等法、労働者派遣法、職業安定法などの改正もなされました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に果たす組合の役割は、一見地味ではありますが、無視できません。

解釈においては、何が変わるのかまた、このような中であっても変わるべきではないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。

ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公——労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定——労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等——同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件の決定——労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備——不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口——採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動——配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口——解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。再試験は実施します。

教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めることを心掛けます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政 法	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が統出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、介護保険法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
 - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
 - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
 - ⑧行政強制 ⑨行政関
- 4) 行政手続の法
- 5) 行政救済法
 - ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。再試験を実施する。

教 科 書

成田頼明他『現代行政法』（有斐閣）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選』（第三版 有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	おう 王 し 志 あん 安	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を習得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家及び国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の習得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論及び外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論及び実行、国際地域、国際海域及び宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式及び効力に関する法規制、外交関係及び領事関係における特権及び免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的に資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと習得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。再試験は実施する。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）2,700円 1997年

参考書等

市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配布し、板書する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I (英)	なか だ おき お 中 田 秋 男	経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II (英)		経B2・3・4選	

講義のねらい

書物には読んで直ぐわかる（情報として読む）ものと、何度読んでも理解できない（古典として読む）ものがある。特に古典と呼ばれているものは、何度でも読み返されて行く運命にあるものかも知れない。授業では日本語で読むと決して見えてこないものが、原書ではハッキリと見えてくる事の不思議な謎に迫りたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

経済学の歴史の中で大きな山脈としてそびえ立っている、三人の経済学者の著書から抜粋して読んでいきます。すなわち、経済学誕生の書と言われているアダム・スミスの『諸国民の富』（1776）、資本主義社会の経済的な運動法則を明かにしたカール・マルクスの『資本論』（1867）、大恐慌のあと政府の役割を重要視するジョン・メナード・ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』（1936）。尚、学生諸君の方で要望があるなら、一緒に検討したいと思う。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。なお、再試験は実施しません。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

参 考 書 等

以下の日本語訳は参考までに、
アダム・スミス『諸国民の富』（岩波書店）
カール・マルクス『資本論』（岩波書店）
ジョン・メナード・ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』（東洋経済新報社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ(英)	ひろたひでき樹 広田秀樹	経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ(英)		経B2・3・4選	

講義のねらい

今、最も大切なことは若者の成長です！若者が新世紀を開く為に力をつけることです！21世紀の大舞台上で活躍する大切な若者の英語力を絶対に伸長させる為に全力で講義します！！

講義の内容・授業スケジュール

今まで英語ができなかった人も、絶対にこの授業で英語ができるようになります！！授業に参加しただけで英語力が上昇し、経済関連の専門知識が確実に身につくような授業形態を採用する。即ち、指定テキストの講読と同時に、絶対に英語力を飛躍させるパワーベース読解法を導入し、パワーベース読解法を用いてのペーパーワークに毎回取り組んでもらう中で、学生諸君の英語力を確実に伸長させる。パワーベース読解法をマスターすれば、原書を講読する速度もかなり増すと考える。

〈授業スケジュール〉

基本的にパワーベース読解法のトレーニングと経済関連の原書講読の2つを軸に授業を展開する。

講義の概要は以下の通りである。

1 パワーベースメソッド (Power Base Method) の紹介 (4月)

パワーベースメソッドは、私が独自に開発した最も効果的な英語力伸長法である。それは、英語のリーディング・リスニング・スピーキングに特に必要な、不定詞・分詞・関係詞の諸用法や重要構文等を“記号化”し、英語の構造、英語で表現される言葉の流れを一瞬にしてキャッチする方法である。パワーベースは、英語をマスターする為の最強の「24の公式」です。この「24の公式」をマスターすればそれは生涯の財産になります。「24の公式」だけで英語の力は飛躍的に伸びます！パワーベースメソッドは短時間でマスターできるので最初に紹介したい。

2 原書講読

経済関連の興味深い、又世界的にも有名となった次の原書を講読する。定期的に読解をする部分を印刷して配布する。

(1) “Economics” by Paul. A. Samuelson (1973, Ninth Edition, McGRAW-HILL BOOK COMPANY) (5・6月)

世界的に有名な伝統的な近代経済学のテキストであるこの本の、財政政策・金融政策関連のパートを読む中で、現代資本主義経済の主要経済政策のメカニズムを理解してもらう。

(2) “MITI and the Japanese Miracle” by Johnson, Chalmers (1982, Stanford University Press) (7・9月)

この著作も近年世界的に読まれてきた本で、日本の通商産業省 (Ministry of International Trade and Industry - MITI -) の産業政策と日本の経済発展について述べたものである。この著作の講読から、近年世界中に論争を引き起こしている MITI の産業政策について、また、日本経済の特殊性に関しての知識を吸収してもらう。

(3) “The Decline of the British Economy” by Best, Michael H. and Jane Humphries (1986, Oxford University Press) (10・11・12月)

この本も世界に反響を読んだもので、何故かつての超経済大国イギリスが衰退してきたのかというテーマで、経済大国の長期的な衰退のメカニズムを分析している。この本の政策関連の部分を読み、いかに経済政策の方向性が一国の経済の長期的動向に影響を与えるのかということを理解してもらう。

成績評価の方法

前期・後期の筆記試験及びレポートによって総合的に評価する。再試験を実施します。

教科書

前述した原書の主要部分を印刷して配布する。

参考書等

サムエルソン『経済学』(上・下) (岩波書店)
 ダニエル・沖本『通産省とハイテク産業』(サイマル出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I (独)	はまもとちづか 濱 本 知 寿 香	経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II (独)		経B2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、ドイツ語の原書を読むことで語学能力を高めるとともに、生活経済に関心をもつことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

われわれの日常生活に関わる税制、社会保障制度を扱った原書を読んでいます。また、日本の制度についてもふれていきます。

履修上の留意点

テキストを輪読する形式をとります。

成績評価の方法

発表点、受講態度、理解度などから総合的に評価します。再試験は実施しません。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I (仏)	なかだあきお 中 田 秋 男	経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II (仏)		経B2・3・4選	

講義のねらい

「フランス語の原書講読」と聞くと、もうそれだけで嫌になってしまう学生諸君もいるかと思うが、是非私の授業をききに来てください。内容はとても興味深いものになっています。もし興味がわかかなければ、話し合っって興味のあるものにするつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

最初は詩、シャンソン、雑誌、新聞記事など短いものを教材に用いてフランス語の基礎的な能力を養いたいと思います。初めての学生には音声学の基礎である発音のテクニクも伝授します。少しずつ慣れてきたら、今度は最近フランスで話題になっている経済関係の論文をとりあげて輪読していくつもりです。なるべく学生諸君の希望を取り入れながら、テキストを決めていくつもりですので、恐れず是非参加してください。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。なお、再試験は実施しません。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅰ(前期) 〔不況と雇用・失業問題〕	にしむらなおき 西村直樹	経B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済戦略会議、産業力競争会議の検討内容と産業再生法の成立、それを待っていたかのように日産、NTT、三菱自動車などの大量の人員削減がでてきた現実とその背景を考察する。産業再生法が3年の時限立法であり、当面の雇用・失業問題の把握にあたっての鍵となることからである。

同時にひき続いた中小企業基本法の改正にともなう中小企業でのリストラ「合理化」について考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

限られた時間のなかではあっても課題にたいする基礎的な認識、たとえば失業についての国際的な認識の共通点と相違、失業統計の共通点と相違、日本でそれはどう扱われているか、など。また金融の世界的再編成と日本の動向、これに連動しつつ独自に展開されている産業再編成(たとえば自動車産業)とそこで急速にひろがっている生産工程の大きな変化、この技術的変化が排出する中高年、ホワイトカラー層の失業問題など。これにたいして財界、政府の対応の施策と国民生活の関係など。

履修上の留意点

雇用・失業問題へのマスコミの対応をどう理解するか、新聞をどう読むかという課題。

成績評価の方法

小論文を求めたい(再試験は考えていません)。

教科書

とくに用意しない。必要な小論やデータをコピーして配布する。

参考書等

必要に応じてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅱ(前期) 〔ベンチャー・ビジネス〕	ほしの 星野敏	経B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

「ベンチャービジネス」という言葉が多用されているが、本来この言葉は理想概念の表現である。それにも拘わらず、この概念に対し行政や金融界は演繹的な支援策を講じてきたため、実態と乖離し何度ベンチャーブームが到来しても、時代の循環の中で何も突らぬまま消滅してしまった。そこで実践により組み立てた帰納的な理論により、これらを正しく理解し、将来何らかの形でベンチャービジネスに係わる人に、成功の楽しさを味わってもらうことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

受講する学生の関心やレベルに合わせ、なお且つ受講者が楽しみながら考える参加型の講義を行う。その大要は次のとおりである。

- ・学ぶ意義を考える(生命の起源と誕生以来の生存競争の中で)
- ・間違いだらけの「ベンチャー」を正す(用語と定義の正確な解釈)
- ・企業〈アントレプレナー〉(その本質と心理構造にせまる)
- ・創業と成長の科学(成功への緻密な方程式と飛躍への転機とは)
- ・ビジネスインキュベーション(成熟先進国家の新しいシステム利用)

履修上の留意点

- ・受講に際し次の要件を備えていること
- ・自分の意思で個性的な人生を歩もうと考えている人
- ・新しいことや挑戦することが好きな人
- ・全期間受講を目指す

成績評価の方法

レポート、テスト、講義への参加意識などを総合して評価する。
〔再試験を実施しない〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅲ(後 期) 〔国際ビジネスと中国市場〕	み 野 ひさ し 美 野 久 志	経 B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

本講では、グローバル化という国際経済の波の中で、地域市場と国際ビジネスがどう変化しているか、就中、「21世紀に残された最後の世界市場」と言われる「中国」を、国際経済の観点から、その現状と問題点、経済上の特性、国際市場としての変化と方向性等について具体的に検証することを目標とする。具体的には、中国の改革開放と経済システムの変化、90年代の発展と国際経済への影響、対外経済関係、対中投資/貿易と国際経済関係、産業部門の発展動向、21世紀の国際ビジネスにおける中国市場と方向性、WTO の加盟と国際経済への影響、などについて検証していく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 定められた時間内に上記目標を実行するため、次の項目等を講義する。
- (1) 国際ビジネスの潮流と、アジア/中国
 - (2) 「鄧小平」の改革開放と対中投資ラッシュ
 - (3) 世界/日本と中国との経済/投資/貿易等の関係
 - (4) 地域経済の発展と対外経済関係
 - (5) 各産業部門の発展過程/動向とサービス産業の勃興
 - (6) 国際関係から見た中国経済の問題点
 - (7) 残された巨大市場「中国」と、中国ビジネスの方向
 - (8) 中国 WTO 加盟と国際経済への影響、中国の市場開放の方向

履修上の留意点

21世紀において、「中国」が、世界と日本にとって、どんなに重要な市場であるかを感じ、関心を持って頂けるよう取り組んでいきたい。決して中国は特殊な国ではなく、「身近な」国である。21世紀の国際ビジネスでは、中国が一つのキーとなる市場に成長しよう。中国という市場を通じて、学生諸君が、21世紀に羽ばたくための国際感覚を身につけられるよう、資料等を利用して実施していきたい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として期末試験の成績による。期末試験は、以上の講義内容にいずれかに関する記述式問題を中心に出题する予定です。

教 科 書

中国の経済発展と21世紀への方向に関する参考書を利用するほか、講義テキストを配布する。(教科書としては特段指定しない予定です)

参 考 書 等

藤本昭編著『中国21世紀への軟着陸』(日本貿易振興会刊)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅳ(後 期) 〔企業の倫理と粉飾〕	おがさわら 小笠原 直	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、表題についての実践的な理解を目的としたものである。この数年間、わが国を代表した一流企業が次々と倒産している。激変する時代の中であらん限りの経営努力の末にそうした事態に追い込まれることも事実と思われるが、その一方で倒産後の法的手続での過程で通常の会計処理を逸脱した粉飾が行われていることが露呈されることもまた事実である。企業の存続のために粉飾を行う経営者に求められる企業の倫理（モラル）とは何か。そして企業の倫理を担保するしくみをどのように構築すべきか。本講義では、公認会計士として実際に現場で経験したことに基づいて、実際事例を取り上げながら企業の持つべき倫理とこれを支える企業の機関制度（コーポレートガバナンス）そして企業としてあるべき説明責任（アカウンタビリティ）を具体的にわかりやすく説明する。

講義の内容・授業スケジュール

講義の具体的なスケジュールは次のとおりである。
 自己紹介（公認会計士の定義）、本講義の趣旨
 企業の種類・区分、企業をとりまく利害関係者との関係
 粉飾とは何か。わが国での粉飾事例の歴史。最近の粉飾事例
 企業の機関（取締役・取締役会・監査役・内部監査・外部監査人）の定義
 企業の各機関の関連関係
 企業内容開示制度（ディスクロージャー制度）の概要とその潮流
 企業としてあるべき説明責任（アカウンタビリティ）
 企業会計に必要な簿記、財務諸表の読み方
 企業をみるための財務分析の基本
 粉飾行動の具体的な方法と粉飾を見抜く財務分析方法
 外部監査人としての公認会計士の役割
 企業の今後の経営行動と認められる倫理

履修上の留意点

- ・一連のストーリーで企業行動を倫理と粉飾というキーワードで講義する極めて実践的なものであることを認識していただきたい。
- ・企業に就職することを希望している者は特に受講していただきたい。

成績評価の方法

論文試験により行う。

教科書

現在検討中で後日連絡する。

参考書等

上記と同様。

その他

講義型式で行う。（プロジェクターがあれば活用したい）

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅰ (前期)	みつ井逸友	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在わが国では、新しく事業をおこす・会社を始めるといった人の数が減り、危機感が持たれています。一方米国では、若い企業家たちが活躍し、世界をリードする企業を生み出し、米国経済の復活を支えていると言われています。こうした動きに関して、わが国の政府も、「創業支援」「ベンチャー支援」の政策を相次いで実施し、また、新企業のための証券市場の整備や、ベンチャーキャピタル、エンジェルといった投資機関の動きも目立ってきています。

このような最近の事態を考えるには、なによりも実際に企業をおこし、さまざまな困難を乗り越えて事業を発展させてきた企業家の方々、またその支援に当たってきた現場の人々に、豊かな経験を語ってもらい、教訓を述べてもらうことが大切です。そしてこの時間を、「会社をおこす」ナマの経験を次の世代に受けつぎ、未来の若手企業家が生まれるための場とし、講師の「お話を聞く」だけではなく、交流と討論、プレゼンテーションとアドバイスの機会＝ヤング・アントレプレナー・ビジネススクールとしていってもらおうと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、企業家や支援機関スタッフなどの講師の方々からのレクチャーと、講師を交えてのディスカッションの時間をもうけます。各時間の担当講師名などの詳しいスケジュールは、開講時に配布しますが、多忙を極められている方々にそのつど参加いただきますので、予定変更の可能性を含め、毎週各時間ごとに、次回の予告をいたします。

成績評価の方法

のべ三回のレポート提出のほか、この時間に学んだことにもとづいて、自ら会社をおこすための、「モデル事業計画」プランシミュレーションをまとめてもらい、これを講義修了の試験に代えます。

参考書等

あらゆるものが「教科書」でもありますが、代表的テキストとして、松田・大江編著『企業家の輩出』日本経済新聞社、をあげておきます。

その他

自ら将来は会社をおこそう、という志ある諸君の積極的な参加と活用を願っています。また、本年度開講「現代経済事情Ⅱ ベンチャー・ビジネス」も、できればあわせて受講してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅱ (後期)	なかはらしょうきち 中原章吉	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代日本の企業は、金融ビッグバンによる不良債権処理や激しい国際競争に対応すべく、厳しい経営環境に直面している。本講義では、このような日本の企業、とくに会計専門職業、出版業、損益保険事業について、その経営の現状と課題をそれぞれの企業や第一線で活躍している人たちに自由に語ってもらい、日本の企業の起業の実態をリアルに把握することに努める。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、外部講師の人たちに講義（講演）してもらい、その後で質問やコメントを加え、受講している学生の質疑を受ける、という方法ですすめる。

詳しい授業スケジュールは開講時に配布する。しかし、それぞれ第一線で活躍している方々に講師をお願いしている都合もあり、基本的には、毎時間次週の講義内容を予告し、受講する学生に予習をして参加してもらうことになる。

成績評価の方法

ペーパーテスト又はレポート（3回予定）で成績評価を行う。

参考書等

教科書は使用しない。必要な場合にはレジメを配布する。授業に関連する文献は講義中に指示する。

その他

企業の起業に関心のある人の受講を希望する。外部講師の講義（講演）による授業であることを理解して受講すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合専門科目Ⅰ (前期)	瀬戸岡 紘	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代経済の諸現象を人間の目をおしてながめること——それがこの講義の課題です。経済活動は人間がやっているものです。資本主義経済という仕組みも人間が作り出したものです。なのに、人間は、人間自身がつくり出したものによってふりまわされ、時として破滅さえしていないでしょうか。過労で病気になったり死んでしまったり、あるいは現代経済がかけがえない地球をだめにしたり、…と。人間が考えだした神さまに人間が支配される。それと、どこか似ていませんか。この講義はそんなことを、みなさんといっしょに考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、あくまで受講者諸君の希望を配慮しながらすすめます。さしあたり考えている講義内容は、以下のとおりです。◇印の項目ひとつひとつを、おおむね一回ごとの講義にとりあげます。ここにあげていない項目も、受講者の希望にもとづき随時追加していきます。

《導入の話題》

- ◇人気のない経済学、人気のある人間諸科学——諸外国の大学事情
- 《人間の目をおして現代経済をながめると…》
- ◇成長と挫折——アジアの現代経済にみる混乱
- ◇仕事と幸せをわかちあって——福祉の重圧にくるしむヨーロッパ人
- ◇夜中もはたらくアメリカ人——野蛮にもどった文明人
- ◇社会主義への夢と諸結果——旧ソ連・東欧の経験
- ◇食料と資源は大丈夫か——経済成長への期待と反省
- ◇過度な規制か、それとも自由と規制緩和か——現代経済学の課題
- ◇いつおこってもおかしくない大恐慌——国際金融の舞台裏
- ◇どこへゆく日本の経済——まだつづくか大不況
- ◇地球と人間、そして経済はどこへゆく

《むすびの話題》

- ◇西暦2000年と人間—経済学者は何を考えているか

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫します。したがって、一発の年度末試験よりも、平常点を重視する予定です。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をおして何回も提出してもらうことを考えています。受講者との合意が成立すれば、そのように平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教科書・
参考書等

最新の情報をもとに講義をすすめます。だからこの講義では、特定のテキストは使用しません。現代経済をアツクった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めば現代経済と人間の問題がわかるというほど事情は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまな文献の全体が、この講義の教科書ということになります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合専門科目Ⅱ (後 期)	い 石 井 啓 雄	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代の土地問題について、半年間で講義する。

いわゆるバブルの崩壊以後、日本では地価が急落し、都市勤労者のマイホーム取得関心からマスコミなどが繰り返し取り上げてきた土地問題は一見沈静したかに見える。だが金融機関の不良債権問題にはこの地価崩落が深く関連しているなど、土地・地価問題は実は依然として深刻な問題である。しかも土地問題とは、本来こうした住宅問題にとどまるような小さな問題ではない。土地と人間のかかわりは、実は人間の発生に始まり、今日でも食料・環境問題などのすべてに深くかかわっている。

この講義では、こうした土地問題を、学生諸君がより根底から、またより広く理解し、歴史をふまえて今日の問題を考えることができるようになることを願って実施するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

半年間の講義回数はせいぜい12・13回なので、次のようにできるだけ有効につかっていきたい。

(1)現代では金があれば土地を買えるし、土地を売れば金をうるることができる。そこで土地と貨幣・資本の共通性ばかりが目につくが、そういう理解で十分か、についてまず講義する。土地とはどういうものか。資本とのちがい。土地所有と資本所有のちがい。本来自然である土地になぜ価格が生ずるか。その地価は本来どう定まるものなのか、など。これら最も根本的な問題についてまず最初に2回でいどを充てる。

(2)次に、歴史的にみた経済発展段階と土地所有の関連について3回でいどの講義を行う。具体的には、土地改革について。ヨーロッパの市民革命、日本の明治維新(地租改正)と戦後農地改革などについて。

(3)以上をふまえて戦後の経済発展と土地問題について講義する。戦後日本経済のなかでの土地問題の実態——土地利用(地目)の転換、地価形成とその変化、土地所有の変化など——を土地政策、地価政策、開発政策、土地税制などの展開と関連付けて明らかにしていきたい。欧米諸国との比較を行ない、そのなかで日本の土地問題と日本資本主義の異常性を学生諸君が理解できるようにしていきたい。3-4回を予定している。

(4)最後に現段階の土地問題の特徴と本質について述べたい。土地問題は都市、宅地問題にとどまるものではない。農地・林野などの問題をも視野に入れ、食料・環境問題をもふまえて、日本資本主義のありかたにかかわる問題として土地問題の核心にふれ、問題解決の展望について考えていきたい。そのさい欧米諸国、とりわけ西ヨーロッパ諸国との比較の視点をいかしていきたい。3-4回の講義を予定する。

履修上の留意点

土地問題について関心のある学生ならば、特に予備知識がなくても、学年を問わず、また昼間主、夜間主のいずれであっても、誰でも履修して差支えない。

ただし、半年間の講義だからと甘い採点をするつもりはないので、安易な気持ちで履修することは望ましくない。

成績評価の方法

科目の性格からして出欠をとることを考えているが、成績評価は期末試験の結果を基本として行う。

卒業年次生についての再試験は実施する。

教 科 書

適当なものを一点に絞ることができないので指定しない。

参 考 書 等

講義でふれていくいろいろの問題について、多数参考にする文献があるので、講義の過程で紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 専 門 科 目 Ⅲ (夏 季 集 中)	こ 小 す ぎ 杉 し ゅ う 修 じ 二	経 B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経 A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義では地球温暖化問題とその解決策について考える。
 自然科学者たちは、CO₂等の温室効果ガスの増加によって、2100年に現在より2～3度の地球気温の上昇を警告している。東京が2度昇温とは宮崎県になることであり、3度なら八丈島の気候に変わることになる。地球の南・北半球を帯状に取巻く砂漠帯もそれぞれ中緯度地帯に侵入し、現在の穀物生産地帯を脅かす可能性がある。雨や風の吹き方も変わり、熱帯の感染症が北上してくるだろう（北半球の場合）。海面上昇、国土の浸食、巨大台風の恐れも無視できない。
 こうした様々な害悪によって、近代文明の崩壊の可能性すら懸念されるところである。

講義の内容・授業スケジュール

温暖化の主犯は化石燃料の燃焼から出る CO₂である。
 400-500万年前に誕生した人類は自然の制約の中に生きてきた。この制約をこえようとする人類の努力は化石燃料によって飛躍的に前進した。経済成長が可能になり、人口は増大し、かつてない豊かさが手に入った。そして、地球の有限性という制約に突当った。これが地球規模環境問題であり、地球温暖化問題である。

履修上の留意点

講義を通じて、温室効果のメカニズム、温暖化の害悪、対策の3つのメニューを学ぶこととする。対策については“何でもあり”で考えてみよう。それにもかかわらず、技術的な対応には限界があることが示されよう。即ち、温暖化問題とは文明の問題なのである。

成績評価の方法

理系でないといけない、ということはない。約束された回答はない。“何でもあり”で問題に向かいあう意欲をもつ学生を待つ。

そ の 他

授業期間：7月21日(金)、24日(月)、25日(火)、31日(月)、8月1日(火)、2日(水)、3日(木)、4日(金)の6・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合専門科目Ⅳ (夏季集中)	みつ 光 おか 岡 ほく 博 み 美	経B1・2・3・4選 12以降入学生:経A・商・2・3・4選	2

講義のねらい

この集中講義は経済学とジェンダーに関する今日の問題を取り上げていく。ジェンダーとは、社会や歴史、文化のなかで意図的に作り出された男と女の差異という意味である。このジェンダー視点を導入することによって、現代社会の構造をより立体的に認識することが可能となる。また、男女平等とは？、男と女の平等をめざす社会運動の現状や問題点についても考えてみることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

次のようなテーマの講義内容を予定している。(a)経済学批判としてのジェンダー論、(b)現代日本の家族と女性労働、(c)現代フェミニズムの理論、(d)家父長制と資本制、(e)反フェミニズム論、(f)小説のなかのジェンダー、(g)映画のなかのジェンダー、(h)社会運動としてのフェミニズム、etc

履修上の留意点

受講者の人数を考慮して、それにふさわしい方法を考える。

成績評価の方法

集中講義なので、休まずに出席してほしい。成績評価は出席状況と試験を総合的に評価・判断する。なお、集中講義なので追・再試験は行わない。やむを得ない事情で試験に欠席した学生には特別の措置をしたい。

教科書

特に使用しない。参考文献については講義のなかで指示する。

その他

授業期間：9月5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金)、11日(月)、12日(火)、13日(水)、14日(木)の6・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	お 小 ぐり 栗 たか 崇 し 資	経 B 3 選	4
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、ディスクロージャーの面でこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計を学習する者にとっては、従来のような勉強だけでは現実の変化についていくことができないので、大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済の中での会計の役割や機能を研究するチャンスであるといえる。この演習では、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計原則の新旧基準を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定を取得できるよう指導したい。

合宿やコンパなどもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。

科目名		担当者名			配当学科	単 位
演 習	Ⅱ	ちよん 鄭	ちやん 章	よん 淵	経 B 3 選	4
演 習	Ⅲ				経 B 4 選	

講義のねらい

研究テーマは「東アジア経済の発展と危機のダイナミズム」（日本を除く）とする。目的は、ゼミ生諸君に戦後東アジア経済の発展過程に対する知識を身につけてもらうとともに、今回の経済危機に関する理解を深めてもらうことである。

周知のように、この間、東アジア地域（北東アジアと東南アジア）は著しい経済発展を遂げ、「世界の成長センター」として注目を集めてきた。東アジアで唯一の経済大国である日本を先頭に、1960年代以降工業化が本格化するアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国その他と連なる継起的・重層的な経済発展は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきた。また、90年代に入って東アジア各国の経済発展はかつてなく緊密度を増し、この地に「東アジア経済圏」とでも呼びうる地域経済圏が出現している。他方で、1997年夏のタイ・バーツ危機（通貨・金融危機）の発生は、東アジアの経済発展の前途に深い影を落としているばかりか、私たちの東アジア経済への理解をいっそう困難にしている。

このようなアンビバレントな東アジア発展像に接近することは、私たちの知的好奇心を刺激してやまない研究課題である。と同時に、日本にとってこの東アジア経済がますます重要性を増している点を勘案すると、東アジア経済について学ぶことは、日本経済を学ぶうえでも必要不可欠な課題であると言えよう。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらう。前半は①、後半は②の文献をそれぞれ講読する。また、できるだけ多くのビデオ鑑賞も行なう予定である。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを参考に総合的に判断して評価する。

参考書等

- ①大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）
- ②近藤健彦『アジア通貨危機の経済学』（東洋経済新報社）1,600円（税抜き）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	Ⅱ	はし 橋 の 野 とも 子	経 B 3 選	4
演 習	Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

「100年、200年前の人たちはどのように考え、どのような経済活動を行ってきたのだろうか？ また、過去における選択が現代の私たちの経済社会にどのような影響を与えているのだろうか？」口頃皆さんが抱く疑問を解く鍵となるヒントが、歴史の中に隠されています。このゼミでは、それを発見する方法、考え方そして面白さを学んで欲しいと思います。

このゼミでは、日本経済史全般および諸分野（産業、社会、労働、人口、教育、財政、金融、土地制度、貿易、生活その他）に関する理解を深めていく中で歴史を見る眼を養い、日本経済の光と影を自ら発見することが課題です。

基本的な文献を読み進めた上で、テーマ別にいくつかのグループ（または個人）に分かれて研究し、報告・議論してもらいます。その過程で、問題の設定の仕方、アプローチの方法、そのための文献・資料の調べ方、また報告の方法を身を以て学びます。

テキストについては、第一回のゼミの際に皆さんと相談して決定することとします。

2. 他学部履修科目

2. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	461
国際経済論	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
価格理論	〈荒木勝啓〉	463
国民所得論	〈吉野紀〉	464
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	466
貿易論	〈休講〉	
会計監査論	〈飯岡透〉	467
管理会計論	〈中原章吉〉	469
法思想史	〈高橋洋城〉	470
日本法制史	〈茂野隆晴〉	471
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	472
国際関係論	〈前期：南山淳〉 〈後期：首藤素子〉	473
地方自治法	〈富井幸雄〉	474
倒産処理法	〈馬越道夫〉	475
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	476
経営財務論	〈高田光明〉	477
経営組織論	〈長瀬勝彦〉	478
経営技術論	〈休講〉	
公益企業論	〈園田哲男〉	480
管理会計論	〈前期：猿山義広〉 〈後期：菅本栄造〉	481
会計監査論	〈中平榮一〉	482
日本経済論	〈羽鳥茂〉	483
中国禅宗史	〈須山長治〉	484
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	484
インド仏教史	〈池田道浩〉	485
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	485
書道	〈野村宙弘〉	486
仏教と文化	〈奥野光賢〉	486

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	法B・二営・短仏	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにはいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれませんが。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

再試験は実施する。

教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号

6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらきよしひろ 荒木勝啓	法B・二営・短仏	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分はそのための準備と練習に当てられると期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの吉 野 紀 <small>おさむ</small>	法B・二営・短仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまでで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教 科 書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』第6版(多賀出版)

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	法B・二営・短仏	4

平成12年度休講

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清水 卓	法B・二営・短仏	4

講義のねらい

ヨーロッパ経済論は、資本主義世界経済を創り出し、その主導者として、数百年の間、世界の近代化を進めてきたヨーロッパ経済の現状分析を通して、今後の日本と世界経済の展望について考察することを課題とします。

冷戦崩壊後10年、世界は、市場原理による経済運営と自由貿易体制の時代に入っています。効率至上のアングロサクソンの新自由主義経済システムが、経済格差、環境破壊などの諸問題の解決にとり有効であるか否かを、ヨーロッパ諸国の現状をふまえて検討します。

欧州連合（EU）の11か国は、昨年1月単一通貨ユーロを発足させました。通貨統合はアメリカドルから自立した強く安定した欧州通貨を創出し、欧州経済統合の完成を目指しています。一般市民がユーロ紙幣や硬貨を使用するようになるのは2002年ですが、このユーロが安定通貨になるか否かは、世界経済のあり方に大きく影響します。

1997年には、イギリス、フランス、1998年にはドイツで社会民主主義政党が政権につき、EU 15カ国のうち13カ国が左派中道政権となりました。こうした政権が、グローバル化に対応して、第二次世界大戦後作り上げた福祉国家の成果をどのように継承ないし刷新して行くのかが注目されます。とりわけ、民営化やリストラによる高失業率をどのように解決していくのか手腕が問われています。通貨統合と併行して進められる東欧、中欧諸国へのEU拡大、それに伴うEU機構の再編など、統合過程の動きも目が離せません。

講義の内容・授業スケジュール

【前期予定】

第二次世界大戦と戦後ヨーロッパ
 西欧経済の高成長
 欧州統合への歩み－EEC への道
 経済統合の展開－関税同盟
 経済統合－共通農業政策
 経済成長の限界－スタグフレーション
 経済危機下の EC－通貨危機
 経済危機への対応(1)－サッチャーリズム
 経済危機への対応(2)－ミッテランの実験
 1992年市場統合－非関税障壁の克服
 経済通貨同盟－単一通貨ユーロ
 前期試験

【後期予定】（EU の最新動向をフォローするためテーマを変更することがあります）

ヨーロッパの多様性－地理・民族・文化
 EU の農業－多様性
 EU の産業の変貌－
 EU の機構と財政－超国家か国家連合か
 EU と地域政策－地域格差の克服
 EU の拡大－東欧、中欧諸国の加盟に伴う諸問題
 EU の対外関係－日本との比較
 欧州の平和問題－冷戦と民族問題
 後期試験

履修上の留意点

ヨーロッパ経済論は、一つの体系的理論を敷衍する科目ではありません。ヨーロッパの多様性について認識を深め、経済社会の現実に向け、経済や社会的諸問題の解決には様々な視点が可能であるのだということを確認してもらいたいと思います。

成績評価の方法

試験点数を基本とし、出席回数にも配慮します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書

教科書はありません。ただし、日経文庫『EU の知識』は有益でしょう。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	飯岡透	法B・短仏	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査についての理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前期〕

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任
- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と責任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

9月 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調書の目的と種類

- (1) 監査調書の目的と作成要件
- (2) 監査調書の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
- (1) 経営者確認書の意義と目的
- (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、夏季休業中のレポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。再試験を実施する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	法 B・短 仏	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中の「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。

後期は管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の生徒は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年。

教 科 書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか 高 ほし 橋 ひろ 洋 き 城	経B・二堂・短仏	4

講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

- (前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）
- (後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

成績評価の方法

定期の記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

教科書

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

その他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげの たか はる 茂 野 隆 晴	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

どんな学問にも史学がある。法学を学ぶ者にとって最も身近な史学が法制史である。日本法制史は、「日本国民の法律生活の歴史的考察」である。それ故、法制史は過去の制定法規を羅列し、その解釈にのみ留まるものではなく、その法の発生した社会的背景をさぐらなくてはならないのである。

講義では、そうした観点に立ち、国初から近代までの5期に分ち、主な法制を中心に取り上げ、各期の法の特性をできるだけ平易に講述していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日本法制史とその時代区分
- 2 国生みの神話ほか
- 3 『魏志』倭人伝ほか
- 4 冠位十二階と憲法十七条
- 5 律令の刑罰体系と司法制度
- 6 律令の「戸令」
- 7 三世一身法と墾田永年私財法
- 8 御成敗式目
- 9 甲州法度之次第（信玄家法）
- 10 武家諸法度
- 11 五人組帳
- 12 公事方御定書
- 13 田畑永代売買禁止令と分地制限令
- 14 慶安の御触書
- 15 奉公年季の規制
- 16 商家の財産相続
- 17 萩先祖徠の『政談』
- 18 大名貸と御用金
- 19 相对済し令・本公事と金公事・棄捐令えん
- 20 出奔・欠落・勘当・旧離のことなど
- 21 去状（三下り半）
- 22 大津事件
- 23 登極令ほか
- 24 明治民法総則・親族・相続

履修上の留意点

めいめいには少しだけの私語かも知れないが大きな教室では騒音と化す。そうしたなかでは細やかな授業は不可能です。特に留意してもらいたい点である。

成績評価の方法

学年末試験に、平常点として出席点を加味して行なう。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴〔編著〕『日本法制史史料60選』（芦書房）本体2,000円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴〔共著〕『日本法制史』（高文堂出版社）2,980円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	岡田外司博 <small>おかだとしひろ</small>	二営・短仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	前期：南 山 後期：首 藤 <small>みなみ やま あつし しゆ とう もと 子</small>	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

現代の国際関係の理論と現状の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次の項目をほぼ2週分の授業を割当てながら進める予定である。

前期（4～7月まで担当：南山淳）

1. 国際政治理論の展開(1) 現実主義
2. 〃 (2) 自由主義
3. 〃 (3) マルクス主義
4. 〃 (4) 冷戦後の国際政治理論
5. 冷戦後の安全保障研究
6. 国際システムの変遷と冷戦後の地域紛争
7. 経済のグローバル化と国際政治経済学

後期

8. 国連の開発戦略と南北格差の問題
近代化理論の変遷と従属論の影響
世銀・IMFの機能と問題
9. 国際政治と人権保障の制度化
人権保障の法的枠組みの展開と課題
人権と人権NGOと国際社会
10. 1970年代以降の経済のグローバル化
政策協調と国際交渉の多様化
Global Governanceの課題
11. 地球環境と国際関係の課題
地球環境問題の現状と政策的対応
「発展の権利」と「持続可能な展開」
12. グローバル化と国家主権の変容

成績評価の方法

定期試験により評価する。

参 考 書 等

PR.ビオティ、M.V.カピ著（D.J.ウェッセルズ、石坂葉穂子訳）『国際関係論－現実主義・多元主義・グローバリズム』（彩流社）1993年。
原彬久編『国際関係学講義』（有甲斐）1996年。
とくに毎時間使用するというわけではないが、次の文献を入手し、授業に関連する項目を各人で勉強しつつ、授業に出席することを勧める。
細谷千博監修、横山・野林編『国際政治の21世紀像』（有信堂）1997年（第2版）2,987円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	<small>とみ</small> 富 <small>い</small> 井 <small>ゆき</small> 幸 <small>お</small> 雄	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教 科 書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	ま ち 道 夫 馬 越 道 夫	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理・清算に関する規定、会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。倒産処理法という名称の法典が六法全書に存在するわけではない。

なお、倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には目的の異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し、債権者への平等弁済を図る制度である（例・破産法）。他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を図る制度である（例・会社更生法）。上記二種の法規について判例を挙げ具体的に講述したい。

また、今日国際的取引の拡大や多国籍企業の多発に伴い、一企業の破産もその影響は国内に止まらず破産的処理も国際的規模が要求される。かかる涉外破産の問題点についても平易に講述したい。

講義の内容・
授業スケジュール

4月・5月 倒産処理法の概説

6月・7月・9月 破産法

10月・11月・12月・1月 会社更生法

※授業時間ごとに、その時間の講義の要旨を記載したプリント（レジュメ）を渡します。

履修上の留意点

受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を修得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験の結果及び出席状況を参考にします。

教 科 書

桜井孝一編 馬越道夫著『演習ノート破産法』（法学書院出版）1,800円

参 考 書 等

石川明『破産法』（日本評論社発行）2,800円

馬越道夫編著『論点国際民事訴訟法』（不磨書房出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経B・法B・短仏	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学概説」や「経営学」などの授業を通じて、無意識のうち、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

2000年度『アメリカ経営学』授業計画

- I 1年間の授業の概要(1)
- II 経営学の対象と方法(2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論(4)
- VI 取引コスト理論(6)
- VII プロパティ・ライツ理論(2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論(2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983、1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989、1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。
- 6 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書——組織の経済理論の応用——』（税務経理協会）2000（A.Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
 - 7 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schäffer-Poeschel, 1997）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	法B・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項について次の順番で講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 流動・固定分類法の重要性
6. 資金

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ながせ かつ ひこ 長瀬 勝彦	経B・法B・短仏	4

講義のねらい

この講義で論じるのは、第1に企業組織がどのように構成されているのか、第2にそれが環境の中でどのように運動しているのか、第3に個人や小集団が組織とどのように関わっているのかである。

組織というものは形があるわけでもなければ色が付いているわけでもない。目に見えない存在である。それなのに私たちは、会社がどうだとか学校がどうしたとか当然のように会話を交わしているし、法律上も「法人」として人間並みの位置づけがされている部分もある。天然資源から自動車やコンピュータをつくったり、巨大ビルや橋を建築したりすることは個人では何百年かかってもできないが、組織はやってのける。企業組織の活動によって生活が豊かで便利になることは否定しようがない。しかし一方で企業組織は、自然環境を破壊して私たちの生活を脅かすという側面も併せ持っている。

また、人間は組織の中で高く評価されると嬉しく思うし、「会社人間」といわれるように組織と一体化する人もいる。一方で組織の側も構成員に対していろいろ便益を与えてくれるが、景気が悪くなると手のひらを返したようにみんなで嫌がらせをすることもある。ショックで病気になるったり自殺したりする人もいるほどである。こんなに社会にも個人の心にも大きなプレッシャーを示す経営組織について、じっくり考えてみようではないか。

授業の展開としては、抽象的な理論や学説の紹介は程々に留め、現代の組織が直面している問題をなるべく多く取り上げて議論していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる予定の主項目は以下の通りである。ただし授業の回数と項目番号は一致しない。

1. コーポレート・ガバナンス（企業は誰のものか）
2. 企業組織の階層（企業組織を横に切ってみる）
3. 企業組織の部門化（企業組織を縦に切ってみる）
4. 新規事業開発と組織内組織（企業組織の卵）
5. ラインとスタッフ（組織の中の2種類の仕事）
6. 国際化と組織（多国籍企業の組織はどんなものか）
7. 企業と外部環境（コンティンジェンシー理論の貢献と限界）
8. 組織文化と組織開発（企業によって社員のものの考え方が違う）
9. 組織と戦略（組織は戦略に従う？）
10. 企業の寿命と組織エコロジー（会社の寿命は30年？）
11. 組織のリストラクチャリング（企業の建て直し）
12. 新しい人事・処遇制度（出世と給料）
13. 情報化と組織（コンピュータが入って組織はどう変わったか）
14. 企業間関係（ネットワーク論）
15. 個人と組織（人はなぜ組織のために働くのか）
16. 組織的意思決定（経営学とは意思決定の学問である）
17. イノベーション（企業とはイノベーションをする存在である）
18. 組織均衡論と新しい組織論（サイモンはどこまで正しいか？）
19. 意思決定演習（ゲームで組織的意思決定の疑似体験）

通常の講義のほかに、適宜ビデオ教材を使ったりゲーム形式をおこなったりする（臨時の教場変更に注意）。講義時間内にレポートの作成と提出を求めることもある。また講義中に受講生の発言を求めることがあるが、高いレベルは求めていないので、素朴な意見を積極的に開陳して欲しい。

履修上の留意点

私は受講者のために「楽しく、分かりやすく、ためになる」講義をするように、いろいろと工夫をしているつもりである（それが100%成功しているとは言わないが）。それだけに、講義の妨げになる行為（私語や携帯電話など）に対しては厳罰をもって臨む。それが一度であっても成績が「不可」になることもあるので覚悟しておくこと。私語をするくらいなら講義に出席しない方が、単位取得に関してははるかに安全である（もちろん毎回まじめに参加することが最も好ましい）。また講義時間内にレポート作成を課するときは、理由の如何を問わず遅刻者の入室は認めないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験の点数が主体となる。それにレポート点が加算される。

教科書

なし。

参 考 書 等

長瀬勝彦著『意思決定のストラテジー』(中央経済社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	その だ てつ お 園 田 哲 男	法 B ・ 短 仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別される意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	前期：猿山義広 後期：菅本栄造	法B・短仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
 1. 原価態様
 2. 全部原価計算と直接原価計算
 3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
 1. 利益計画の手続
 2. 損益分岐点分析と CVP 分析
 3. 短期利益計画のための価格分析
 4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 生産現場における原価管理活動の取組み
 1. 原価企画・原価改善・原価維持の概念
 2. TDK株のケース
- V 組織構造の変革と管理会計
 1. マネジメントコントロール・システムとは何か
 2. 組織形態と責任会計の関係
 3. 事業部制会計について
 4. マイクロ・プロフィットセンター制
 5. 京セラのアメーバ経営、NEC 埼玉のラインカンパニー制のケース
 6. オムロン綾部工場、KOA株の WSM のケース
- VI まとめ

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

レポートを重視します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

より体系的に勉強したいという人のためには、櫻井通晴著『管理会計』（同文館）。計算問題については、日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	なか ひら えい いち 中 平 榮 一	法B・短仏	4

講義のねらい

独立監査人による財務諸表監査の基礎知識について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

会計監査論では、つぎの題目の順で体系的に講義をすすめる。

- (1) 会計監査論の対象と方法
- (2) 会計監査の意義
- (3) 監査の種類
- (4) 監査の基準
- (5) 監査の主体
- (6) 監査証拠と監査技術
- (7) 監査計画と監査手続
- (8) 監査調書
- (9) 監査報告
- (10) 内部監査及び監査役監査
- (11) 国際監査

上記を通じて財務諸表監査の基礎知識を十分に講述したい。

履修上の留意点

継続して受講することが要請される。

成績評価の方法

定期試験のほか、小ペーパー・テストも評価の対象にする。

教科書

開講時にくわしく紹介する。

参考書等

開講時にくわしく紹介する。

その他

授業の方法 講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は <small>とり</small> 羽 <small>しげる</small> 鳥 茂	法B・短仏	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、「講義のねらい」にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいままでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参考書等

読みやすいと思われる順になっています。

〔A〕鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書）1994年

〔B〕ジョン・マクミラン、伊藤、林田訳『経営戦略のゲーム理論』（有斐閣）1995年

〔C〕中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年

数学はつぎの2冊が適当だと思います。

〔D〕高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年

〔E〕永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	須山長治	経B・二営	4

講義のねらい

『景德伝灯録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。なぜ感動的なのか。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際は言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅では時代とともにどういう問題意識が展開していったのか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とは何かを考えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。
具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』(岩波文庫)、『雪竇頌古』(禅の語録シリーズ)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	角田泰隆	経B・二営	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書(第三部禅宗の歴史-日本篇)によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』(更生社) 2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教史	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	経 B・二 営	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し、論争を繰り返していたのである。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

参 考 書 等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）、平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	経 B・二 営	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を経由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教 科 書

講義は、末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参 考 書 等

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

そ の 他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	野村 宙 弘	経 B・二 営	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏 教 と 文 化	奥野 光 賢	経 B・二 営	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞って考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前記の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参 考 書 等

適宜、授業において紹介する。

3. 教職課程・資格講座科目

(1) 教 職 課 程

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。
(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全学部(平成12年度以降入学生が2年次から履修)
社会教育主事講座	全学部(平成12年度以降入学生が2年次から履修)

(1) 教職課程科目

<教職に関する科目> (必修)

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤 茂樹・遠藤 司・北村 三子 坂本 信昭・豊田千代子・村山 輝吉〉	491
教 職 入 門	〈遠 藤 司〉	491
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	492
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	492
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	493
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈 休 講 〉	
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	494
道 徳 教 育 の 研 究	〈山 田 忠 行〉	495
特 別 活 動	〈山 田 忠 行〉	496
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	497
教 育 実 習 I ・ II	〈伊 藤 茂 樹〉	497
社 会 科 教 育 法 II	〈谷 敷 正 光〉	498
公 民 科 教 育 法 I	〈谷 敷 正 光〉	499
商 業 科 教 育 法	〈谷 敷 正 光〉	500
職 業 科 教 育 法	〈前 田 幸 一〉	501

<教科に関する科目>

— 社 会 —

日 本 史 概 説	〈北 條 文 彦〉	501
世 界 史 概 説	〈松 本 弘〉	502
地 誌 学 概 説	〈川 元 豊 和〉	503
地 誌 学 概 説	〈渡 邊 盾 夫〉	504
人 文 地 理 学 概 説	〈渡 邊 盾 夫〉	504
宗 教 学 概 説	〈山 岡 隆 晃〉	505
宗 教 学 概 説	〈須 藤 寛 人〉	505
哲 学 概 説	〈河 谷 淳〉	506
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂〉	507

— 職 業 —

産 業 概 説	〈前 田 幸 一〉	508
商 業 実 習	〈山 田 勇 治〉	508

— 商 業 —

職 業 指 導	〈山 田 勇 治〉	509
---------	-----------	-----

《教職に関する科目（必修）》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 職 入 門 (後 期)	大 浜 幾 久 子 ・ 伊 藤 茂 樹 ・ 遠 藤 司 ・ 北 村 三 子 坂 本 信 昭 ・ 豊 田 千 代 子 ・ 村 山 輝 吉	12以降入学生/教職1必 (経B・法B・二営)	2

講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員七名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということを、まずは実感してください。

講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また11月9日、16日は、普通の講義ではなく、教職課程の履修に関するガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

成績評価の方法

レポートによる評価。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 職 入 門 (後 期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職1必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営・短国・短英の12年度以降入学生も履修できます。

教職課程を履修する学生のための入門講座である。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

この科目は、木曜6限の「教職入門」を、やむを得ない理由によって履修できない学生のために設定されたものである。原則として、木曜6限の「教職入門」を履修することが望ましい。この科目の詳細については、科目担当者に尋ねること。

なお、この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 藤 茂 樹	教職 2 必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 藤 茂 樹	教職 2 必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	教 職 2 必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- (2) 教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

①発達について、乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④児童期前期、⑤児童期後期、⑥青年期前期、⑦青年期中期、⑧青年期後期、⑨人格の発達、⑩社会性の発達、⑪問題行動、⑫学習・教育心理学、⑬教育学・教育原理、⑭学校・教員をめぐる問題点、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と メ デ ィ ア (後 期)	い 石 ば し 橋 た つ や 達 也	教 職 2 必 (経 B ・ 法 B ・ 二 営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育/学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な技法や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の問題点や注意点についても検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。
1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、まじめに出席することと積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教 科 書

教科書は、次のものを使用する予定です。今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学——教育の方法と技術の革新——』（福村出版）1988 本体2,400円＋税

参 考 書 等

参考文献や関連する資料などは、必要に応じてそのつど授業の中で紹介あるいは配布していく予定です。

そ の 他

授業の中で、コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも興味があれば安心して出席できます。
教室のパソコン (Mac) の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部 (昼間) の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 (前 期)	やま だ だ け 山 田 忠 行	教 職 2 ・ 3 必 (経 B ・ 法 B ・ 二 営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「道徳教育」の充実、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みを行わなければならない。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を、理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

①道徳教育の経緯 ②道徳教育の基本的な在り方 ③道徳教育の目標及び内容 ④主として自分自身に関すること ⑤主として他の人とのかかわりに関すること ⑥主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること ⑦主として集団や社会とのかかわりに関すること ⑧道徳の時間の指導計画とその作成 ⑨道徳の時間の指導方法 ⑩人間関係の充実と学級経営 ⑪家庭、地域社会との連携による道徳教育 ⑫生徒理解に基づく道徳教育の評価

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、教師としての実践力、指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。

教 科 書

文部省著作『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説一道徳編一』（大蔵省印刷局）260円

参 考 書 等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説・道徳』（第一法規）1,300円、他

そ の 他

講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (後 期)	やま だ た だ ゆき 山 田 忠 行	教職 2・3 必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「特別活動」は教育課程に位置付けられ、その内容は学習指導要領に示されており、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成するために必要な能力や態度、所属する集団の充実向上に努める態度、社会の一員としての自覚と責任ある態度、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、理論的な研究面では、特別活動の指導理念や方法原理について、生徒指導との関連を図った研究を行う。また、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①特別活動の基本的な性格 ②特別活動の目標と特質 ③特別活動と各教科等との関連 ④学級活動の特質と活動内容 ⑤生徒会活動の特質と活動内容 ⑥学校行事の特質と活動内容 ⑦特別活動の指導計画の作成 ⑧生徒指導とガイダンス ⑨特別活動とボランティア活動 ⑩特別活動と学校・学年・学級経営 ⑪特別活動の指導を担当する教師 ⑫特別活動の評価

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践力、指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省著作『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説・特別活動』（第一法規）1,300円、他

その他

講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	えん とう つかさ 遠 藤 司	教職2・3必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師－生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習 I	い とう しげ き 伊 藤 茂 樹	教職4必(経B・法B・二営)	3
教育実習 II		12以降入学生/教職4必(経B・法B・二営)	5

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それを取りまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関する講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献購読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

「教育実習Ⅱ」の履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	や 谷 しき 敷 ただ 正 みつ 光	教職3必 (経B・法B・二営)	4

講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原理から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 中学校社会科学習指導要領の変遷
4. 中学校の教育課程と社会科
5. 中学校社会科の学習指導計画
6. 中学校社会科学習指導案の意義と作成
7. ビデオによる社会科教師の授業研究
8. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
9. 平成10年12月告示の中学校学習指導要領と社会科
10. 教育評価
11. 社会科教育実習の意義
12. 社会科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導します。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』(梓出版)

参 考 書 等

講義に関する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
- ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
- ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
- ⑤浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
- ⑥中学校社会科(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)の教科書
- ⑦文部省『中学校学習指導要領』、文部省『中学校指導書』(大阪書籍)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I	や 敷 正 光 谷 敷 正 光	教 職 3 必 (経B・法B・二営)	2

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 高等学校社会科（公民科）学習指導要領の変遷
4. 高等学校の教育課程と公民科
5. 高等学校公民科の学習指導計画
6. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
7. 4年生による模範授業
8. 模範授業を通じての高等学校公民科の授業実践研究
9. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
10. 平成11年3月告示の高等学校学習指導要領と公民科
11. 教育評価
12. 公民科教師論
13. 公民科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』（梓出版）

参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
- ②槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
- ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
- ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』『明治図書』
- ⑤福山憲一『資料提示の技術』（明治図書）
- ⑥高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
- ⑦文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業科教育法	谷 敷 正 光	教職3必 (経B・二営)	4

※経A・商・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従って、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本経済の発展と専門教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

- ①授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなど総合的に評価する。
- ②定期試験、追再試は実施せず。

教科書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

参考書等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
- ③毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
- ④岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
- ⑤新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
- ⑥高等学校商業科の教科書(「流通経済」など)
- ⑦文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 科 教 育 法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 (経 B)	4

※経A・商の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
 - ② 『中学校学習指導要領』の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
 - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。再試験はしません。

教 科 書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際に指示します。

参 考 書 等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

そ の 他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

《教科に関する科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説	ほう しょう ふみ ひこ 北 條 文 彦	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

将来、中等・高等学校教員を志す者にとって必要な基礎的教養ともいべき日本史の、上古より現代に至る各時代の政治・経済・宗教・文化等について概説する。

成績評価の方法

筆記試験を前期と後期、夫々1回あて、授業時間内に実施し、評価する。

教 科 書

宝月圭吾・児玉幸多編『新稿日本史概論』（吉川弘文館）1,597円

参 考 書 等

児玉幸多編『標準日本史年表』（B5判）（吉川弘文館）600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
世界史概説	まつもと ひろし 松本 弘	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、中東及びイスラームの歴史である。それは、中学・高校の世界史の授業において最低限必要と思われる中東・イスラームについての知識を提供し、かつその知識に対する正確な理解を求めるものである。1973年石油ショック以降、日本における中東研究は飛躍的に拡大し、誤解や偏見は減少しつつあるとは言え、未だ中東やイスラームは我々にとって最も遠い存在のひとつであろう。世界史の教科書に占める中東・イスラームの記述は、この20年間で量的には数倍に増加したが、一般に教員の理解がこの傾向に追隨しているとは言い難い。それゆえ本講義は学生諸氏に、おそらく世界史の教員が最も不得手としている中東やイスラームに関わる基礎的・一般的な知識と理解を提供することを目的とする。中東に関わる一般的な関心は、マスコミによる様々な事件の報道にあると判断されるので、本講義は報道の対象となる事件・事象の解説に始まり、その理解としての歴史的背景から、中東やイスラームの歴史を講義する方式をとる。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、まず現代中東における国家・宗教・民族の分布から、アイデンティティ複合や中東一神教世界（ユダヤ教・キリスト教・イスラーム）と呼ばれるその社会状況の特質を解説する。次いで、現在最も高い関心を集める中東和平及びイスラーム復興主義（いわゆるイスラーム原理主義）を歴史的に考察し、その背景としてイスラームの成立や中世・近代における政治史（預言者ムハンマド、正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝、オスマン帝国、アラブ民族主義等）や思想史（イスラーム神学・法学、イスラーム神秘主義）、「中東の近代」に関わる内容と特質などをとりあげ、その各々について思想と社会・時代状況との関連に注目して講義を行う。

成績評価の方法

評価は、前期末及び年度末の2回の試験により行う。

教科書

教科書・参考書は特に指定せず、適宜参考文献目録及びプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわ 川 元 豊 和	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

主にアジアを対象として、「地域の変貌」について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前半では、まず、地誌学の基本的な考え方について説明し、次に、さまざまな人文地理学的事象から世界のなかにおけるアジアの特殊性や他地域とアジアの共通性などについて考えてゆきたい。後半では、南アジアのインド及びバングラデシュ、東南アジアのマレーシアを事例として、社会経済構造の変化や村落と都市の変貌などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

矢野暢編『講座現代の地域研究1 地域研究の手法』(弘文堂) 1993 4,800円
 藤岡謙二郎ほか『世界地誌第二改定増補版』(大明堂) 1989 2,060円
 B. L. C. ジョンソン著、山中一郎ほか訳『南アジアの国土と経済第2巻バングラデシュ』(二宮書店) 1986 3,605円
 白田雅之ほか編『もっと知りたいバングラデシュ』(弘文堂) 1993 2,800円
 水島司編『アジア読本マレーシア』(河出書房新社) 1993 2,000円

そ の 他

講義中心の授業であるが、年に2～3回はスライドの使用を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学概説	わた 渡 なべ 邊 たて 盾 お 夫	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この講義では、学生諸君が教職につく時の基本事項、または就職試験の時の一般教養（人文科学系）問題が解けることを目標として、進めます。

次に地理学の一つの見方である地誌を、「ある場所」を具体的にとり上げ、その場所にはさまざまな自然環境（気候、地形など）や社会環境（サービス業、農業など）があり、この中にさまざまな人間活動が営まれている。これらを総合的に分析をし、その現象を明らかにしていく方法を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは、前期にある場所の自然環境を理解するために気候、地形そして地形図の基礎的なことを学習する。後期には、各国を地誌的な見方で説明する。

履修上の留意点

基本的には、学生諸君が日本や世界各国の様子を「何んでそこにその様な現象があるのか」という疑問で接してほしい。地誌学または地理は暗記の科目ではない。

また講義を聞く時には、高校時代に使った地図帳を必ず持参して下さい。その方が理解が早くなります。

成績評価の方法

年度末に定期試験があり、これに出席の様子を加えています。答えは自分が他の人に説明をし、理解してもらえる様に書いて下さい。その方が勉強になります。

教科書

教科書等については、特に指定しません。講義の進行に合わせて、プリントを配布します。このプリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。

参考書等

講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	わた 渡 なべ 邊 たて 盾 お 夫	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ある場所の自然環境の上には、さまざまな人間活動が行われています。この人間活動を産業の点から講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

前期に人文地理学の研究方法を説明し、後期には、具体的な人間活動（産業）についてプリントを配布しながら説明します。

履修上の留意点

高校時代に使用した地図帳を持参して下さい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験と出席とを総合して評価します。

教科書

教科書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。プリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。

参考書等

講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	やま おが たか あき 山 岡 隆 晃	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界には様々な宗教が存在し、時代と社会を異にする多くの人々によって支えられているが、いったい、人間にとって宗教はいかなる意味や役割を持つのであろうか。宗教の構造やその構成要素はいかなるものであろうか。

この講義では宗教について提示された心理学的、社会的、人類学的な諸学説を紹介しながら、「宗教の原初形態」「科学・呪術・宗教」「宗教の諸類型」「宗教の構成要素」「宗教の機能」など、宗教学の基本的テーマについて概観することとする。

なお、本講座が教職科目の中に設置されていることに留意し、宗教と教育の関係についても、様々な角度から問題にすることにしたい。今日、教育の荒廃がさげばれ、心の教育の必要性が強く求められているが、この時、宗教と教育に関する問題を避けて通ることはできないであろう。なぜなら、宗教こそは心の教育そのものを旨としてきたのであるからである。

授業は原則として講義形式をとるが、学生諸君にも随時問題提起をしてもらい、それをもとにディスカッションを交えるなど、できる限りともに考える授業にしたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート等にもとづき、総合的に評価する。

教 科 書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	す とう ひろ と 須 藤 寛 人	教職2・3教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。日本人の宗教とは何かを理解することは、日本人とは何かという問題に深く関わっていますし、ひいては自分とは何かを考えるための足がかりになると思われま。また、日頃、目にする出来事でも、そこに何かしらの宗教的意味が見いだされることがあります。視座を少し変えるだけで、それが可能になる場合もあります。本講義がそのための助けになればと思っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 宗教とは何か？ 宗教学とは何か？ 宗教と呪術。聖と俗。
 - 儀礼。呪術。シャーマニズム。噂・怪談・都市伝説。
 - 日本人の他界観。諸宗教の歴史。日本の宗教。現代の宗教状況。
- 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。また具体的な事例やタイムリーな話題を交えて講義をおこなっていきたく思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況と合わせて総合的に評価します。

教 科 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	かわ 谷 あつし 河 谷 淳	教職 2・3 教科 (経B・法B・二営)	4

※経A・商・法A・政治・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちはしばしば、本当は知らないにもかかわらず何かを知っていると思ひ込むという状態(無知の無知)に陥る。古代ギリシア以来の「愛知」(フィロソフィア)としての哲学の営みとはそうした状態に抗する営みである。それはまた「世界についての見方を学び直す」営みだとも言えよう。哲学の諸問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では(a)哲学の営みのひとつの範型としてソクラテス以来のギリシア哲学を取り上げ、他方で(b)哲学の諸分野における諸問題を取り上げることで「哲学的に考える」とはどのようなことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 (a) 古代ギリシア哲学 (ソクラテス、プラトン、アリストテレス)：自己知、イデア論、四原因論
 (b) 哲学の諸問題：認識論、形而上学 (存在論、因果論)、言語哲学

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義においてその都度紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお 塚 桂 おほ つか かつら	教職2・3教科 (経B・二営)	4

※経A・商・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

○ 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

○ 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、実際の政治の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を習得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科学目の研究上必要な基本的な知識を提供することです。

講義の内容・ 授業スケジュール

○ 講義のすすめかた

現代政治学のおおよそのアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

○ 講義内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(レティズンシップ)

C 国家の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえA・B両方式のうちのいずれかに決定します。

A方式(レポートによる単位認定)

複数回(前期・後期)のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告(レポート)の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B方式(試験による単位認定)

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A方式の場合には、追・再試験は実施しません。B方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円

大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社)2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職2・3教科 (経B)	4

※経A・商の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

授業は'85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

(総論) バブル経済と平成不況
(各論) 非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

履修上の留意点

できるならば、日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。再試験はしません。

教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

参考書等

授業の際に提示します。

その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業実習	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教職2・3教科 (経B)	4

※経A・商の12年度以降入学生も履修できます。

講義の内容・
授業スケジュール

商業教育の内容は大きく商業活動に関する理論的な内容と実践的な内容とに分けることができる。商業教育においては、この両面の有機的な総合をはかることが必要である。商業実習では、とくに後者に重点をおいて講義を行なうものである。とくに高校の商業科の教員希望者に対しては、商業科の教員採用試験に合格できるように、受験準備教育に重点をおいて指導を行なうものである。

教科書

『99高校商業の頻出問題』（時事通信社）1,400円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 指 導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教職2・3教科 (経B・二営)	4

※経A・商・経営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりです。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

教 科 書

開講時に指示。

参 考 書 等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円
 寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円
 仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円

[メ モ]

[x 毛]

発行者：駒澤大学